

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	オノ本川事業間連携砂防等事業		担当課	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課		事業 主体	大阪府			
			担当課長名	今井 一之						
実施箇所	大阪府池田市畑三丁目									
主な事業 の諸元	主要施設：砂防堰堤									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度						
総事業費 (億円)	1.7									
目的・必 要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該溪流では、流域面積0.07km<sup>2</sup>の土石流危険溪流であり、渓床浸食が著しくかつ比較的規模の大きな崩壊履歴がある。</li> <li>・土石流の発生により、畑三丁目地区の家屋425戸や市町村地域防災計画に定められた広域避難地である府立渋谷高等学校、広域緊急交通路の府道箕面池田線への被害が懸念される。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <p>豊能地域において降雨が発生した際に、土石流及び流木の発生する可能性が高い溪流において砂防堰堤の整備を行い、集落等への直接的な被害・防止を軽減するとともに、広域避難地や広域緊急交通路である府道箕面池田線への被害を軽減する。</p> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標：土石災害による被害の軽減</li> <li>・施策目標：土石災害の防止・減災を推進する</li> </ul>									
便益の主 な根拠	流域面積：0.07km <sup>2</sup> 人家：425戸 重要公共施設：2施設 府道箕面池田線：130m 広域避難地：渋谷高等学校									
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度								
	B:総便益 (億円)	364	C:総費用(億円)	3.9	B/C	94.1	B-C	360	EIRR (%)	-
感度分析	<p>全体事業 (B/C)</p> <p>残事業費 (+10%~-10%) 85.3 ~ 104.7</p> <p>残工期 (+10%~-10%) 94.1 ~ 94.2</p> <p>資産 (-10%~+10%) 88.8 ~ 99.4</p>									
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が425戸から0戸に軽減する。</p> <p>② 市町村地域防災計画に記載された広域避難地、広域緊急交通路を保全する。</p>									
その他	<p>&lt;第三者委員会の意見・反映内容&gt;</p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>									

# 才ノ本川事業間連携砂防等事業 位置図

位置図



平面図

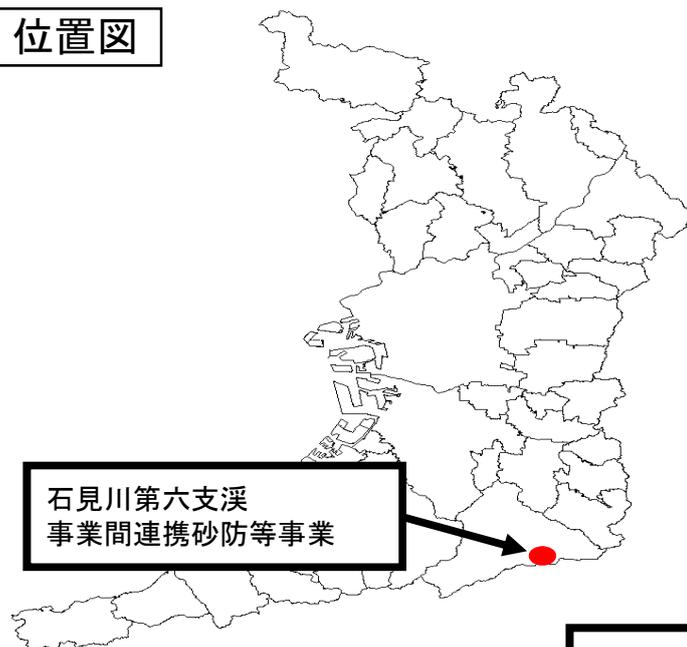


<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	石見川第六支浜事業間連携砂防等事業		担当課	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課		事業 主体	大阪府															
			担当課長名	今井 一之																		
実施箇所	大阪府河内長野市鳩原																					
主な事業 の諸元	主要施設：砂防堰堤																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度																		
総事業費 (億円)	2.7																					
目的・必 要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当該溪流では、平成25年9月の台風により土砂流出が発生し、国道310号まで土砂が流出した。</li> <li>土石流の発生により、鳩原地区の家屋8戸や緊急交通路である国道310号への被害が懸念される。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <p>南河内地域において降雨が発生した際に、土石流及び流木の発生する可能性が高い溪流において砂防堰堤の整備を行い、集落等への直接的な被害・防止を軽減するとともに、緊急交通路である国道310号への被害を軽減する。</p> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>政策目標：土砂災害による被害の軽減</li> <li>施策目標：土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	流域面積：0.03km <sup>2</sup> 人家：8戸 重要公共施設1施設 国道310号：140m																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成30年度																			
	B:総便益 (億円)	6.7	C:総費用(億円)	3.5	B/C	1.9	B-C	3.2	EIRR (%)	8.7												
感度分析	<p>全体事業 (B/C)</p> <table border="1"> <tr> <td>残事業費 (+10%~-10%)</td> <td>1.6</td> <td>~</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>残工期 (+10%~-10%)</td> <td>1.9</td> <td>~</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>資産 (-10%~+10%)</td> <td>1.8</td> <td>~</td> <td>2.0</td> </tr> </table>										残事業費 (+10%~-10%)	1.6	~	2.1	残工期 (+10%~-10%)	1.9	~	1.9	資産 (-10%~+10%)	1.8	~	2.0
残事業費 (+10%~-10%)	1.6	~	2.1																			
残工期 (+10%~-10%)	1.9	~	1.9																			
資産 (-10%~+10%)	1.8	~	2.0																			
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が8戸から0戸に軽減する。</li> <li>市町村地域防災計画に記載された緊急交通路を保全する。</li> </ol>																					
その他	<p>&lt;第三者委員会の意見・反映内容&gt;</p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																					

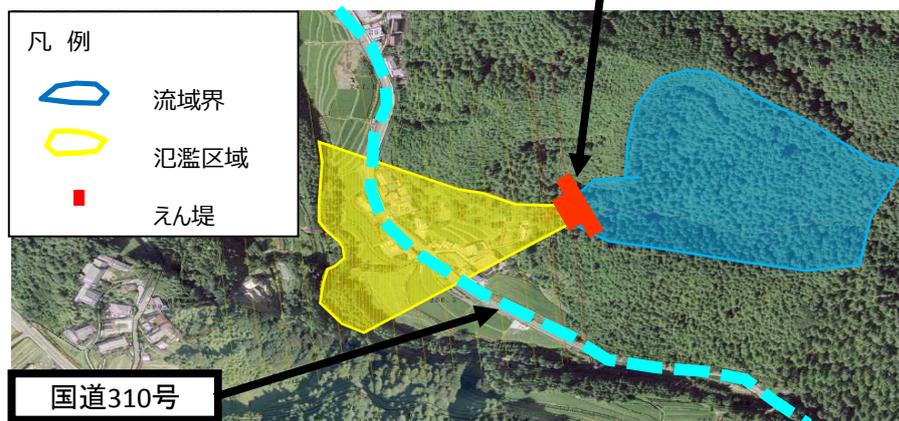
# 石見川第六支溪事業間連携砂防等事業 位置図

位置図



石見川第六支溪  
事業間連携砂防等事業

平面図



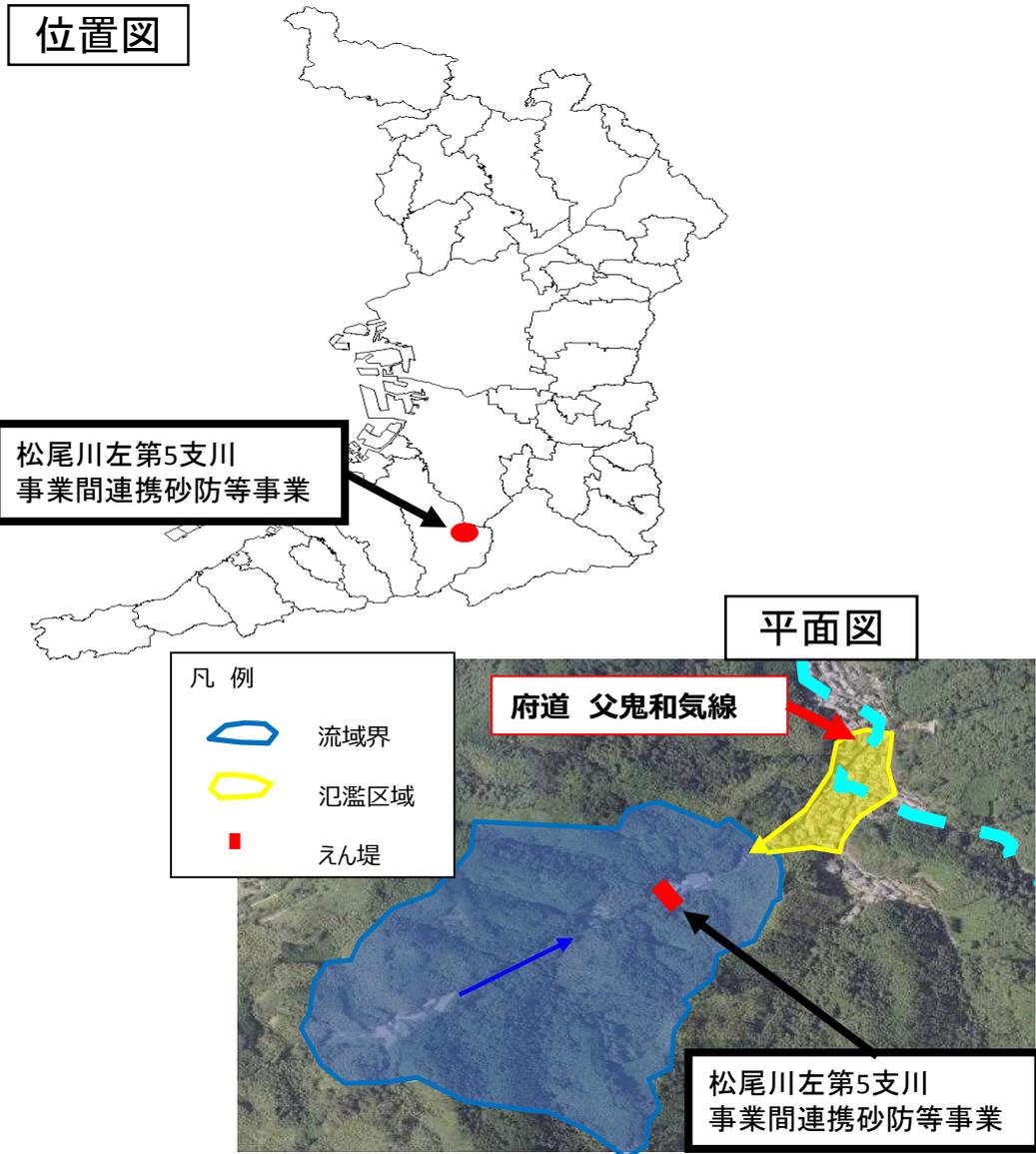
石見川第六支溪  
事業間連携砂防等事業

国道310号

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	松尾川左第5支川事業間連携砂防等事業		担当課	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課		事業 主体	大阪府															
			担当課長名	今井 一之																		
実施箇所	大阪府和泉市春木川町																					
主な事業 の諸元	主要施設：砂防堰堤																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度																		
総事業費 (億円)	4.2																					
目的・必 要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該溪流では、流域面積0.32km<sup>2</sup>の土石流危険溪流であり、溪岸の浸食が著しく、降雨時には溪床堆積物の移動が見られ、溪岸の表層崩壊も確認され危険な状況である。</li> <li>・土石流の発生により、和泉市春木川町地区の家屋45戸や市町村地域防災計画に定められた緊急交通路である府道父鬼和氣線への被害が懸念される。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <p>泉北地域において降雨が発生した際に、土石流及び流木の発生する可能性が高い溪流において砂防堰堤の整備を行い、集落等への直接的な被害・防止を軽減するとともに、緊急交通路である府道父鬼和氣線への被害を軽減する。</p> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標：土砂災害による被害の軽減</li> <li>・施策目標：土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	流域面積：0.32km <sup>2</sup> 人家：45戸 重要公共施設：1施設 府道父鬼和氣線：156m 市道：619m																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	35	C:総費用(億円)	5.1	B/C	6.9	B-C	30	EIRR (%)	41.7												
感度分析	<p>全体事業 (B/C)</p> <table border="1"> <tr> <td>残事業費 (+10%~-10%)</td> <td>6.3</td> <td>~</td> <td>7.7</td> </tr> <tr> <td>残工期 (+10%~-10%)</td> <td>6.9</td> <td>~</td> <td>6.9</td> </tr> <tr> <td>資産 (-10%~+10%)</td> <td>6.5</td> <td>~</td> <td>7.3</td> </tr> </table>										残事業費 (+10%~-10%)	6.3	~	7.7	残工期 (+10%~-10%)	6.9	~	6.9	資産 (-10%~+10%)	6.5	~	7.3
残事業費 (+10%~-10%)	6.3	~	7.7																			
残工期 (+10%~-10%)	6.9	~	6.9																			
資産 (-10%~+10%)	6.5	~	7.3																			
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が45戸から0戸に軽減する。</li> <li>② 市町村地域防災計画に記載された緊急交通路を保全する。</li> </ol>																					
その他	<p>&lt;第三者委員会の意見・反映内容&gt;</p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																					

# 松尾川左第5支川事業間連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	二釜南事業間連携砂防等事業		担当課	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課		事業 主体	大阪府			
			担当課長名	今井 一之						
実施箇所	大阪府高槻市原									
主な事業 の諸元	主要施設：砂防堰堤									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成36年度						
総事業費 (億円)	6.6									
目的・必 要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該溪流では、流域面積0.13km<sup>2</sup>の土石流危険溪流であり、溪流内は荒廃している。</li> <li>・土石流の発生により、原地区の要配慮利用施設や市町村地域防災計画に定められた緊急交通路の府道枚方亀岡線への被害が懸念される。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三島地域において降雨が発生した際に、土石流及び流木の発生する可能性が高い溪流において砂防堰堤の整備を行い、集落等への直接的な被害・防止を軽減するとともに、要配慮者利用施設である三島の郷や緊急交通路である府道枚方亀岡線への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標：土砂災害による被害の軽減</li> <li>・施策目標：土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>									
便益の主 な根拠	流域面積：0.13km <sup>2</sup> 重要公共施設：1施設 要配慮者利用施設：1施設 主要地方道枚方亀岡線：400m									
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度								
	B:総便益 (億円)	7.2	C:総費用(億円)	6.3	B/C	1.1	B-C	0.8	EIRR (%)	4.7
感度分析	全体事業 (B/C)									
	残事業費 (+10%~-10%)	1.0	~	1.3						
	残工期 (+10%~-10%)	1.1	~	1.1						
	資産 (-10%~+10%)	1.0	~	1.2						
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される要配慮者利用施設が1施設から0施設に軽減する。</li> <li>② 市町村地域防災計画に記載された緊急交通路を保全する。</li> </ol>									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた									

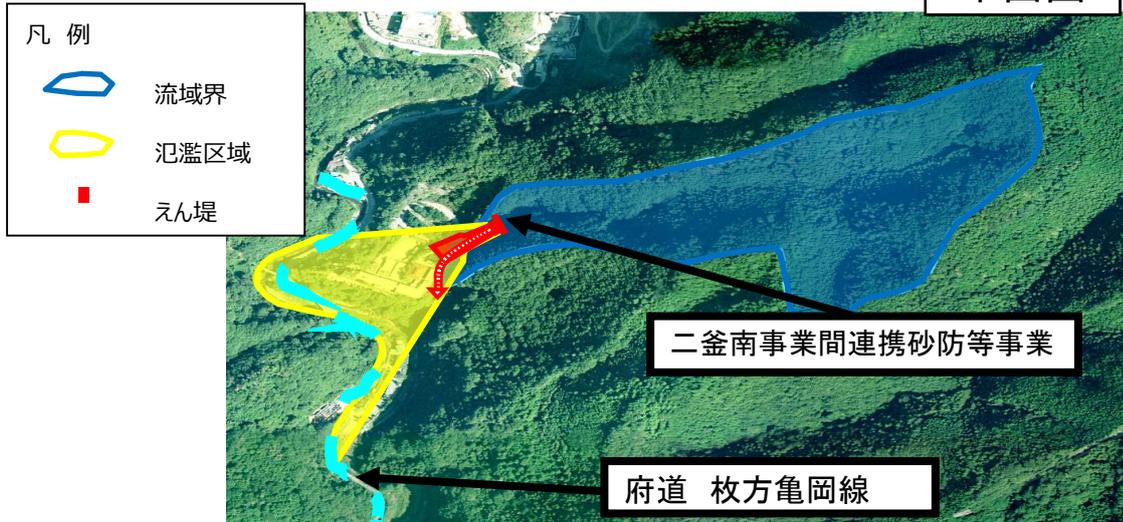
# 二釜南事業間連携砂防等事業 位置図

位置図



二釜南事業間連携砂防等事業

平面図



凡例

- 流域界
- 氾濫区域
- えん堤

二釜南事業間連携砂防等事業

府道 枚方亀岡線

<新規事業採択時評価>

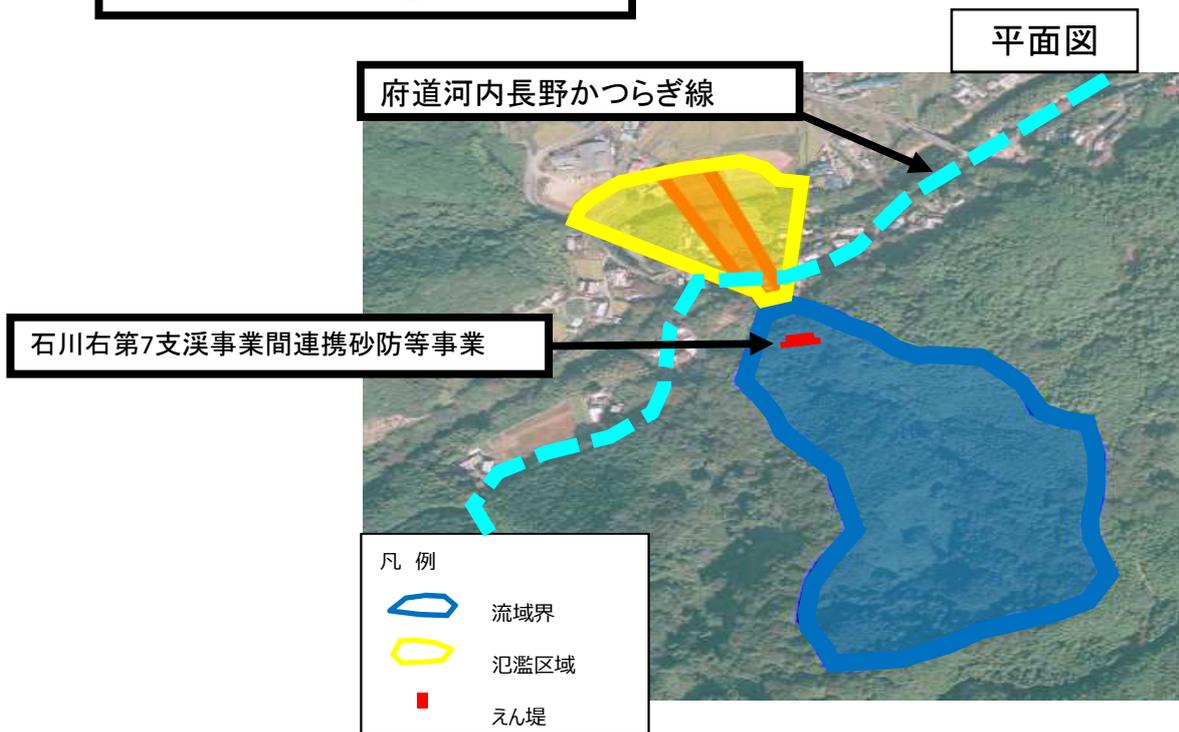
事業名 (箇所名)	石川右第7支溪事業間連携砂防等事業		担当課	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課			事業 主体	大阪府														
			担当課長名	今井 一之																		
実施箇所	大阪府河内長野市日野																					
主な事業 の諸元	主要施設：砂防堰堤																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度																		
総事業費 (億円)	4.0																					
目的・必 要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当該溪流では、平成29年10月の台風により土砂流出が発生した。</li> <li>土砂流の発生により、日野地区の家屋15戸や府道河内長野かつらぎ線への被害が懸念される。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <p>南河内地域において降雨が発生した際に、土石流及び流木の発生する可能性が高い溪流において砂防堰堤の整備を行い、集落等への直接的な被害・防止を軽減するとともに、寸断されると孤立する集落が生じる府道河内長野かつらぎ線への被害を軽減する。</p> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>政策目標：土砂災害による被害の軽減</li> <li>施策目標：土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	流域面積：0.08km <sup>2</sup> 人家：15戸 重要公共施設：1施設 府道河内長野かつらぎ線：112m																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成30年度																			
	B:総便益 (億円)	6.5	C:総費用(億円)	3.6	B/C	1.8	B-C	2.9	EIRR (%)	7.7												
感度分析	<p>全体事業 (B/C)</p> <table border="1"> <tr> <td>残事業費 (+10%~-10%)</td> <td>1.6</td> <td>~</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>残工期 (+10%~-10%)</td> <td>1.8</td> <td>~</td> <td>1.8</td> </tr> <tr> <td>資産 (-10%~+10%)</td> <td>1.7</td> <td>~</td> <td>1.9</td> </tr> </table>										残事業費 (+10%~-10%)	1.6	~	2.0	残工期 (+10%~-10%)	1.8	~	1.8	資産 (-10%~+10%)	1.7	~	1.9
残事業費 (+10%~-10%)	1.6	~	2.0																			
残工期 (+10%~-10%)	1.8	~	1.8																			
資産 (-10%~+10%)	1.7	~	1.9																			
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が15戸から0戸に軽減する。</li> <li>寸断されると孤立する集落が生じる府道を保全する。</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

# 石川右第7支溪事業間連携砂防等事業 位置図

位置図



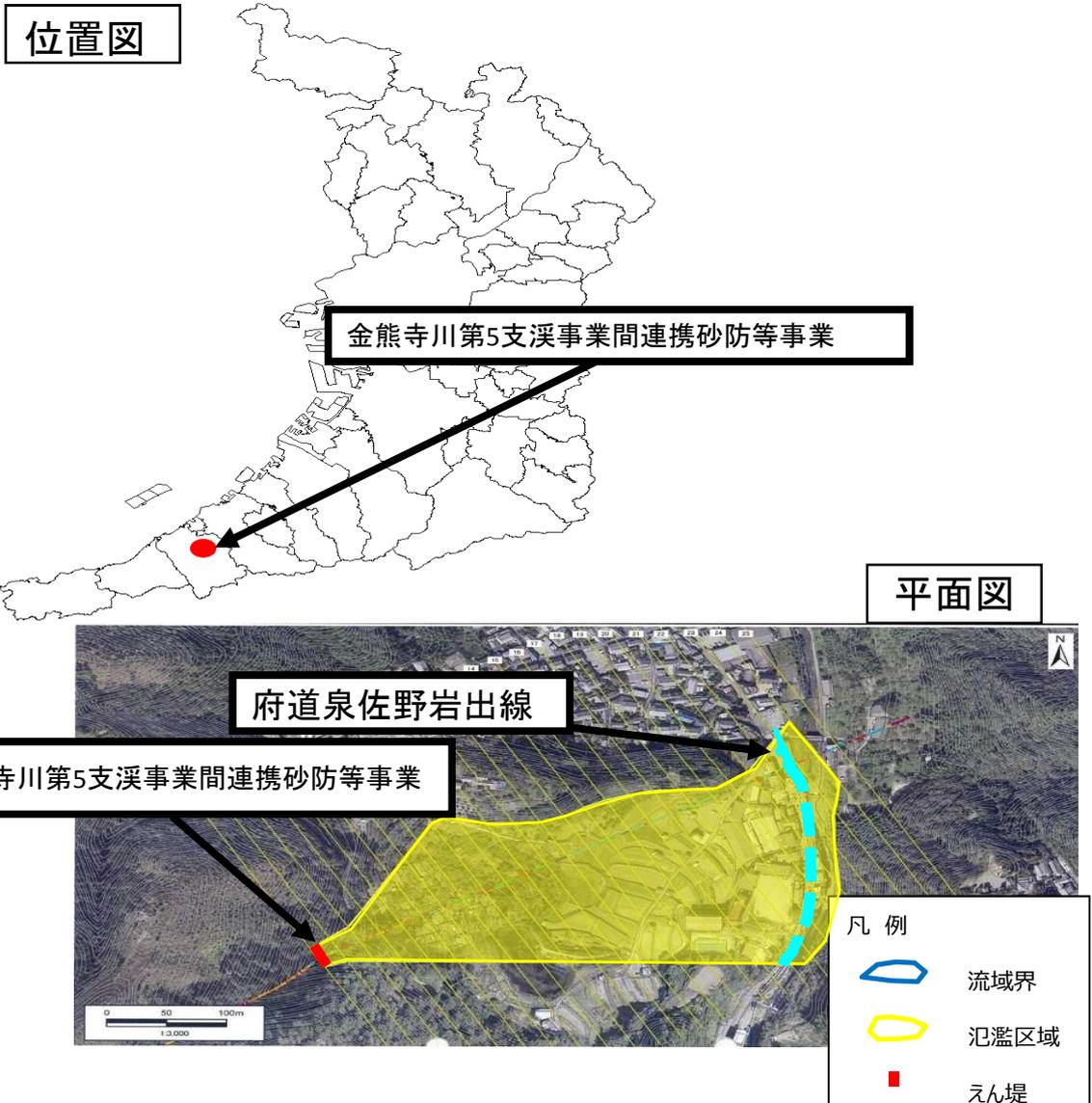
平面図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	金熊寺川第5支渓事業間連携砂防等事業		担当課	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課		事業 主体	大阪府															
			担当課長名	今井 一之																		
実施箇所	大阪府泉南市信達金熊寺																					
主な事業 の諸元	主要施設：砂防堰堤																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度																		
総事業費 (億円)	4.0																					
目的・必 要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該溪流では、流域面積0.08km<sup>2</sup>の土石流危険溪流であり、溪流内は荒廃している。</li> <li>・土石流の発生により、信達金熊寺地区の家屋10戸や市町村地域防災計画に定められた指定避難所である東小学校、府道泉佐野岩出線への被害が懸念される。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <p>泉南地域において降雨が発生した際に、土石流及び流木の発生する可能性が高い溪流において砂防堰堤の整備を行い、集落等への直接的な被害・防止を軽減するとともに、指定避難所や府道泉佐野岩出線への被害を軽減する。</p> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標：土砂災害による被害の軽減</li> <li>・施策目標：土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	流域面積：0.08km <sup>2</sup> 人家：10戸 重要公共施設：2施設 要配慮者利用施設：1施設 府道泉佐野岩出線：669m																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成30年度																			
	B:総便益 (億円)	20	C:総費用(億円)	3.7	B/C	5.5	B-C	16	EIRR (%)	19.3												
感度分析	<p>全体事業 (B/C)</p> <table border="1"> <tr> <td>残事業費 (+10%~-10%)</td> <td>5.0</td> <td>~</td> <td>6.1</td> </tr> <tr> <td>残工期 (+10%~-10%)</td> <td>5.5</td> <td>~</td> <td>5.5</td> </tr> <tr> <td>資産 (-10%~+10%)</td> <td>5.0</td> <td>~</td> <td>5.9</td> </tr> </table>										残事業費 (+10%~-10%)	5.0	~	6.1	残工期 (+10%~-10%)	5.5	~	5.5	資産 (-10%~+10%)	5.0	~	5.9
残事業費 (+10%~-10%)	5.0	~	6.1																			
残工期 (+10%~-10%)	5.5	~	5.5																			
資産 (-10%~+10%)	5.0	~	5.9																			
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が10戸から0戸に軽減する。</li> <li>② 市町村地域防災計画に記載された避難所、府道を保全する。</li> </ol>																					
その他	<p>&lt;第三者委員会の意見・反映内容&gt;</p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																					

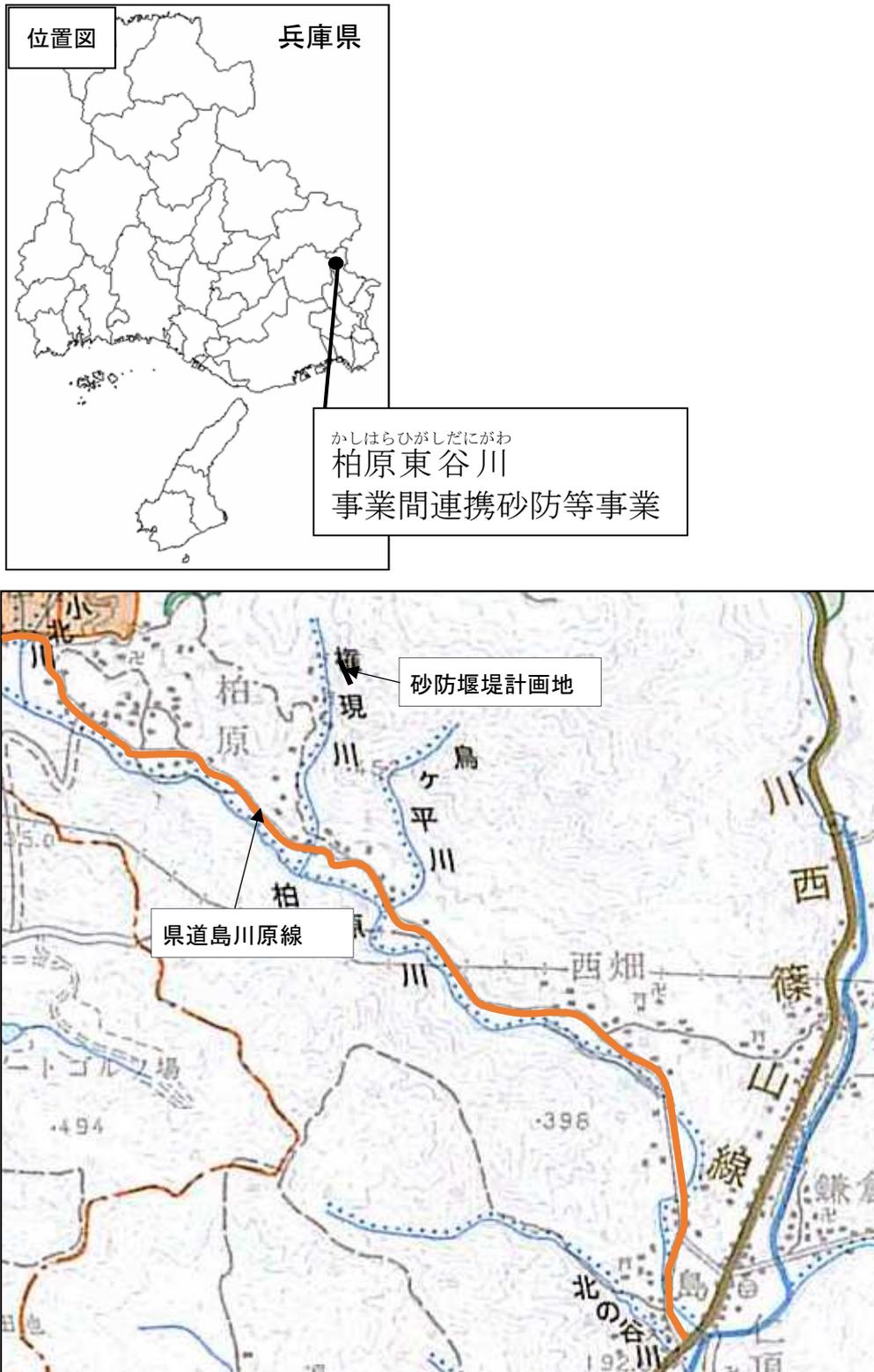
# 金熊寺川第5支溪事業間連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	柏原東谷川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	兵庫県																	
実施箇所	兵庫県川辺郡猪名川町柏原																						
主な事業 の諸元	流域面積:約0.05km <sup>2</sup> 主要施設:砂防堰堤																						
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度																			
総事業費 (億円)	2.2																						
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、倒木・崩壊等、流域の荒廃が著しいため、人家や県道島川原線、町道等が土石流等による甚大な被害のおそれがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・柏原地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による県道島川原線等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																						
便益の主 な根拠	想定氾濫面積:9.4ha 世帯数:19世帯 重要公共施設2(県道島川原線、町道)																						
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																					
	B:総便益 (億円)	16	C:総費用(億円)		2.4	B/C	6.6	B-C	13	EIRR (%)	30												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>6.0</td> <td>~ 7.3</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>6.6</td> <td>~ 6.6</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>6.3</td> <td>~ 6.8</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	6.0	~ 7.3	残工期(+10%~-10%)	6.6	~ 6.6	資産(-10%~+10%)	6.3	~ 6.8
	全体事業(B/C)																						
残事業費(+10%~-10%)	6.0	~ 7.3																					
残工期(+10%~-10%)	6.6	~ 6.6																					
資産(-10%~+10%)	6.3	~ 6.8																					
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>①計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が19戸から0戸に軽減する。</p> <p>②計画規模の豪雨による土石流被害について、県道島川原線、町道への被害を軽減する。</p>																						
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																						

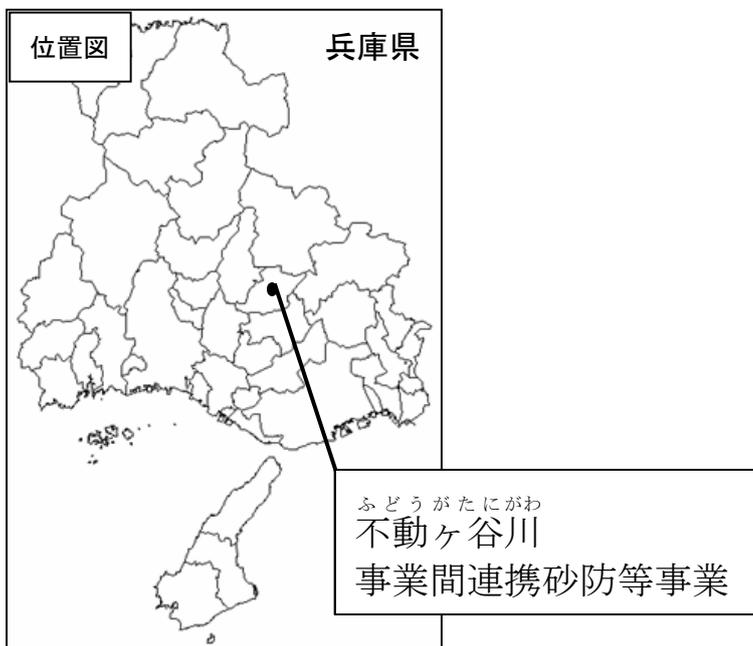
# 柏原東谷川事業間連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	不動ヶ谷川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	兵庫県																
実施箇所	兵庫県西脇市黒田庄町津万井																					
主な事業 の諸元	流域面積:約0.08km <sup>2</sup> 主要施設:砂防堰堤																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度																		
総事業費 (億円)	1.5																					
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、倒木・崩壊等、流域の荒廃が著しいため、人家や国道175号(緊急輸送道路)、県道津万井西田線、市道、変電所等が土石流等による甚大な被害のおそれがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・津万井地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による国道175号(緊急輸送道路)、県道津万井西田線等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主な 根拠	想定氾濫面積:4.9ha 世帯数:13世帯 重要公共施設4(国道175号(緊急輸送道路)、県道津万井西田線、市道、変電所)																					
事業全体の 投資効率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	12	C:総費用(億円)	1.5	B/C	7.7	B-C	10	EIRR (%)	35												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>7.0</td> <td>~ 8.6</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>7.7</td> <td>~ 7.7</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>7.5</td> <td>~ 8.0</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	7.0	~ 8.6	残工期(+10%~-10%)	7.7	~ 7.7	資産(-10%~+10%)	7.5	~ 8.0
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	7.0	~ 8.6																				
残工期(+10%~-10%)	7.7	~ 7.7																				
資産(-10%~+10%)	7.5	~ 8.0																				
事業の 効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が13戸から0戸に軽減する。</li> <li>②計画規模の豪雨による土石流被害について、国道175号、県道津万井西田線、市道、変電所への被害を軽減する。</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

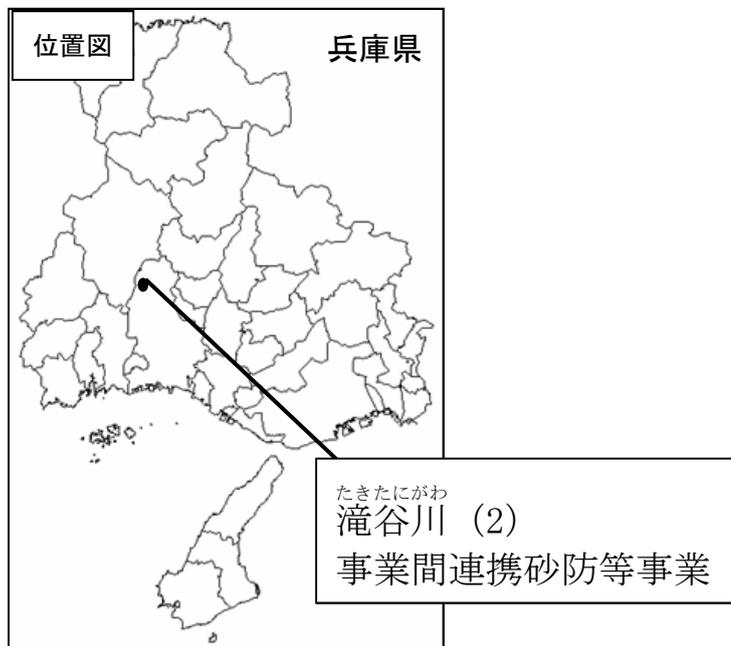
# 不動ヶ谷川事業間連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	滝谷川(2)事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	兵庫県																	
実施箇所	兵庫県姫路市安富町末広																						
主な事業 の諸元	流域面積:約0.145km <sup>2</sup> 主要施設:砂防堰堤																						
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度																			
総事業費 (億円)	0.76																						
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、倒木・崩壊等、流域の荒廃が著しいため、人家や県道東河内安富線、集会所等が土石流等による甚大な被害のおそれがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・末広地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による県道東河内安富線等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																						
便益の主な 根拠	想定氾濫面積:2.0ha 世帯数:20世帯 重要公共施設1(県道東河内安富線)																						
事業全体の 投資効 率性	基準年度	平成30年度																					
	B:総便益 (億円)	19	C:総費用(億円)		0.98	B/C	19.0	B-C	18	EIRR (%)	86												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>17.2</td> <td>~ 21.2</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>19.1</td> <td>~ 19.0</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>18.2</td> <td>~ 19.8</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	17.2	~ 21.2	残工期(+10%~-10%)	19.1	~ 19.0	資産(-10%~+10%)	18.2	~ 19.8
	全体事業(B/C)																						
残事業費(+10%~-10%)	17.2	~ 21.2																					
残工期(+10%~-10%)	19.1	~ 19.0																					
資産(-10%~+10%)	18.2	~ 19.8																					
事業の 効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>①計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が20戸から0戸に軽減する。</p> <p>②計画規模の豪雨による土石流被害について、県道東河内安富線への被害を軽減する。</p>																						
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																						

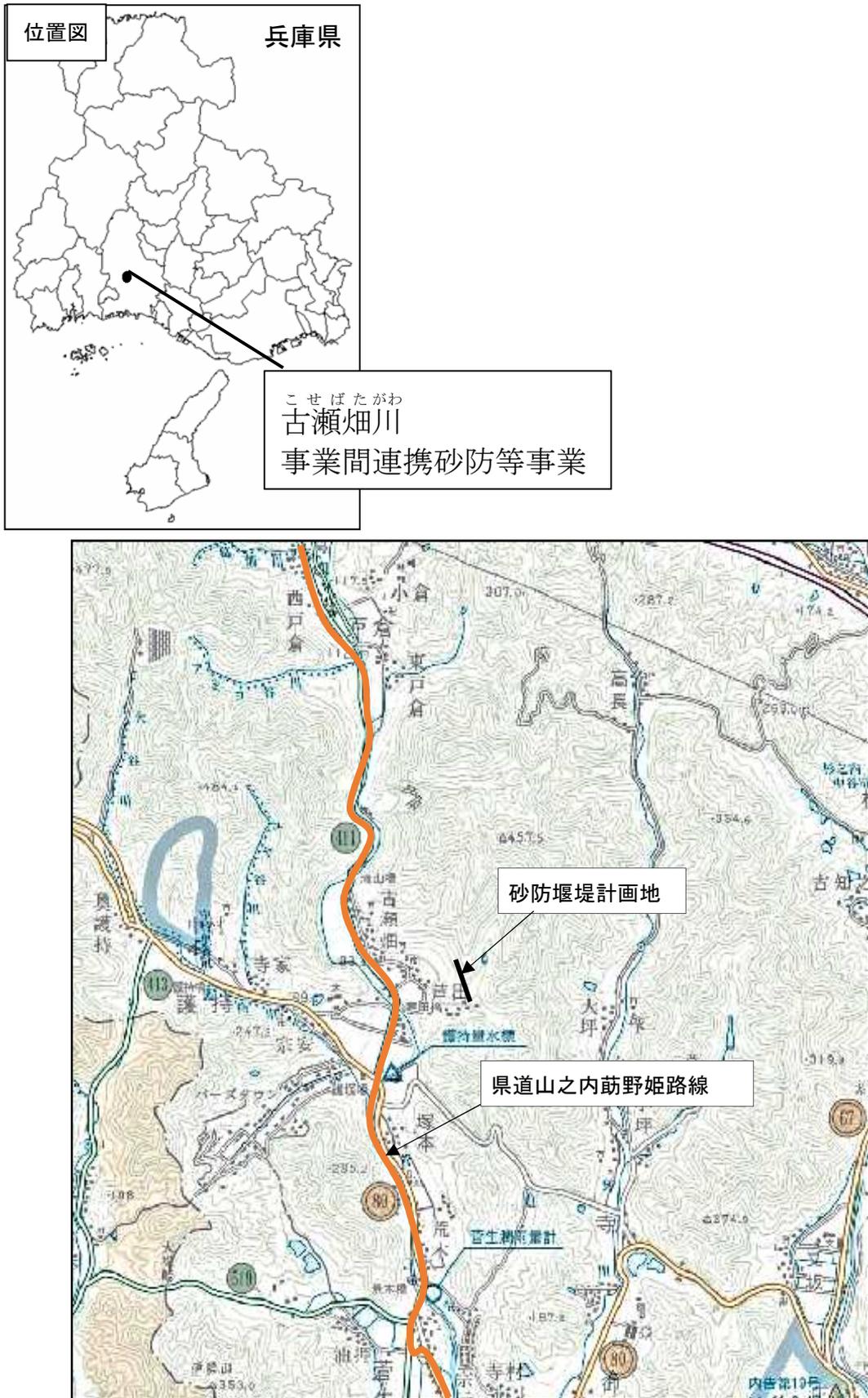
## 滝谷川（2）事業間連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	古瀬畑川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	兵庫県																
実施箇所	兵庫県姫路市夢前町古瀬畑																					
主な事業 の諸元	流域面積:約0.37km <sup>2</sup> 主要施設:砂防堰堤																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度																		
総事業費 (億円)	1.3																					
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、倒木・崩壊等、流域の荒廃が著しいため、人家や県道山之内筋野姫路線、公民館等が土石流等による甚大な被害のおそれがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古瀬畑地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による県道山之内筋野姫路線等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	想定氾濫面積:8.8ha 世帯数:23世帯 重要公共施設1(県道山之内筋野姫路線)																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	21	C:総費用(億円)	1.5	B/C	14.5	B-C	20	EIRR (%)	67												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>13.2</td> <td>~ 16.0</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>14.7</td> <td>~ 14.5</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>13.9</td> <td>~ 15.1</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	13.2	~ 16.0	残工期(+10%~-10%)	14.7	~ 14.5	資産(-10%~+10%)	13.9	~ 15.1
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	13.2	~ 16.0																				
残工期(+10%~-10%)	14.7	~ 14.5																				
資産(-10%~+10%)	13.9	~ 15.1																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が23戸から0戸に軽減する。</li> <li>②計画規模の豪雨による土石流被害について、県道山之内筋野姫路線への被害を軽減する。</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

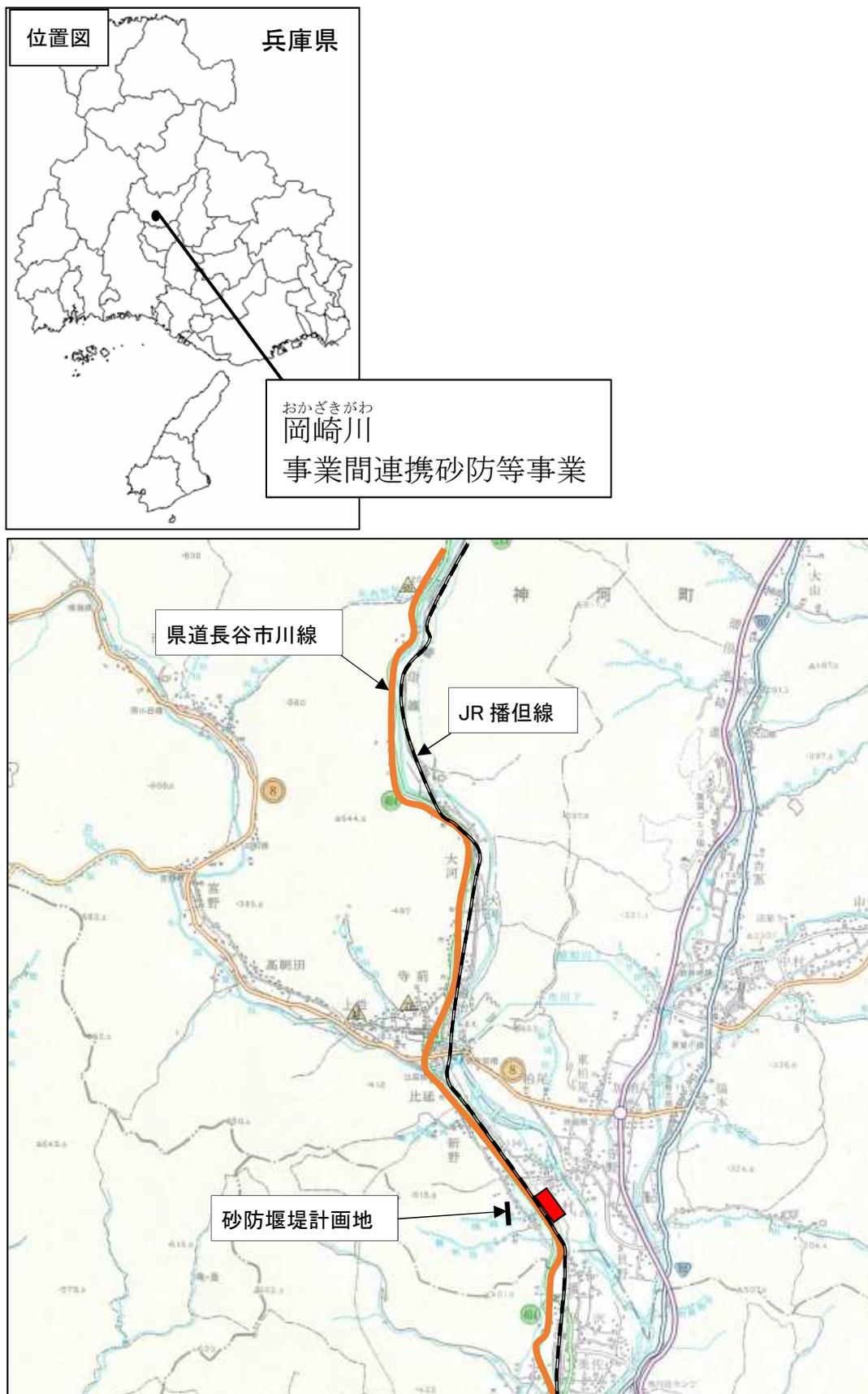
# 古瀬畑川事業間連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	岡崎川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	兵庫県																					
実施箇所	兵庫県神崎郡神河町新野																										
主な事業 の諸元	流域面積:約0.22km <sup>2</sup> 主要施設:砂防堰堤																										
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																							
総事業費 (億円)	1.1																										
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、倒木・崩壊等、流域の荒廃が著しいため、人家や県道長谷市川線、町道、JR播但線、JR新野駅、公民館(地域防災計画に位置づけられた避難所)等が土石流等による甚大な被害のおそれがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新野地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による県道長谷市川線等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																										
便益の主な 根拠	想定氾濫面積:11.1ha 世帯数:58世帯 重要公共施設4(県道長谷市川線、町道、JR播但線、JR新野駅) 地域防災計画に位置づけられた避難所:公民館																										
事業全体の 投資効率 率性	基準年度	平成30年度																									
	B:総便益 (億円)	46	C:総費用(億円)	1.3	B/C	34.7	B-C	44	EIRR (%)	161																	
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td></td> <td>31.4</td> <td>~ 38.2</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td></td> <td>34.9</td> <td>~ 34.3</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td></td> <td>33.4</td> <td>~ 36.0</td> </tr> </tbody> </table>													全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)		31.4	~ 38.2	残工期(+10%~-10%)		34.9	~ 34.3	資産(-10%~+10%)		33.4	~ 36.0
		全体事業(B/C)																									
残事業費(+10%~-10%)		31.4	~ 38.2																								
残工期(+10%~-10%)		34.9	~ 34.3																								
資産(-10%~+10%)		33.4	~ 36.0																								
事業の 効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が58戸から0戸に軽減する。</li> <li>②計画規模の豪雨による土石流被害について、県道長谷市川線、町道、JR播但線、JR新野駅への被害を軽減する。</li> </ol>																										
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																										

# 岡崎川事業間連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	サスルキ谷川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	兵庫県																
実施箇所	兵庫県神崎郡市川町上牛尾																					
主な事業 の諸元	流域面積:約0.18km <sup>2</sup> 主要施設:砂防堰堤																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																		
総事業費 (億円)	0.55																					
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、倒木・崩壊等、流域の荒廃が著しいため、人家や県道西脇八千代市川線、市道等が土石流等による甚大な被害のおそれがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上牛尾地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による県道西脇八千代市川線等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	想定氾濫面積:2.1ha 世帯数:5世帯 重要公共施設2(県道西脇八千代市川線、町道)																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	4.7	C:総費用(億円)	1.2	B/C	3.9	B-C	3.5	EIRR (%)	18												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>3.6</td> <td>~ 4.3</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>4.0</td> <td>~ 3.9</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>3.8</td> <td>~ 4.1</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	3.6	~ 4.3	残工期(+10%~-10%)	4.0	~ 3.9	資産(-10%~+10%)	3.8	~ 4.1
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	3.6	~ 4.3																				
残工期(+10%~-10%)	4.0	~ 3.9																				
資産(-10%~+10%)	3.8	~ 4.1																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>①計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が5戸から0戸に軽減する。</p> <p>②計画規模の豪雨による土石流被害について、県道西脇八千代市川線、町道への被害を軽減する。</p>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

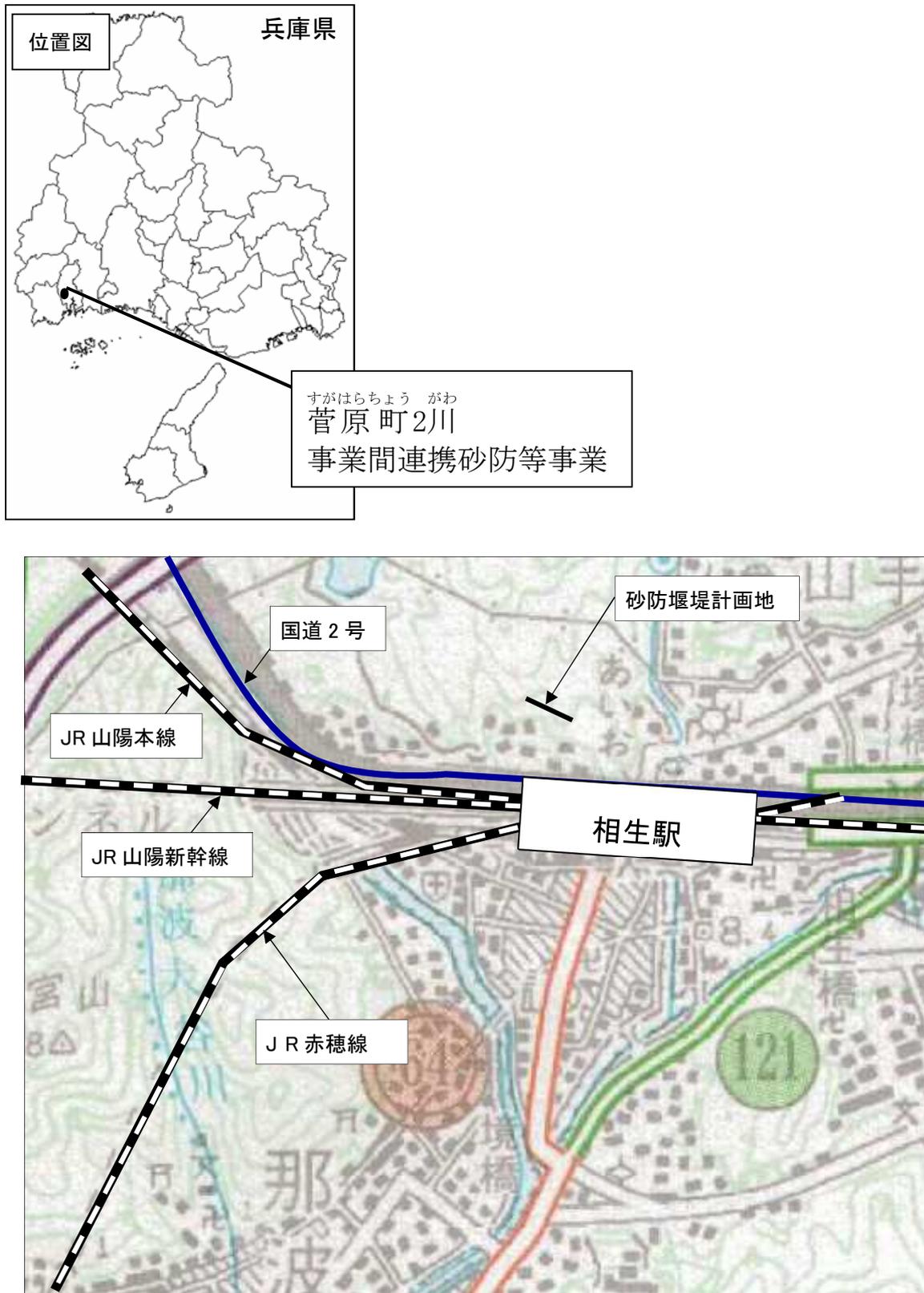
# サスルキ谷川事業間連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	菅原町2川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	兵庫県																	
実施箇所	兵庫県相生市菅原町																						
主な事業 の諸元	流域面積:約0.03km <sup>2</sup> 主要施設:砂防堰堤																						
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度																			
総事業費 (億円)	1.4																						
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、倒木・崩壊等、流域の荒廃が著しいため、人家や国道2号(緊急輸送道路)、JR山陽本線、JR相生駅、市道等が土石流等による甚大な被害のおそれがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・菅原町地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による国道2号(緊急輸送道路)等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																						
便益の主 な根拠	想定氾濫面積:5.3ha 世帯数:39世帯 重要公共施設4(国道2号(緊急輸送道路)、市道、JR山陽本線、JR相生駅)																						
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																					
	B:総便益 (億円)	32	C:総費用(億円)		1.3	B/C	23.5	B-C	30	EIRR (%)	106												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>21.4</td> <td>~ 26.0</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>23.7</td> <td>~ 23.5</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>22.6</td> <td>~ 24.4</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	21.4	~ 26.0	残工期(+10%~-10%)	23.7	~ 23.5	資産(-10%~+10%)	22.6	~ 24.4
	全体事業(B/C)																						
残事業費(+10%~-10%)	21.4	~ 26.0																					
残工期(+10%~-10%)	23.7	~ 23.5																					
資産(-10%~+10%)	22.6	~ 24.4																					
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が39戸から0戸に軽減する。</li> <li>②計画規模の豪雨による土石流被害について、国道2号、市道、JR山陽本線、JR相生駅への被害を軽減する。</li> </ol>																						
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																						

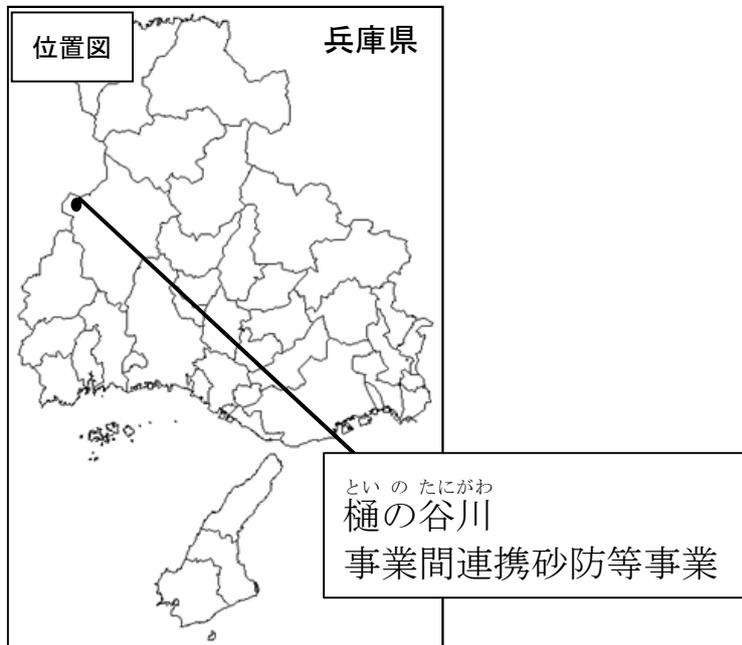
## 菅原町 2 川事業間連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	樋の谷川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	兵庫県																	
実施箇所	兵庫県宍粟市千種町西河内																						
主な事業 の諸元	流域面積:約0.4km <sup>2</sup> 主要施設:砂防堰堤																						
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度																			
総事業費 (億円)	1.8																						
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、倒木・崩壊等、流域の荒廃が著しいため、人家や県道若桜下三河線、市道、集会所等が土石流等による甚大な被害のおそれがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西河内地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による県道若桜下三河線等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																						
便益の主な 根拠	想定氾濫面積:2.5ha 世帯数:10世帯 重要公共施設2(県道若桜下三河線、市道)																						
事業全体の 投資効率性	基準年度	平成30年度																					
	B:総便益 (億円)	11	C:総費用(億円)		2.0	B/C	5.5	B-C	8.9	EIRR (%)	25												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>5.1</td> <td>~ 6.0</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>5.5</td> <td>~ 5.5</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>5.2</td> <td>~ 5.7</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	5.1	~ 6.0	残工期(+10%~-10%)	5.5	~ 5.5	資産(-10%~+10%)	5.2	~ 5.7
	全体事業(B/C)																						
残事業費(+10%~-10%)	5.1	~ 6.0																					
残工期(+10%~-10%)	5.5	~ 5.5																					
資産(-10%~+10%)	5.2	~ 5.7																					
事業の 効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が10戸から0戸に軽減する。</li> <li>②計画規模の豪雨による土石流被害について、県道若桜下三河線、市道への被害を軽減する。</li> </ol>																						
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																						

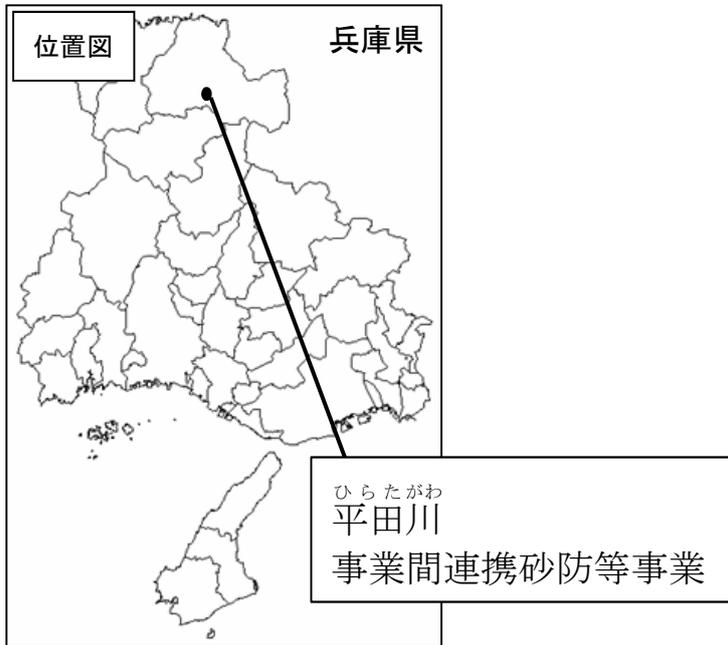
# 樋の谷川事業間連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	平田川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	兵庫県																	
実施箇所	兵庫県豊岡市出石町荒木																						
主な事業 の諸元	流域面積:約0.2km <sup>2</sup> 主要施設:砂防堰堤																						
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																			
総事業費 (億円)	1.4																						
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、倒木・崩壊等、流域の荒廃が著しいため、人家や県道宮津養父線、市道等が土石流等による甚大な被害のおそれがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・荒木地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による県道宮津養父線等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																						
便益の主 な根拠	想定氾濫面積:3.7ha 世帯数:18世帯 重要公共施設2(県道宮津養父線、市道)																						
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																					
	B:総便益 (億円)	13	C:総費用(億円)		1.6	B/C	8.5	B-C	12	EIRR (%)	39												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>7.8</td> <td>~ 9.5</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>8.6</td> <td>~ 8.5</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>8.2</td> <td>~ 8.8</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	7.8	~ 9.5	残工期(+10%~-10%)	8.6	~ 8.5	資産(-10%~+10%)	8.2	~ 8.8
	全体事業(B/C)																						
残事業費(+10%~-10%)	7.8	~ 9.5																					
残工期(+10%~-10%)	8.6	~ 8.5																					
資産(-10%~+10%)	8.2	~ 8.8																					
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>①計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が18戸から0戸に軽減する。</p> <p>②計画規模の豪雨による土石流被害について、県道宮津養父線、市道への被害を軽減する。</p>																						
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																						

# 平田川事業間連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	中道川事業間連携砂防等事業	担当課	水管理・国土保全局砂防部	事業 主体	兵庫県												
		担当課長名	砂防計画課 今井 一之														
実施箇所	兵庫県美方郡香美町小代区神水																
主な事業 の諸元	流域面積:約0.6km <sup>2</sup> 主要施設:砂防堰堤																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度													
総事業費 (億円)	3.9																
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、倒木・崩壊等、流域の荒廃が著しいため、人家や国道482号(緊急輸送道路)、町道、集会所(地域防災計画に位置づけられた避難所)等が土石流等による甚大な被害のおそれがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神水地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による国道482号(緊急輸送道路)等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																
便益の主 な根拠	想定氾濫面積:7.3ha 世帯数:48世帯 重要公共施設2(国道482号(緊急輸送道路)、町道) 地域防災計画に位置づけられた避難所:集会所																
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度															
	B:総便益 (億円)	37	C:総費用(億円)	3.5	B/C												
				10.6	B-C												
				33	EIRR (%)												
					49												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>9.6</td> <td>~ 11.7</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>10.6</td> <td>~ 10.6</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>10.2</td> <td>~ 11.0</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	9.6	~ 11.7	残工期(+10%~-10%)	10.6	~ 10.6	資産(-10%~+10%)	10.2	~ 11.0
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	9.6	~ 11.7															
残工期(+10%~-10%)	10.6	~ 10.6															
資産(-10%~+10%)	10.2	~ 11.0															
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が48戸から0戸に軽減する。</li> <li>②計画規模の豪雨による土石流被害について、国道482号、町道への被害を軽減する。</li> </ol>																
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																

# 中道川事業間連携砂防等事業 位置図

位置図

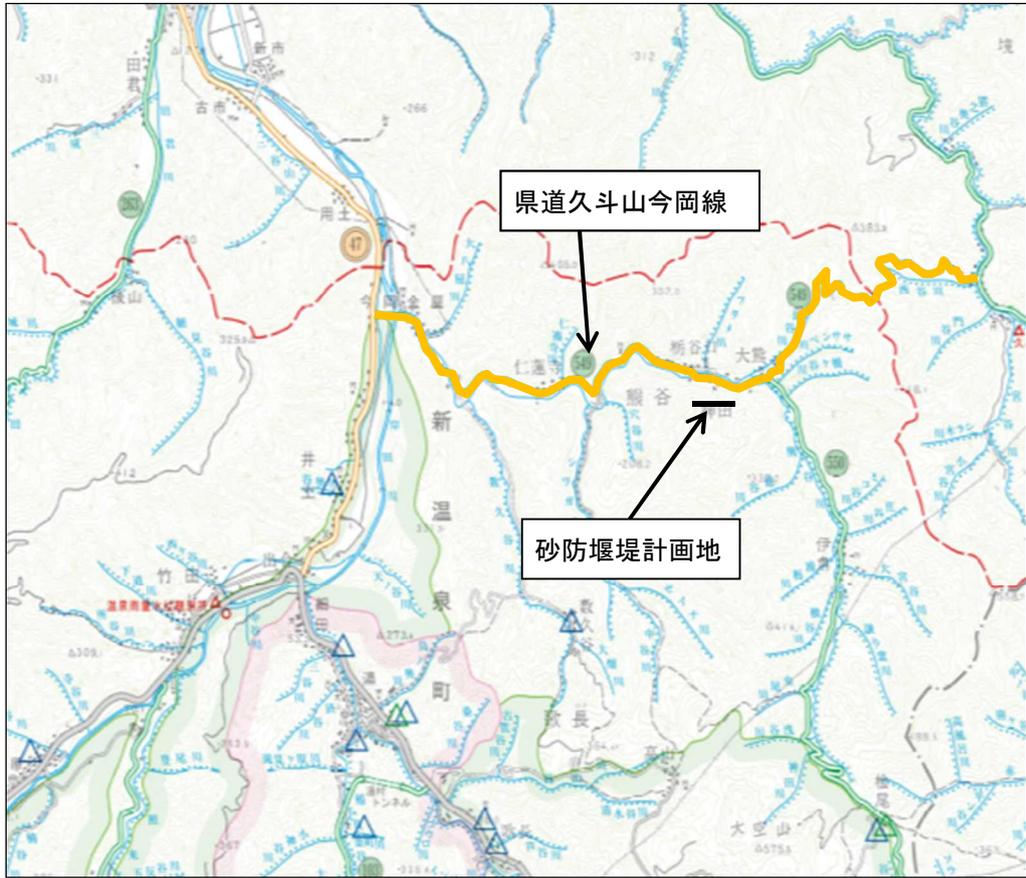
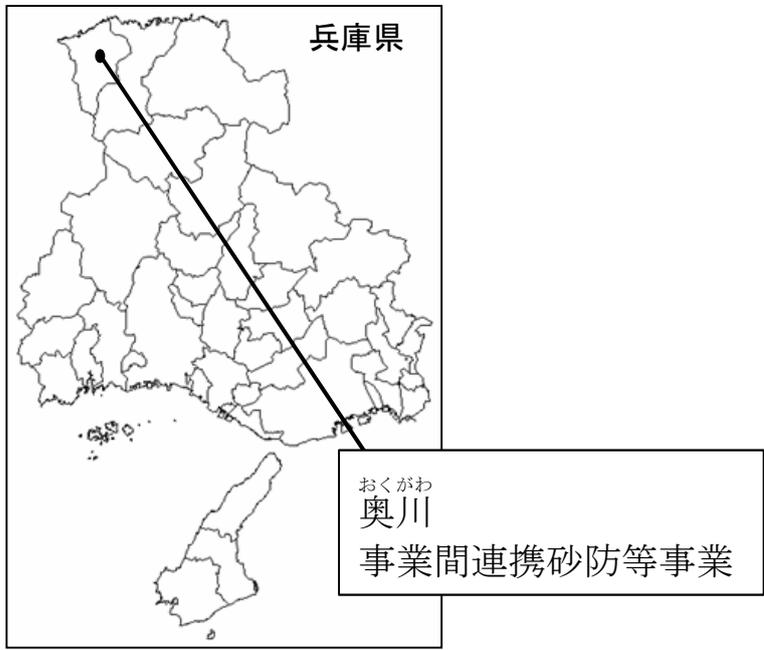


<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	奥川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	兵庫県																				
実施箇所	兵庫県美方郡新温泉町熊谷																									
主な事業 の諸元	流域面積:約0.5km <sup>2</sup> 主要施設:砂防堰堤																									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																						
総事業費 (億円)	0.97																									
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、倒木・崩壊等、流域の荒廃が著しいため、人家や県道久斗山今岡線、町道等が土石流等による甚大な被害のおそれがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熊谷地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による県道久斗山今岡線等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																									
便益の主 な根拠	想定氾濫面積:1.9ha 世帯数:18世帯 重要公共施設2(県道久斗山今岡線、町道)																									
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																								
	B:総便益 (億円)	14	C:総費用(億円)	1.0	B/C	14.0	B-C	13	EIRR (%)	64																
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>12.7</td> <td>~</td> <td>15.5</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>14.0</td> <td>~</td> <td>14.0</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>13.5</td> <td>~</td> <td>14.4</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	12.7	~	15.5	残工期(+10%~-10%)	14.0	~	14.0	資産(-10%~+10%)	13.5	~	14.4
		全体事業(B/C)																								
残事業費(+10%~-10%)	12.7	~	15.5																							
残工期(+10%~-10%)	14.0	~	14.0																							
資産(-10%~+10%)	13.5	~	14.4																							
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>①計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が18戸から0戸に軽減する。</p> <p>②計画規模の豪雨による土石流被害について、県道久斗山今岡線、町道への被害を軽減する。</p>																									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																									

# 奥川事業間連携砂防等事業 位置図

位置図

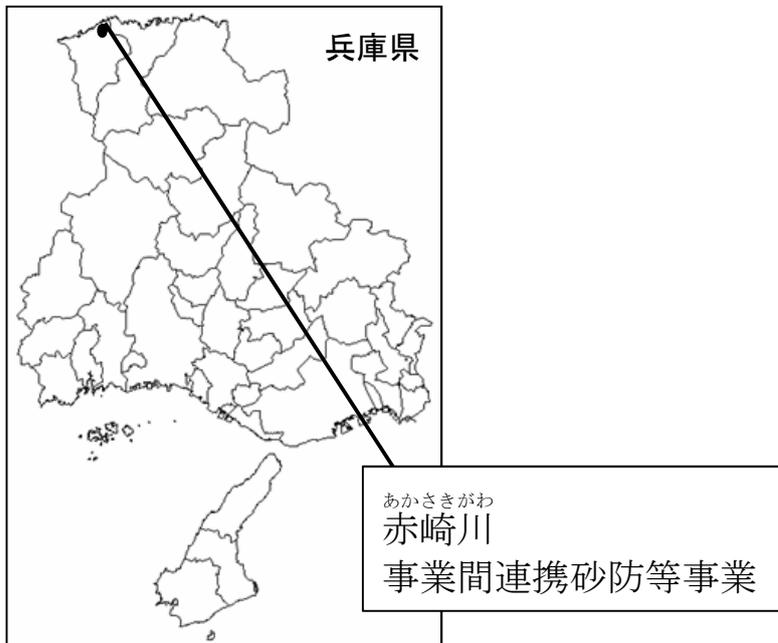


<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	赤崎川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	兵庫県																	
実施箇所	兵庫県美方郡新温泉町赤崎																						
主な事業 の諸元	流域面積:約0.02km <sup>2</sup> 主要施設:砂防堰堤																						
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度																			
総事業費 (億円)	1.3																						
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、倒木・崩壊等、流域の荒廃が著しいため、人家や県道赤崎久谷停車場線、町道、集会所等が土石流等による甚大な被害のおそれがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤崎地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による県道赤崎久谷停車場線等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																						
便益の主 な根拠	想定氾濫面積:1.5ha 世帯数:16世帯 重要公共施設2(県道赤崎久谷停車場線、町道)																						
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																					
	B:総便益 (億円)	15	C:総費用(億円)		1.4	B/C	11.2	B-C	14	EIRR (%)	51												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>10.6</td> <td>~ 12.9</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>11.2</td> <td>~ 11.2</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>10.7</td> <td>~ 11.7</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	10.6	~ 12.9	残工期(+10%~-10%)	11.2	~ 11.2	資産(-10%~+10%)	10.7	~ 11.7
	全体事業(B/C)																						
残事業費(+10%~-10%)	10.6	~ 12.9																					
残工期(+10%~-10%)	11.2	~ 11.2																					
資産(-10%~+10%)	10.7	~ 11.7																					
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が16戸から0戸に軽減する。</li> <li>②計画規模の豪雨による土石流被害について、県道赤崎久谷停車場線、町道への被害を軽減する。</li> </ol>																						
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																						

# 赤崎川事業間連携砂防等事業 位置図

位置図

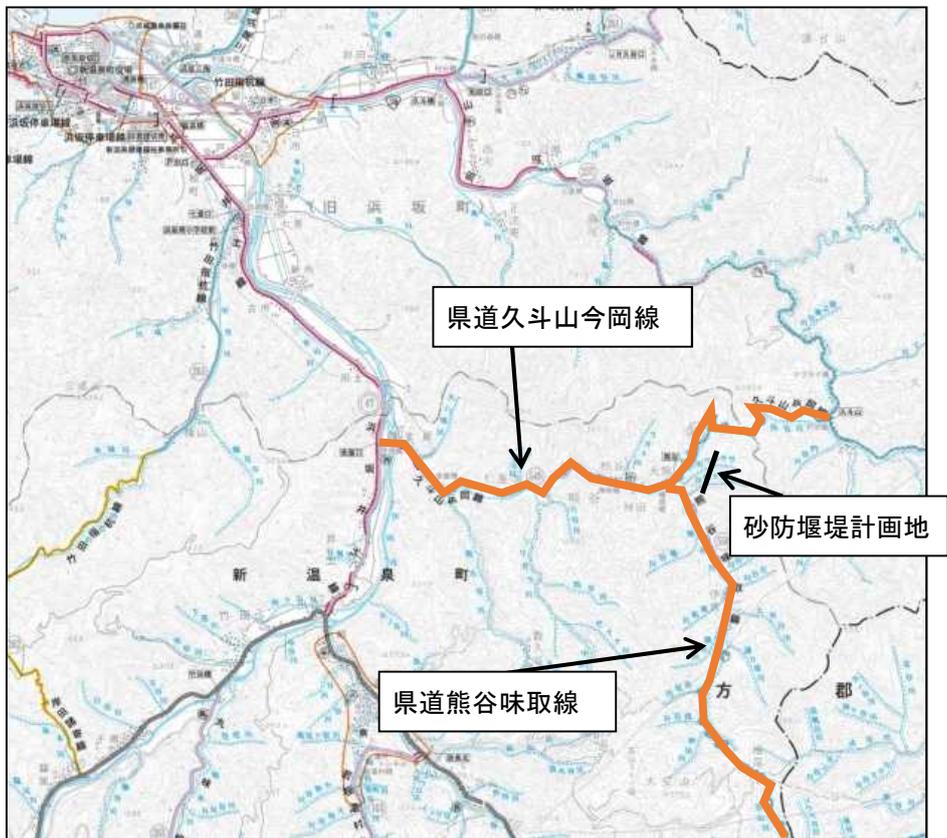
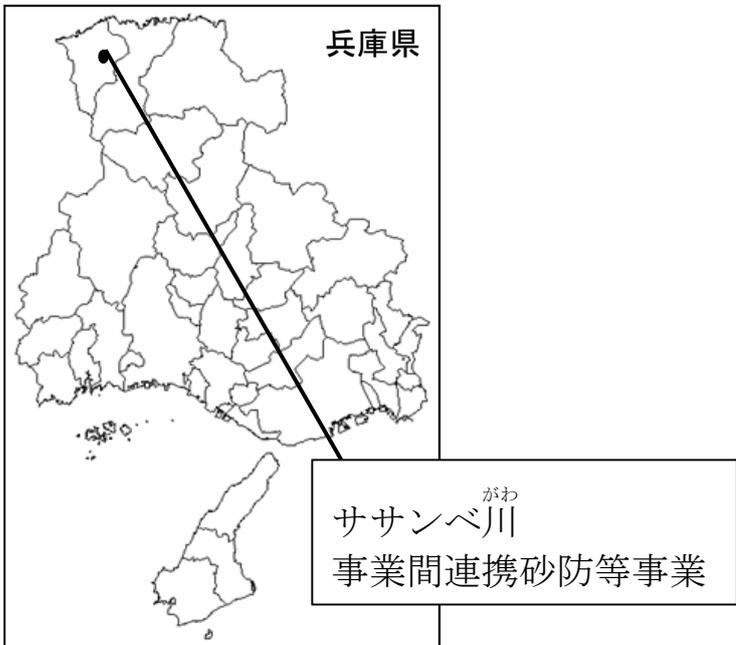


<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	ササンべ川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	兵庫県																	
実施箇所	兵庫県美方郡新温泉町熊谷																						
主な事業 の諸元	流域面積:約0.22km <sup>2</sup> 主要施設:砂防堰堤、溪流保全工																						
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度																			
総事業費 (億円)	1.6																						
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、倒木・崩壊等、流域の荒廃が著しいため、人家や県道熊谷味取線、県道久斗山今岡線、町道等が土石流等による甚大な被害のおそれがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熊谷地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による県道熊谷味取線、県道久斗山今岡線等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																						
便益の主な 根拠	想定氾濫面積:2.2ha 世帯数:11世帯 重要公共施設2(県道熊谷味取線、県道久斗山今岡線)																						
事業全体の 投資効率性	基準年度	平成30年度																					
	B:総便益 (億円)	9.0	C:総費用(億円)		1.6	B/C	5.5	B-C	7.4	EIRR (%)	25												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>5.0</td> <td>~ 6.1</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>5.6</td> <td>~ 5.5</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>5.4</td> <td>~ 5.7</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	5.0	~ 6.1	残工期(+10%~-10%)	5.6	~ 5.5	資産(-10%~+10%)	5.4	~ 5.7
	全体事業(B/C)																						
残事業費(+10%~-10%)	5.0	~ 6.1																					
残工期(+10%~-10%)	5.6	~ 5.5																					
資産(-10%~+10%)	5.4	~ 5.7																					
事業の 効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が11戸から0戸に軽減する。</li> <li>②計画規模の豪雨による土石流被害について、県道熊谷味取線、県道久斗山今岡線への被害を軽減する。</li> </ol>																						
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																						

# ササンベ川事業間連携砂防等事業 位置図

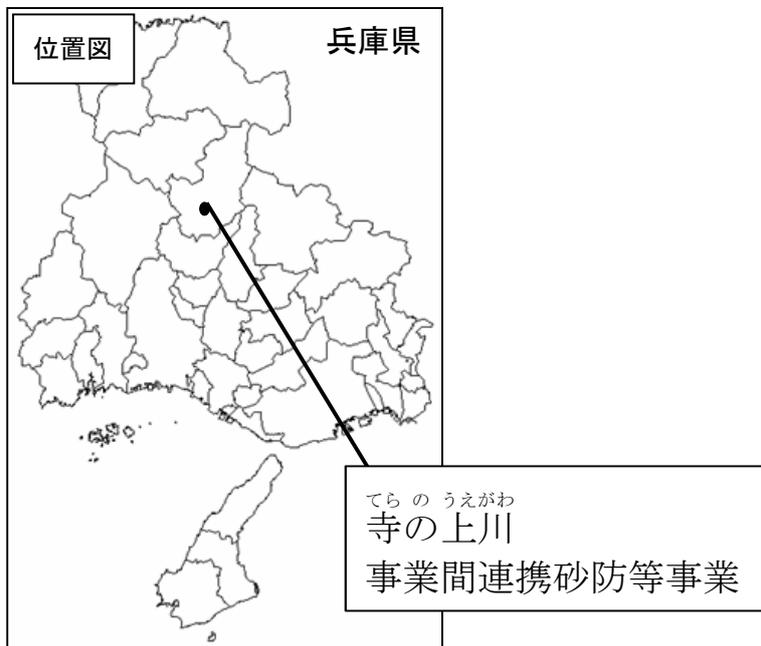
位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	寺の上川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	兵庫県																					
実施箇所	兵庫県朝来市生野町口銀谷																										
主な事業 の諸元	流域面積:約0.06km <sup>2</sup> 主要施設:砂防堰堤																										
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度																							
総事業費 (億円)	2.5																										
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、倒木・崩壊等、流域の荒廃が著しいため、人家や国道429号、市道、公民館(避難所)、朝来市役所生野庁舎、生野町第二浄水工場等が土石流等による甚大な被害のおそれがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・口銀谷地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による国道429号等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																										
便益の主な 根拠	想定氾濫面積:9.6ha 世帯数:167世帯 重要公共施設4(国道429号、市道、朝来市役所生野庁舎、生野町第二浄水工場) 地域防災計画に位置づけられた避難所:公民館																										
事業全体の 投資効率性	基準年度	平成30年度																									
	B:総便益 (億円)	145	C:総費用(億円)	2.3	B/C	64.6	B-C	143	EIRR (%)	293																	
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>58.8</td> <td>~</td> <td>71.9</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>64.9</td> <td>~</td> <td>64.6</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>61.8</td> <td>~</td> <td>67.4</td> </tr> </tbody> </table>													全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	58.8	~	71.9	残工期(+10%~-10%)	64.9	~	64.6	資産(-10%~+10%)	61.8	~	67.4
		全体事業(B/C)																									
残事業費(+10%~-10%)	58.8	~	71.9																								
残工期(+10%~-10%)	64.9	~	64.6																								
資産(-10%~+10%)	61.8	~	67.4																								
事業の 効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が167戸から0戸に軽減する。</li> <li>②計画規模の豪雨による土石流被害について、国道429号、市道、朝来市役所生野庁舎、生野町第二浄水工場への被害を軽減する。</li> </ol>																										
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																										

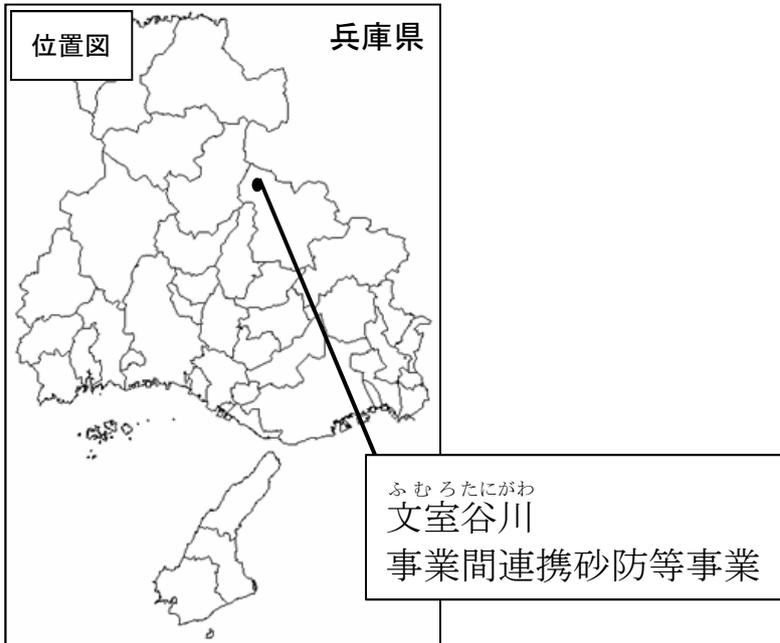
# 寺の上川事業間連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	文室谷川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	兵庫県																
実施箇所	兵庫県丹波市青垣町文室																					
主な事業 の諸元	流域面積:約0.06km <sup>2</sup> 主要施設:砂防堰堤、溪流保全工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度																		
総事業費 (億円)	1.5																					
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、倒木・崩壊等、流域の荒廃が著しいため、人家や県道檜倉山東線、神楽小学校(地域防災計画に位置づけられた避難所)、児童養護施設、市道等が土石流等による甚大な被害のおそれがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文室地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による県道檜倉山東線等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主な根拠	想定氾濫面積:7.8ha 世帯数:11世帯 重要公共施設3(神楽小学校(地域防災計画に位置づけられた避難所)、県道檜倉山東線、市道)																					
事業全体の投資効率性	基準年度		平成30年度																			
	B:総便益(億円)	25	C:総費用(億円)	1.5	B/C	16.8	B-C	24	EIRR(%)	77												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>15.3</td> <td>~ 18.7</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>17.0</td> <td>~ 16.8</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>15.6</td> <td>~ 18.0</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	15.3	~ 18.7	残工期(+10%~-10%)	17.0	~ 16.8	資産(-10%~+10%)	15.6	~ 18.0
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	15.3	~ 18.7																				
残工期(+10%~-10%)	17.0	~ 16.8																				
資産(-10%~+10%)	15.6	~ 18.0																				
事業の効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が11戸から0戸に軽減する。</li> <li>②計画規模の豪雨による土石流被害について、神楽小学校、県道檜倉山東線、町道への被害を軽減する。</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

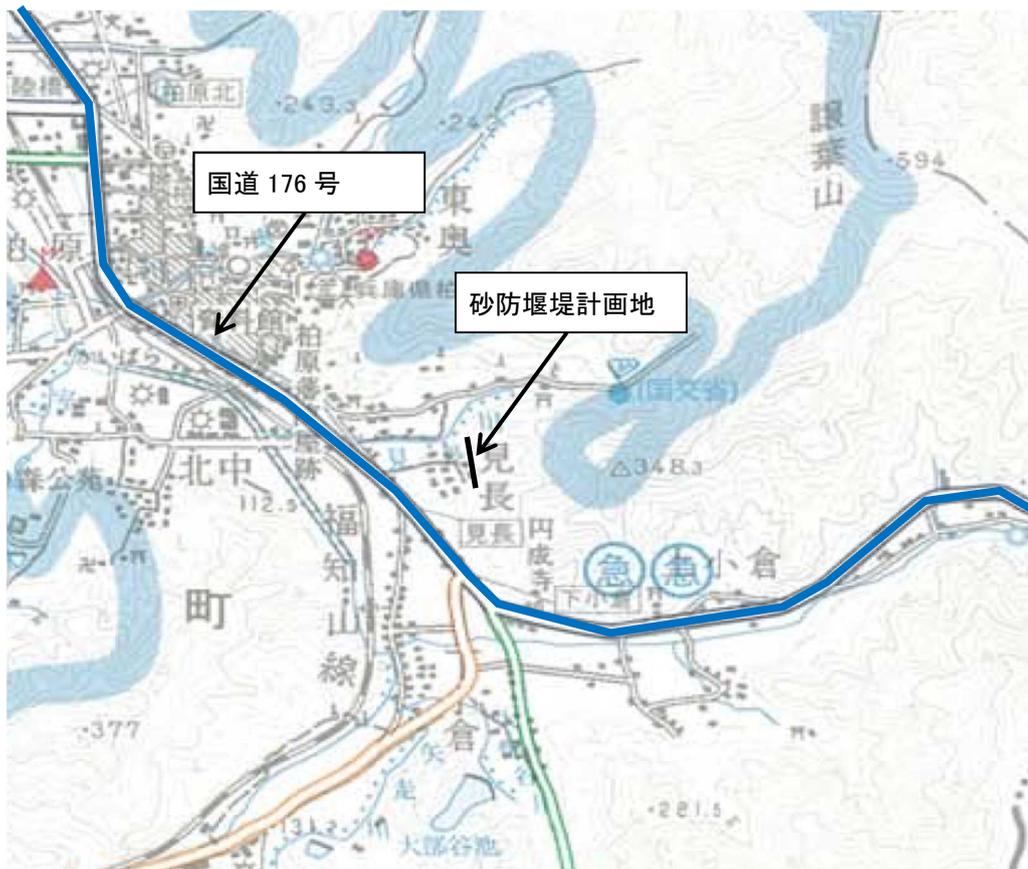
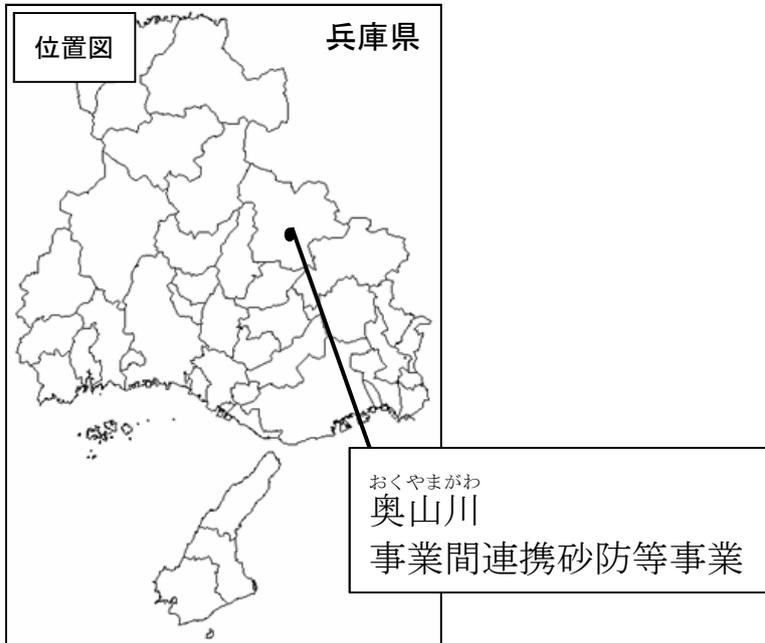
# 文室谷川事業間連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	奥山川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	兵庫県																
実施箇所	兵庫県丹波市柏原町見長																					
主な事業 の諸元	流域面積:約0.12km <sup>2</sup> 主要施設:砂防堰堤、溪流保全工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																		
総事業費 (億円)	3																					
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、倒木・崩壊等、流域の荒廃が著しいため、人家や国道176号(緊急輸送道路)、市道、公民館等が土石流等による甚大な被害のおそれがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見長地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による国道176号(緊急輸送道路)等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	想定氾濫面積:9.7ha 世帯数:28世帯 重要公共施設2(国道176号(緊急輸送道路)、市道)																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	23	C:総費用(億円)	2.9	B/C	7.9	B-C	20	EIRR (%)	36												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>7.1</td> <td>~ 8.7</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>7.9</td> <td>~ 7.8</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>7.5</td> <td>~ 8.2</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	7.1	~ 8.7	残工期(+10%~-10%)	7.9	~ 7.8	資産(-10%~+10%)	7.5	~ 8.2
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	7.1	~ 8.7																				
残工期(+10%~-10%)	7.9	~ 7.8																				
資産(-10%~+10%)	7.5	~ 8.2																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>①計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が28戸から0戸に軽減する。</p> <p>②計画規模の豪雨による土石流被害について、国道176号、市道への被害を軽減する。</p>																					
その他	<p>&lt;第三者委員会の意見・反映内容&gt;</p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																					

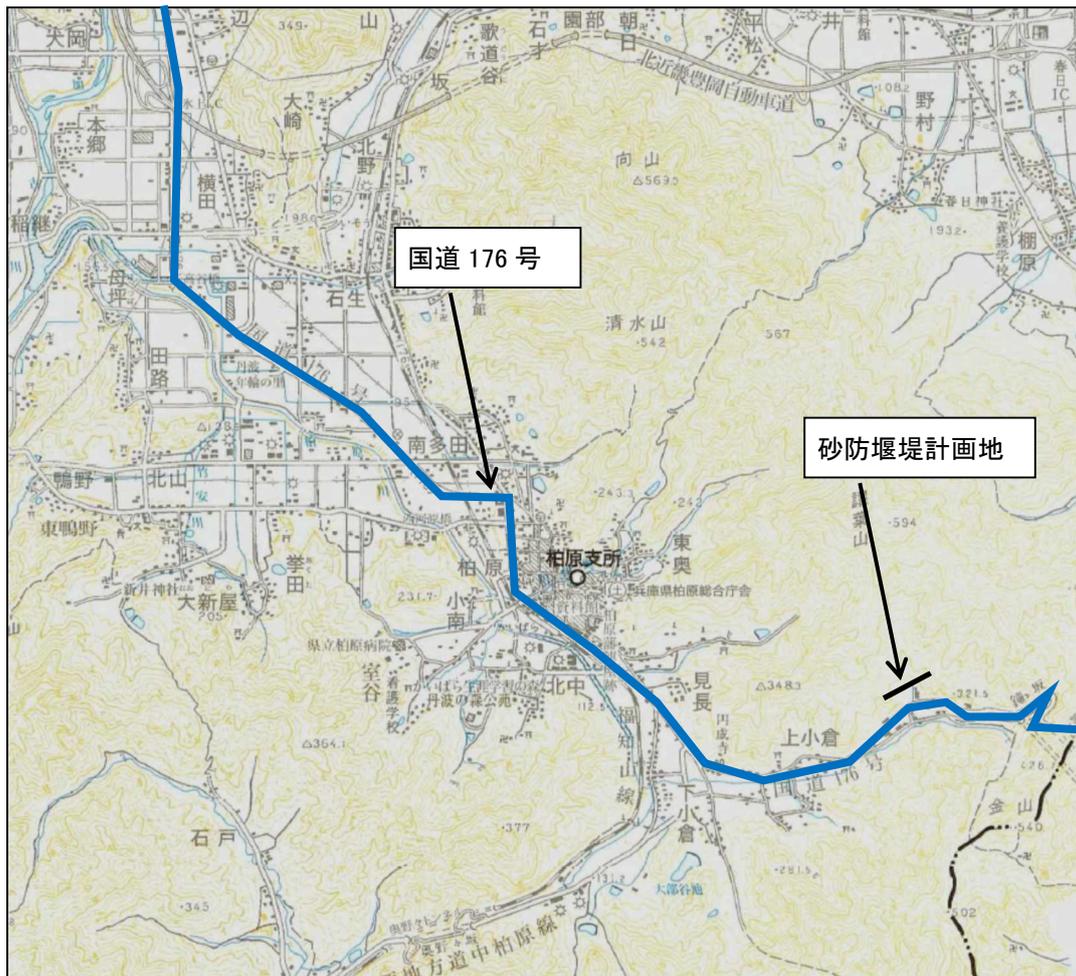
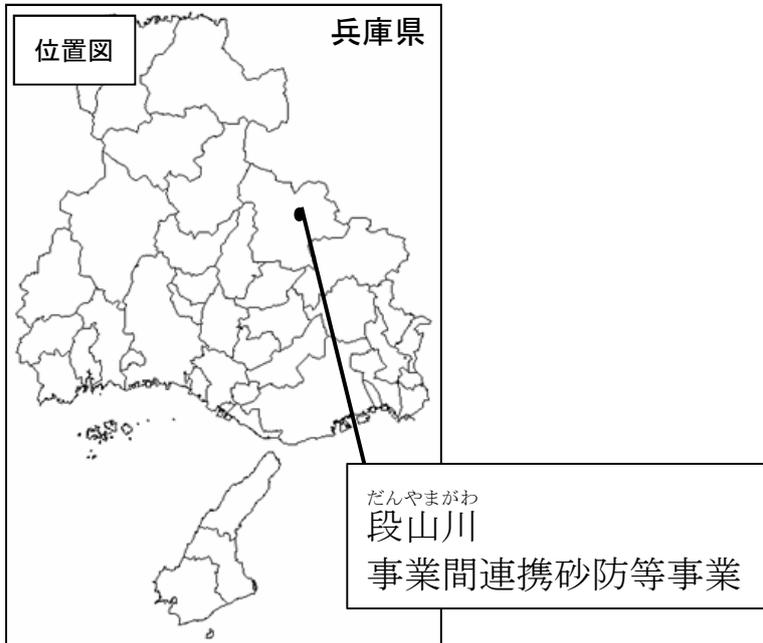
# 奥山川事業間連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	段山川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	兵庫県																	
実施箇所	兵庫県丹波市柏原町上小倉																						
主な事業 の諸元	流域面積:約0.41km <sup>2</sup> 主要施設:砂防堰堤																						
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																			
総事業費 (億円)	1.6																						
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、倒木・崩壊等、流域の荒廃が著しいため、人家や国道176号(緊急輸送道路)、市道等が土石流等による甚大な被害のおそれがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上小倉地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による国道176号(緊急輸送道路)等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																						
便益の主 な根拠	想定氾濫面積:5.3ha 世帯数:5世帯 重要公共施設2(国道176号(緊急輸送道路)、市道)																						
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																					
	B:総便益 (億円)	5.3	C:総費用(億円)		1.7	B/C	3.1	B-C	3.6	EIRR (%)	14												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.8</td> <td>~ 3.4</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>3.1</td> <td>~ 3.1</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.9</td> <td>~ 3.2</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.8	~ 3.4	残工期(+10%~-10%)	3.1	~ 3.1	資産(-10%~+10%)	2.9	~ 3.2
	全体事業(B/C)																						
残事業費(+10%~-10%)	2.8	~ 3.4																					
残工期(+10%~-10%)	3.1	~ 3.1																					
資産(-10%~+10%)	2.9	~ 3.2																					
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が5戸から0戸に軽減する。</li> <li>②計画規模の豪雨による土石流被害について、国道176号、市道への被害を軽減する。</li> </ol>																						
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																						

# 段山川事業間連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	道久谷川事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	兵庫県												
実施箇所	兵庫県篠山市犬飼																
主な事業 の諸元	流域面積:約0.04km <sup>2</sup> 主要施設:砂防堰堤																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度													
総事業費 (億円)	1.0																
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、倒木・崩壊等、流域の荒廃が著しいため、人家や国道176号(緊急輸送道路)、市道、JR福知山線等が土石流等による甚大な被害のおそれがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・犬飼地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による国道176号(緊急輸送道路)等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																
便益の主 な根拠	想定氾濫面積:5.1ha 世帯数:10世帯 重要公共施設3(国道176号(緊急輸送道路)、市道、JR福知山線)																
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度															
	B:総便益 (億円)	9.2	C:総費用(億円)	1.3	B/C 7.0 B-C 7.9 EIRR (%) 32												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>6.3</td> <td>~ 7.7</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>7.0</td> <td>~ 7.0</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>6.7</td> <td>~ 7.2</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	6.3	~ 7.7	残工期(+10%~-10%)	7.0	~ 7.0	資産(-10%~+10%)	6.7	~ 7.2
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	6.3	~ 7.7															
残工期(+10%~-10%)	7.0	~ 7.0															
資産(-10%~+10%)	6.7	~ 7.2															
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>①計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が10戸から0戸に軽減する。</p> <p>②計画規模の豪雨による土石流被害について、国道176号、市道、JR福知山線への被害を軽減する。</p>																
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																

# 道久谷川事業間連携砂防等事業 位置図



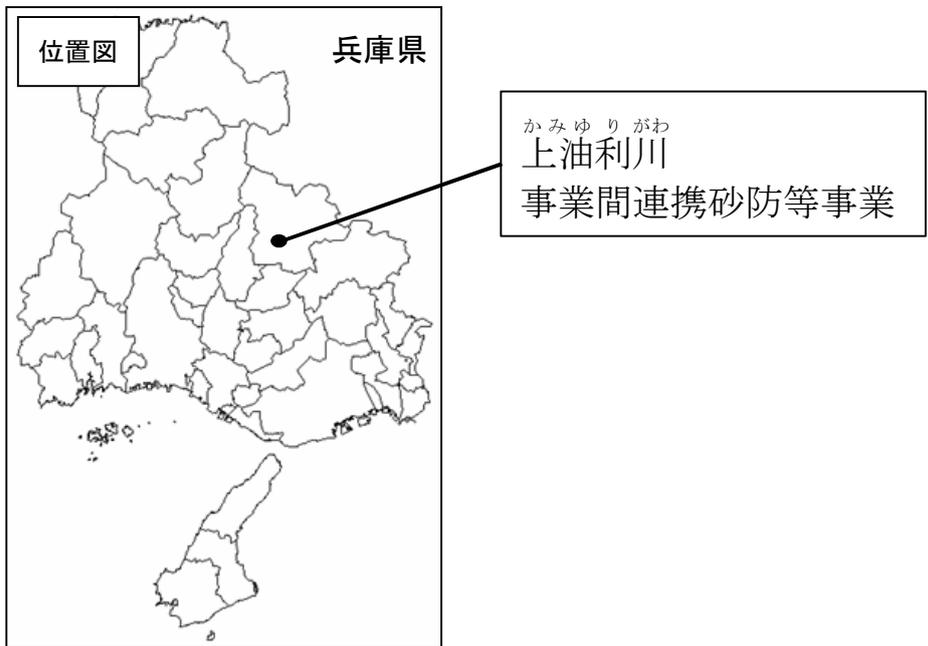
みちくたにがわ  
道久谷川  
事業間連携砂防等事業



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	上油利川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	兵庫県																	
実施箇所	兵庫県丹波市水上町油利																						
主な事業 の諸元	流域面積:約0.12km <sup>2</sup> 主要施設:砂防堰堤																						
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度																			
総事業費 (億円)	1.8																						
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、倒木・崩壊等、流域の荒廃が著しいため、人家や県道福知山山南線、市道、公民館等が土石流等による甚大な被害のおそれがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・油利地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による県道福知山山南線等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																						
便益の主 な根拠	想定氾濫面積:5.1ha 世帯数:18世帯 重要公共施設2(県道福知山山南線、市道)																						
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																					
	B:総便益 (億円)	17	C:総費用(億円)		2.0	B/C	8.4	B-C	15	EIRR (%)	38												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>7.6</td> <td>~ 9.3</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>8.5</td> <td>~ 8.4</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>8.0</td> <td>~ 8.8</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	7.6	~ 9.3	残工期(+10%~-10%)	8.5	~ 8.4	資産(-10%~+10%)	8.0	~ 8.8
	全体事業(B/C)																						
残事業費(+10%~-10%)	7.6	~ 9.3																					
残工期(+10%~-10%)	8.5	~ 8.4																					
資産(-10%~+10%)	8.0	~ 8.8																					
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>①計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が18戸から0戸に軽減する。</p> <p>②計画規模の豪雨による土石流被害について、県道福知山山南線、市道への被害を軽減する。</p>																						
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																						

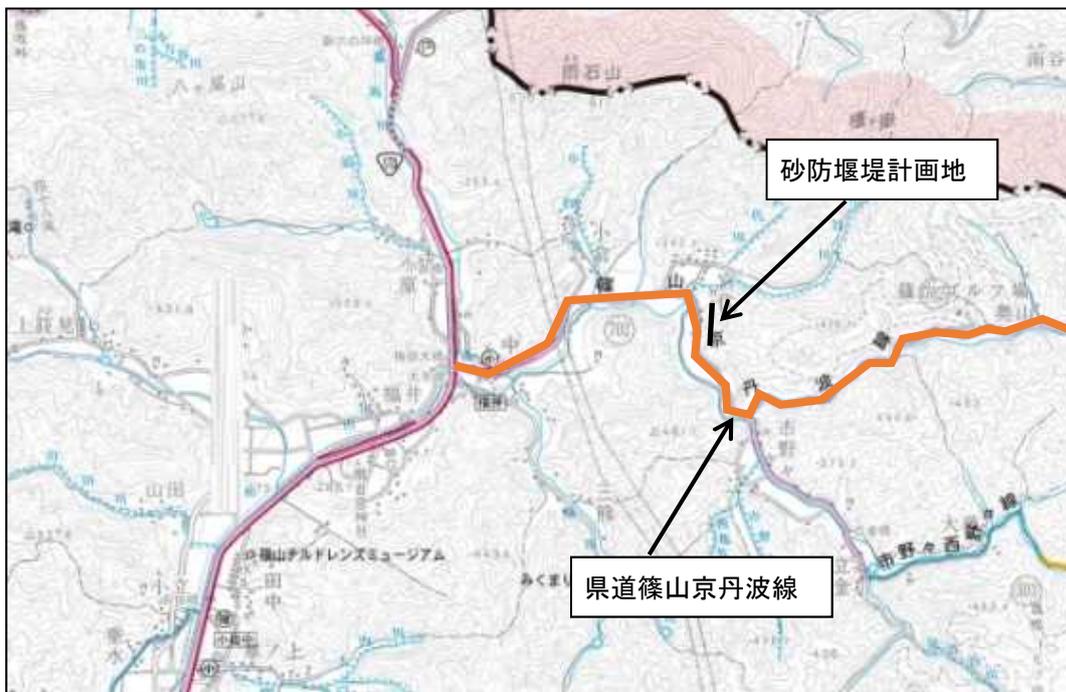
# 上油利川事業間連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	飛吉谷川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	兵庫県																	
実施箇所	兵庫県篠山市宮代																						
主な事業 の諸元	流域面積:約0.06km <sup>2</sup> 主要施設:砂防堰堤																						
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度																			
総事業費 (億円)	1.1																						
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、倒木・崩壊等、流域の荒廃が著しいため、人家や県道篠山京丹波線等が土石流等による甚大な被害のおそれがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮代地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による県道篠山京丹波線等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																						
便益の主 な根拠	想定氾濫面積:1.8ha 世帯数:3世帯 重要公共施設1(県道篠山京丹波線)																						
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																					
	B:総便益 (億円)	2.9	C:総費用(億円)		1.1	B/C	2.6	B-C	1.8	EIRR (%)	12												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.4</td> <td>~ 2.9</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.7</td> <td>~ 2.6</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.5</td> <td>~ 2.8</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.4	~ 2.9	残工期(+10%~-10%)	2.7	~ 2.6	資産(-10%~+10%)	2.5	~ 2.8
	全体事業(B/C)																						
残事業費(+10%~-10%)	2.4	~ 2.9																					
残工期(+10%~-10%)	2.7	~ 2.6																					
資産(-10%~+10%)	2.5	~ 2.8																					
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が3戸から0戸に軽減する。</li> <li>②計画規模の豪雨による土石流被害について、県道篠山京丹波線への被害を軽減する。</li> </ol>																						
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																						

# 飛吉谷川事業間連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	三宅川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	兵庫県																
実施箇所	兵庫県南あわじ市山添																					
主な事業 の諸元	流域面積:約0.07km <sup>2</sup> 主要施設:砂防堰堤																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度																		
総事業費 (億円)	1.2																					
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、倒木・崩壊等、流域の荒廃が著しいため、人家や神戸淡路鳴門自動車道(緊急輸送路)、県道洲本松帆線、市道、山添消防団、病院、、集会所等が土石流等による甚大な被害のおそれがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山添地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による神戸淡路鳴門自動車道(緊急輸送路)、県道洲本松帆線等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主な 根拠	想定氾濫面積:29.3ha 世帯数:156世帯 重要公共施設3(神戸淡路鳴門自動車道(緊急輸送道路)、県道洲本松帆線、市道)																					
事業全体の 投資効率 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	131	C:総費用(億円)	1.4	B/C	96.3	B-C	130	EIRR (%)	451												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>87.3</td> <td>~ 96.3</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>96.4</td> <td>~ 96.3</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>92.4</td> <td>~ 100.2</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	87.3	~ 96.3	残工期(+10%~-10%)	96.4	~ 96.3	資産(-10%~+10%)	92.4	~ 100.2
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	87.3	~ 96.3																				
残工期(+10%~-10%)	96.4	~ 96.3																				
資産(-10%~+10%)	92.4	~ 100.2																				
事業の 効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が156戸から0戸に軽減する。</li> <li>②計画規模の豪雨による土石流被害について、神戸淡路鳴門自動車道、県道洲本松帆線、市道への被害を軽減する。</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

# 三宅川事業間連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	外野地区事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	兵庫県												
実施箇所	兵庫県養父市外野																
主な事業 の諸元	がけ高74m、勾配44° 主要施設:重力式擁壁工																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度													
総事業費 (億円)	1.0																
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外野地区の斜面は、がけ高74m、勾配44° の急傾斜地であり、荒廃が著しく、斜面崩壊の危険性の高い状態である</li> <li>・斜面崩壊により人家23戸および公民館(地域防災計画に位置づけられた避難所)、県道養父小代線、市道等への被害が懸念される</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外野地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂崩落等による県道養父小代線等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																
便益の主 な根拠	世帯数:23世帯 重要公共施設2(県道養父小代線、市道) 地域防災計画に位置づけられた避難所:公民館																
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度															
	B:総便益 (億円)	11	C:総費用(億円)	5.2	B/C 2.1 B-C 5.8 EIRR (%) 9.6												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>1.9</td> <td>~ 2.4</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.1</td> <td>~ 2.1</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.0</td> <td>~ 2.3</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	1.9	~ 2.4	残工期(+10%~-10%)	2.1	~ 2.1	資産(-10%~+10%)	2.0	~ 2.3
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	1.9	~ 2.4															
残工期(+10%~-10%)	2.1	~ 2.1															
資産(-10%~+10%)	2.0	~ 2.3															
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 計画規模の豪雨による斜面崩壊被害について、被害が想定される人家が23戸から0戸に軽減する</li> <li>② 計画規模の豪雨による斜面崩壊被害について、県道養父小代線、市道への被害を軽減する</li> </ol>																
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																

# 外野地区事業間連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	西本村地区事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	兵庫県																
実施箇所	兵庫県南あわじ市津井																					
主な事業 の諸元	がけ高47m、勾配35° 主要施設:重力式擁壁工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																		
総事業費 (億円)	0.9																					
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>西本村地区の斜面は、がけ高47m、勾配35°の急傾斜地であり、荒廃が著しく、斜面崩壊の危険性の高い状態である</li> <li>斜面崩壊により人家17戸および県道阿万福良湊線、市道等への被害が懸念される</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>西本村地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂崩落等による県道阿万福良湊線、市道等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主な 根拠	世帯数:17世帯 重要公共施設2(県道阿万福良湊線、市道)																					
事業全体の 投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	7.4	C:総費用(億円)	1.6	B/C	4.5	B-C	5.7	EIRR (%)	21												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>4.1</td> <td>~ 5.0</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>4.5</td> <td>~ 4.5</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>4.3</td> <td>~ 4.7</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	4.1	~ 5.0	残工期(+10%~-10%)	4.5	~ 4.5	資産(-10%~+10%)	4.3	~ 4.7
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	4.1	~ 5.0																				
残工期(+10%~-10%)	4.5	~ 4.5																				
資産(-10%~+10%)	4.3	~ 4.7																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>計画規模の豪雨による斜面崩壊被害について、被害が想定される人家が17戸から0戸に軽減する</li> <li>計画規模の豪雨による斜面崩壊被害について、県道阿万福良湊線、市道への被害を軽減する</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

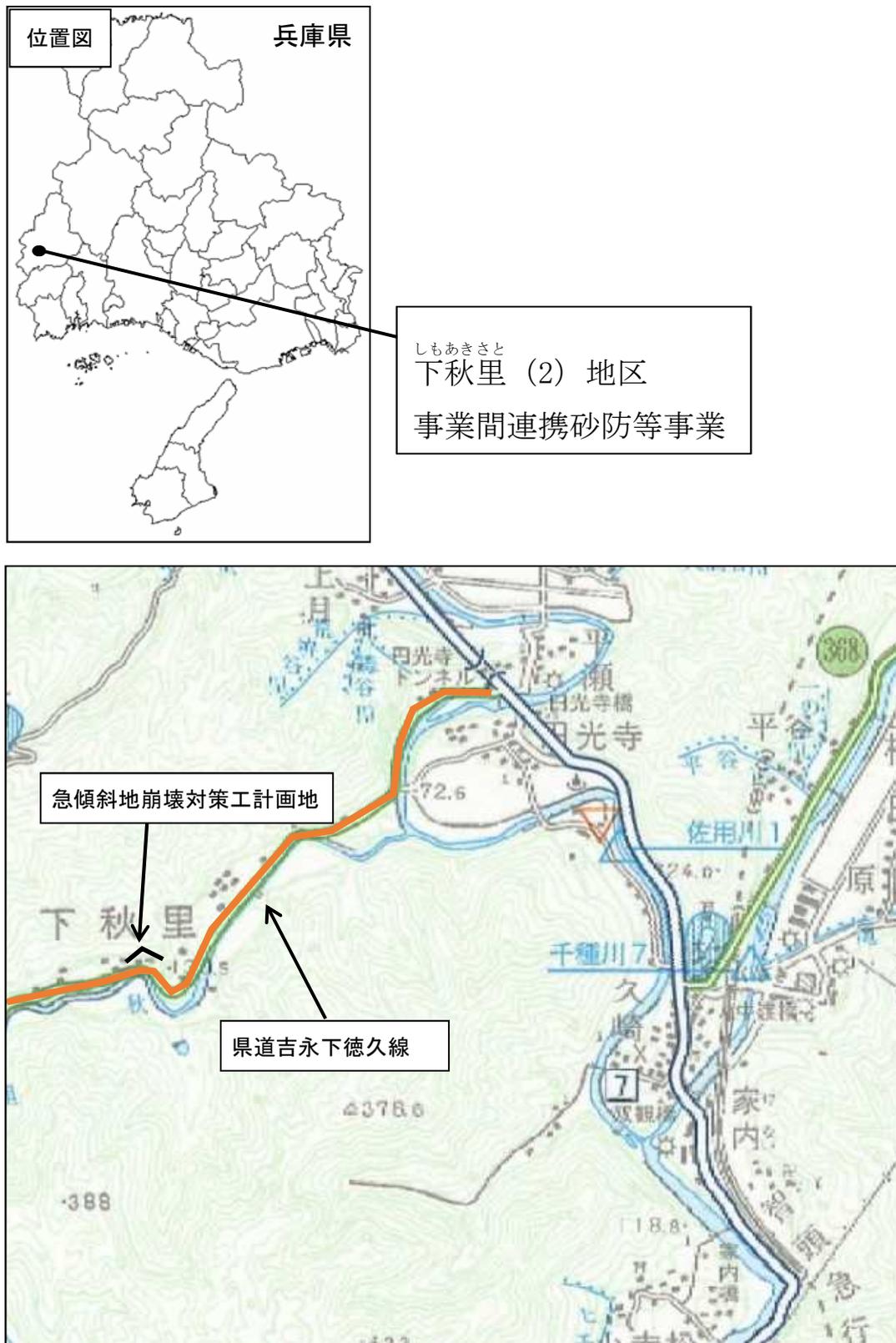
# 西本村地区事業間連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	下秋里(2)地区事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	兵庫県																
実施箇所	兵庫県佐用郡佐用町下秋里																					
主な事業 の諸元	がけ高39m、勾配38° 主要施設:重力式擁壁工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																		
総事業費 (億円)	2.1																					
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下秋里(2)地区の斜面は、がけ高39m、勾配38°の急傾斜地であり、荒廃が著しく、斜面崩壊の危険性の高い状態である</li> <li>・斜面崩壊により人家17戸および県道吉永下徳久線、市道等への被害が懸念される</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下秋里(2)地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂崩落等による県道吉永下徳久線、市道等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	世帯数:17世帯 重要公共施設2(県道吉永下徳久線、市道)																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	6.9	C:総費用(億円)	2.0	B/C	3.4	B-C	4.8	EIRR (%)	16												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>3.1</td> <td>~ 4.0</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>3.4</td> <td>~ 3.4</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>3.2</td> <td>~ 3.6</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	3.1	~ 4.0	残工期(+10%~-10%)	3.4	~ 3.4	資産(-10%~+10%)	3.2	~ 3.6
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	3.1	~ 4.0																				
残工期(+10%~-10%)	3.4	~ 3.4																				
資産(-10%~+10%)	3.2	~ 3.6																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 計画規模の豪雨による斜面崩壊被害について、被害が想定される人家が17戸から0戸に軽減する</li> <li>② 計画規模の豪雨による斜面崩壊被害について、県道吉永下徳久線、市道への被害を軽減する</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

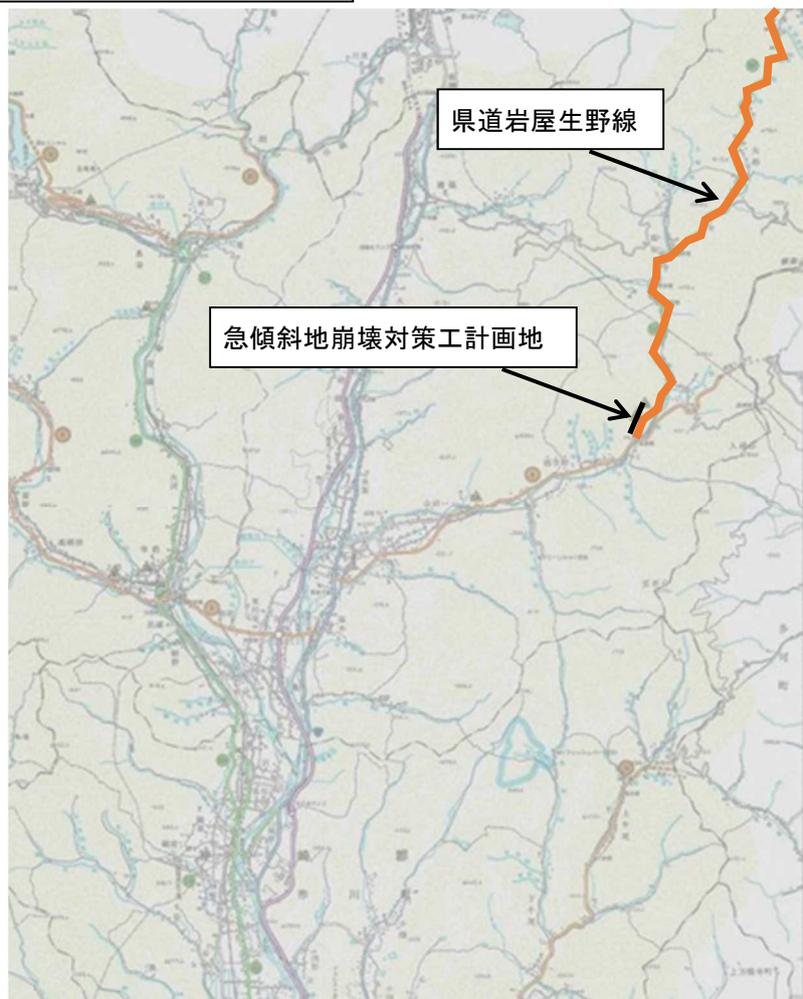
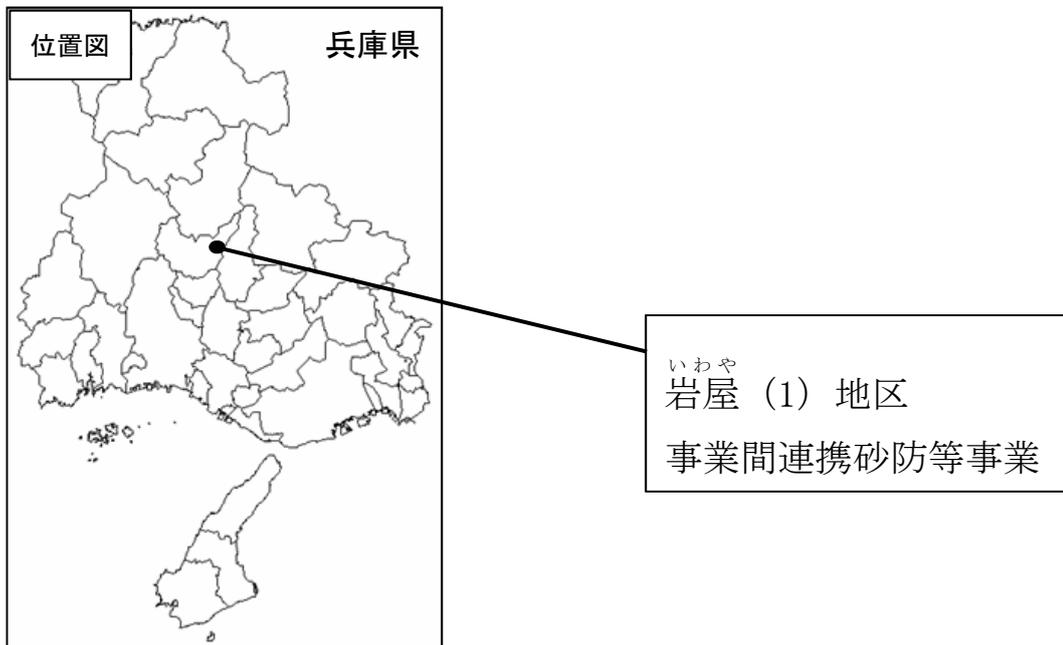
## 下秋里（2）地区事業間連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	岩屋(1)地区事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	兵庫県																	
実施箇所	兵庫県神崎郡神河町岩屋																						
主な事業 の諸元	がけ高90m、勾配37° 主要施設:崩壊土砂防護柵工																						
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																			
総事業費 (億円)	1.0																						
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩屋(1)地区の斜面は、がけ高90m、勾配37°の急傾斜地であり、荒廃が著しく、斜面崩壊の危険性の高い状態である</li> <li>・斜面崩壊により人家11戸および集会所(地域防災計画に位置づけられた避難所)、県道岩屋生野線、市道等への被害が懸念される</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩屋(1)地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂崩落等による県道岩屋生野線、市道等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																						
便益の主 な根拠	世帯数:11世帯 重要公共施設2(県道岩屋生野線、市道) 地域防災計画に位置づけられた避難所:集会所																						
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	6.7	C:総費用(億円)		1.6	B/C	4.3	B-C	5.2	EIRR (%)	20												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>3.9</td> <td>~ 4.7</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>4.3</td> <td>~ 4.3</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>4.0</td> <td>~ 4.6</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	3.9	~ 4.7	残工期(+10%~-10%)	4.3	~ 4.3	資産(-10%~+10%)	4.0	~ 4.6
	全体事業(B/C)																						
残事業費(+10%~-10%)	3.9	~ 4.7																					
残工期(+10%~-10%)	4.3	~ 4.3																					
資産(-10%~+10%)	4.0	~ 4.6																					
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 計画規模の豪雨による斜面崩壊被害について、被害が想定される人家が11戸から0戸に軽減する</li> <li>② 計画規模の豪雨による斜面崩壊被害について、県道岩屋生野線、市道への被害を軽減する</li> </ol>																						
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																						

# 岩屋（1）地区事業間連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	丹東(2)地区事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	兵庫県																
実施箇所	兵庫県赤穂郡上郡町山野里																					
主な事業 の諸元	がけ高51m、勾配35° 主要施設:重力式擁壁工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																		
総事業費 (億円)	1.8																					
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・丹東(2)地区の斜面は、がけ高51m、勾配35°の急傾斜地であり、荒廃が著しく、斜面崩壊の危険性の高い状態である</li> <li>・斜面崩壊により人家30戸および鉄JR山陽本線、県道赤穂佐伯線等への被害が懸念される</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・丹東(2)地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂崩落等によるJR山陽本線、県道赤穂佐伯線等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	世帯数:30世帯 重要公共施設2(JR山陽本線、県道赤穂佐伯線)																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	16	C:総費用(億円)	1.8	B/C	9.1	B-C	15	EIRR (%)	42												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>8.3</td> <td>~ 10</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>9.1</td> <td>~ 9.1</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>8.6</td> <td>~ 9.7</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	8.3	~ 10	残工期(+10%~-10%)	9.1	~ 9.1	資産(-10%~+10%)	8.6	~ 9.7
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	8.3	~ 10																				
残工期(+10%~-10%)	9.1	~ 9.1																				
資産(-10%~+10%)	8.6	~ 9.7																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 計画規模の豪雨による斜面崩壊被害について、被害が想定される人家が30戸から0戸に軽減する</li> <li>② 計画規模の豪雨による斜面崩壊被害について、JR山陽本線、県道赤穂佐伯線への被害を軽減する</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

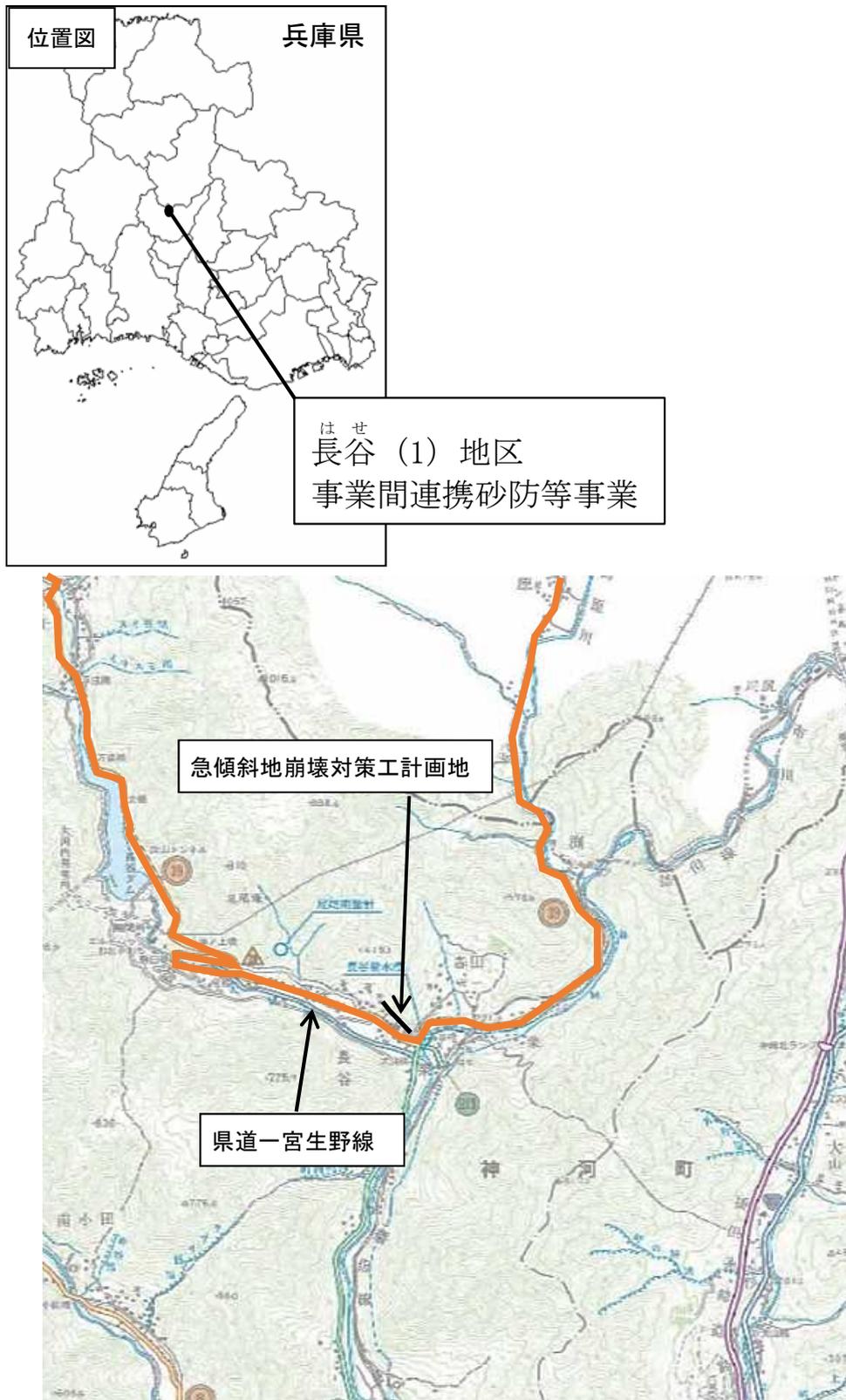
## 丹東（2）地区事業間連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	長谷(1)地区事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	兵庫県					
実施箇所	兵庫県神崎郡神河町長谷									
主な事業 の諸元	がけ高66m、勾配36° 主要施設:崩壊土砂防護柵工、落石予防工									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度						
総事業費 (億円)	2.3									
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長谷(1)地区の斜面は、がけ高66m、勾配36°の急傾斜地であり、荒廃が著しく、斜面崩壊の危険性の高い状態である</li> <li>・斜面崩壊により人家15戸および集会所(地域防災計画に位置づけられた避難所)、長谷小学校、県道一宮生野線、市道等への被害が懸念される</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長谷(1)地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂崩落等による県道一宮生野線等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>									
便益の主な根拠	世帯数:15世帯 重要公共施設3(長谷小学校、県道一宮生野線、市道) 地域防災計画に位置づけられた避難所:集会所									
事業全体の投資効率性	基準年度	平成30年度								
	B:総便益(億円)	33	C:総費用(億円)	5.8	B/C	5.7	B-C	28	EIRR(%)	26
感度分析	全体事業(B/C)									
	残事業費(+10%~-10%)	5.2	~	6.4						
	残工期(+10%~-10%)	5.8	~	5.7						
	資産(-10%~+10%)	5.2	~	6.3						
事業の効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による斜面崩壊被害について、被害が想定される人家が15戸から0戸に軽減する</p> <p>② 計画規模の豪雨による斜面崩壊被害について、県道一宮生野線、市道への被害を軽減する</p>									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた									

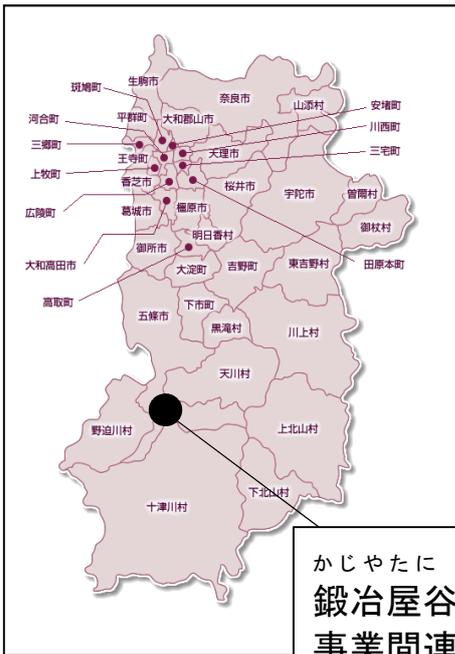
# 長谷（1）地区事業間連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	鍛冶屋谷事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	奈良県																				
実施箇所	奈良県五條市大塔町辻堂地内																									
主な事業 の諸元	補助砂防区域面積:約0.1km <sup>2</sup> 主要施設:砂防堰堤、床固工、溪流保全工、山腹工																									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成38年度																						
総事業費 (億円)	16																									
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、平成23年9月の台風12号により山腹崩壊による土石流が発生し、人家や国道168号に甚大な被害が生じた。</li> <li>・溪流内には未だ不安定土砂が存在し、降雨による地形の壊変によって土砂が流出しており、引き続き保全対象に対する土砂及び流木対策が必要となっている。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・残存する不安定土砂によって、保全対象である辻堂地区及び国道168号への土石流及び流木の発生が懸念されることから、土石流・流木対策施設の整備を行い、集落及び道路への直接的な被害を防止・軽減を図る。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																									
便益の主 な根拠	世帯数:13世帯 重要公共施設:診療所、保育所等 主要交通機関:国道168号																									
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成30年度																							
	B:総便益 (億円)	39	C:総費用(億円)	35	B/C	1.1	B-C	3.6	EIRR (%)	4.39																
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>1.1</td> <td>~</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>1.1</td> <td>~</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>1.2</td> <td>~</td> <td>1.2</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	1.1	~	1.2	残工期(+10%~-10%)	1.1	~	1.2	資産(-10%~+10%)	1.2	~	1.2
		全体事業(B/C)																								
残事業費(+10%~-10%)	1.1	~	1.2																							
残工期(+10%~-10%)	1.1	~	1.2																							
資産(-10%~+10%)	1.2	~	1.2																							
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 集落への流出が懸念される不安定土砂を抑制し、人家、公益施設、国道168号を保全する。</p>																									
その他	<p>&lt;第三者委員会の意見・反映内容&gt;</p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																									

かじやたに  
**鍛冶屋谷事業間連携砂防等事業 位置図**



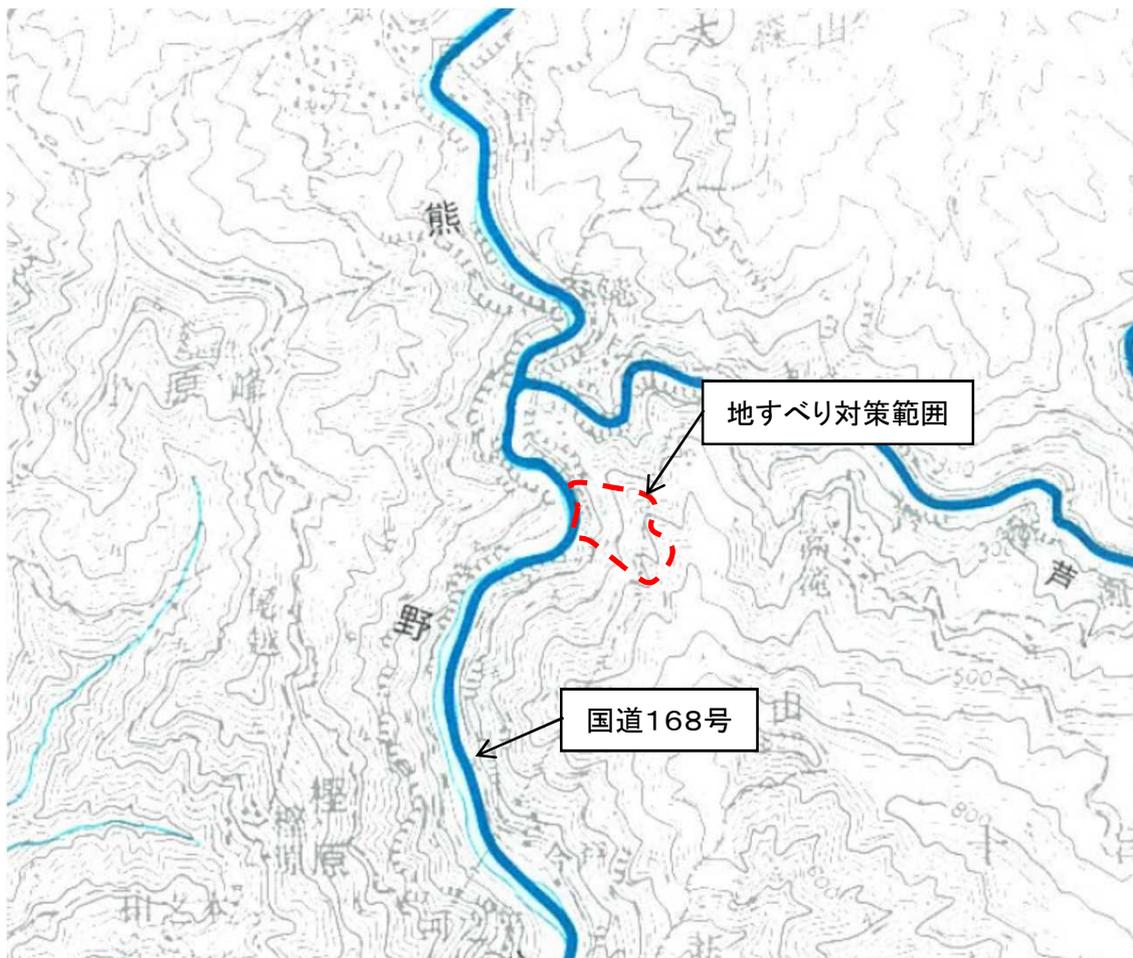
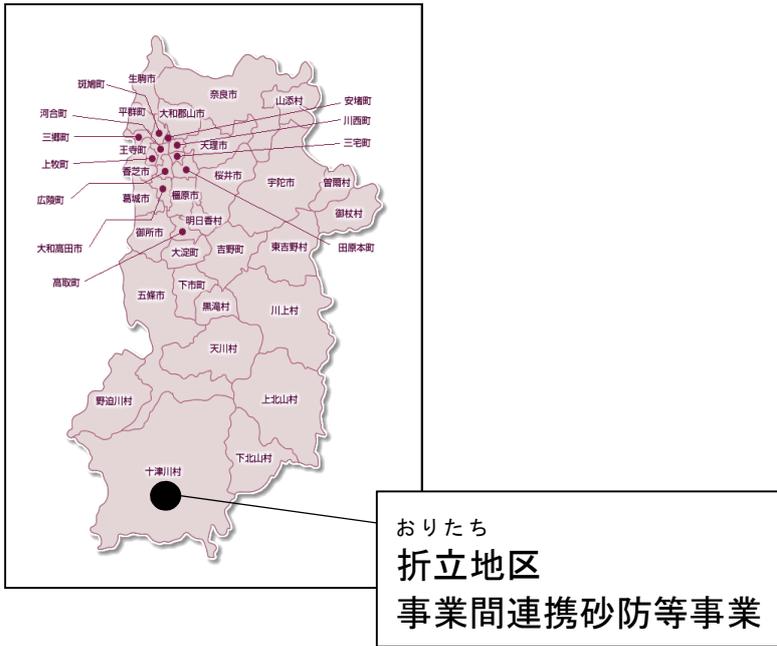
かじやたに  
**鍛冶屋谷  
 事業間連携砂防等事業**



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	折立地区事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	奈良県																
実施箇所	奈良県吉野郡十津川村折立地内																					
主な事業 の諸元	地すべり防止区域:6.42ha 主要施設:アンカー工、押さえ盛土工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																		
総事業費 (億円)	1.3																					
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本区域では、平成23年9月の台風12号によって地すべり防止区域内の斜面において、地すべり性の著しい滑動が発生した。</li> <li>・今後の豪雨に再度滑動が活発化して土塊の崩落によって河道閉塞が発生した場合、十津川村役場や十津川第一発電所施設、国道168号、国道425号など、多くの公共施設や人家への被害が想定され、地すべり防止対策が必要となった。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対策工事の概成によって河道閉塞の懸念を解消し、国道168号や防災拠点等の公共施設や湛水想定区域の被害を防止・軽減を図る。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	世帯数:人家50戸 重要公共施設:役場、道の駅、発電所 主要交通機関:国道168号、国道425号																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	68	C:総費用(億円)	46	B/C	1.5	B-C	22	EIRR (%)	5.77												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>1.5</td> <td>~ 1.5</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>1.5</td> <td>~ 1.5</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>1.4</td> <td>~ 1.6</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	1.5	~ 1.5	残工期(+10%~-10%)	1.5	~ 1.5	資産(-10%~+10%)	1.4	~ 1.6
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	1.5	~ 1.5																				
残工期(+10%~-10%)	1.5	~ 1.5																				
資産(-10%~+10%)	1.4	~ 1.6																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 地すべり土塊の崩落防止対策によって、河道閉塞の危険性を解消し、湛水区域の人家、公共施設等の被害を軽減する。</p>																					
その他	<p>&lt;第三者委員会の意見・反映内容&gt;</p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																					

おりたち  
折立地区 事業間連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	有田川事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	和歌山県																	
実施箇所	和歌山県伊都郡かつらぎ町																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度																		
総事業費 (億円)	1.9																					
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和28年の梅雨前線豪雨による深層崩壊に伴う天然ダムの形成・決壊により国道480号が大きな被害を受けた。また、流域は重荒廃地域に指定されている。</li> <li>・砂防事業を実施したが、河床からの不安定土砂の流出が継続しており、土砂流出を抑制するための対策が不十分となっている。</li> <li>・今後の降雨により、不安定土砂が流下し、河床上昇により人家や国道480号に土砂・洪水氾濫の被害が生じる恐れがある。</li> <li>・国道480号が寸断された場合、地域住民の生活や経済に与える影響は非常に大きく、道路事業と連携し、集中的に安全性を向上させる必要がある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <p>有田川流域において降雨が発生した際に、土石流及び流木の発生する可能性が高い溪流において集中的な対策施設の整備を行い、国道480号や行政関係機関、集落等への直接的な被害・防止を軽減するとともに、下流河川に流出する土砂量を低減し、土砂災害に対する安全度の向上を図る。</p> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	世帯数: 71世帯 重要公共施設: かつらぎ町役場花園支所 主要交通機関: 国道480号(第2次緊急輸送路)																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度 B:総便益 (億円)	平成27年度 7.7	C:総費用(億円)	6.1	B/C	1.3	B-C	1.6	EIRR (%)	5.65												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>1.2</td> <td>~ 1.4</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>1.3</td> <td>~ 1.3</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>1.1</td> <td>~ 1.4</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	1.2	~ 1.4	残工期(+10%~-10%)	1.3	~ 1.3	資産(-10%~+10%)	1.1	~ 1.4
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	1.2	~ 1.4																				
残工期(+10%~-10%)	1.3	~ 1.3																				
資産(-10%~+10%)	1.1	~ 1.4																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 計画規模の豪雨による土砂・洪水氾濫被害について、被害が想定される人家が71戸から0戸に軽減する。</li> <li>② 事業実施により国道480号の被害を軽減する。</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

# 有田川 事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	井の口谷川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	和歌山県																
実施箇所	和歌山県有田郡有田川町																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、溪流保全工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																		
総事業費 (億円)	1.6																					
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、昭和28年に土砂災害が発生しており、人家や国道480号が土石流・河道閉塞等により甚大な被害が生じた。</li> <li>・その後の豪雨により事業区域の溪流及び河川に土砂堆積がみられる。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <p>当地域において降雨が発生した際に、土石流及び流木の発生する可能性が高い溪流において集中的な対策施設の整備を行い、集落等への直接的な被害・防止を軽減するとともに、下流河川に流出土砂量を低減し、国道480号への被害を軽減する。</p> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	世帯数: 33世帯 主要交通機関: 国道480号(第2次緊急輸送路)																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成26年度																				
	B:総便益 (億円)	26	C:総費用(億円)	1.7	B/C	15.4	B-C	25	EIRR (%)	86.8												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>14.0</td> <td>~ 17.2</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>15.4</td> <td>~ 15.4</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>13.9</td> <td>~ 17.0</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	14.0	~ 17.2	残工期(+10%~-10%)	15.4	~ 15.4	資産(-10%~+10%)	13.9	~ 17.0
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	14.0	~ 17.2																				
残工期(+10%~-10%)	15.4	~ 15.4																				
資産(-10%~+10%)	13.9	~ 17.0																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が33戸から0戸に軽減する。</li> <li>② 事業実施により土砂・洪水氾濫区域内にある国道480号(第2次緊急輸送路)の被害が軽減される。</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

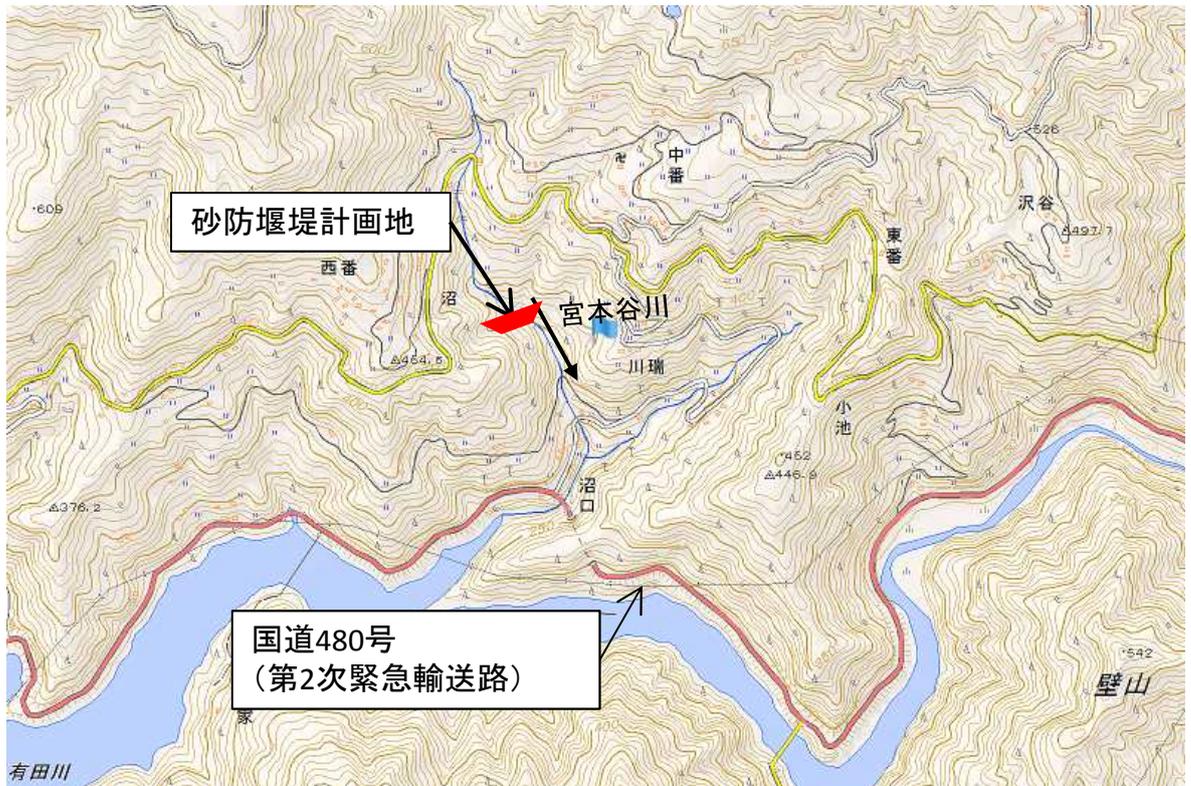
# 井の口谷川 事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	宮本谷川事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	和歌山県
実施箇所	和歌山県有田郡有田川町				
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、溪流保全工				
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度	
総事業費 (億円)	1.2				
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、昭和28年に土砂災害が発生しており、人家や国道480号が土石流・河道閉塞等により甚大な被害が生じた。</li> <li>・その後の豪雨により事業区域の溪流及び河川に土砂堆積がみられる。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <p>当地域において降雨が発生した際に、土石流及び流木の発生する可能性が高い溪流において集中的な対策施設の整備を行い、集落等への直接的な被害・防止を軽減するとともに、下流河川に流出土砂量を低減し、国道480号への被害を軽減する。</p> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>				
便益の主な 根拠	世帯数: 5世帯 重重公共施設: 国道480号 主要交通機関: 国道480号(第2次緊急輸送路)				
事業全体の 投資効率性	基準年度	平成30年度			
	B:総便益 (億円)	7.8	C:総費用(億円)	3.3	B/C 2.4 B-C 4.5 EIRR (%) 14.83
感度分析	全体事業(B/C)				
	残事業費(+10%~-10%)	2.2	~	2.6	
	残工期(+10%~-10%)	2.4	~	2.4	
	資産(-10%~+10%)	2.1	~	2.6	
事業の 効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が5戸から0戸に軽減する。</li> <li>② 事業実施により土砂・洪水氾濫区域内にある国道480号(第2次緊急輸送路)が保全される。</li> </ol>				
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた				

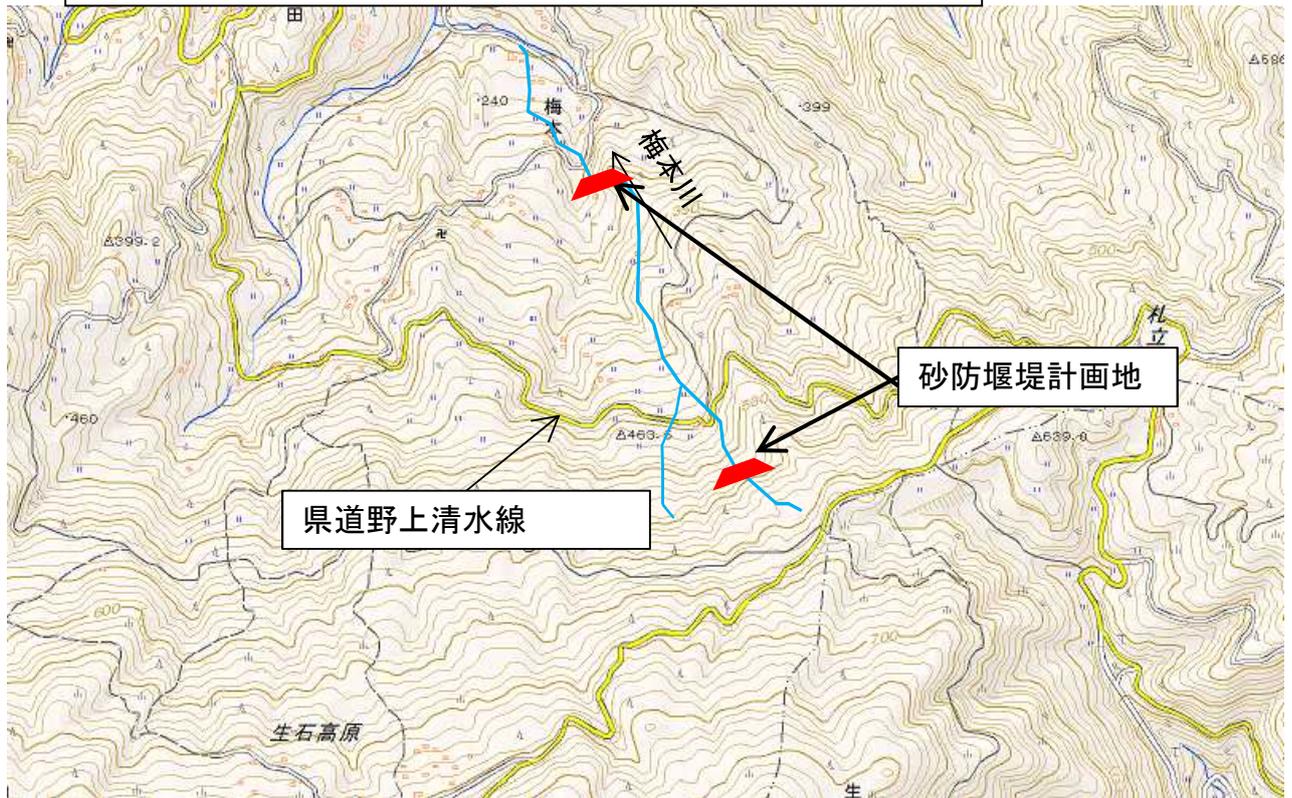
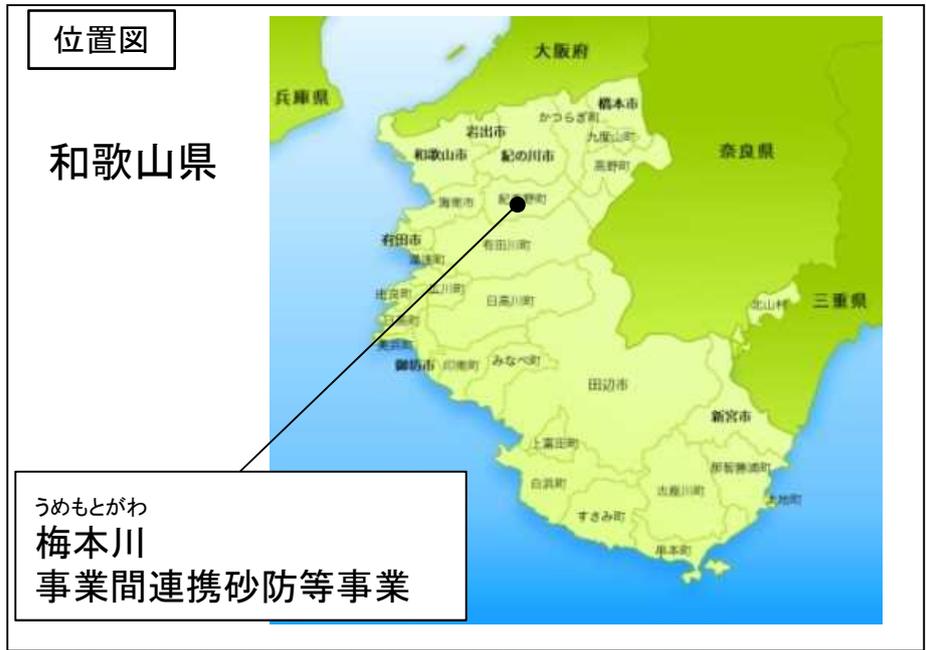
# 宮本谷川 事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	梅本川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	和歌山県																
実施箇所	和歌山県海草郡紀美野町																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、溪流保全工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																		
総事業費 (億円)	1.2																					
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、平成29年に土砂災害が発生しており、人家3戸や県道野上清水線、水道施設が土石流により甚大な被害が生じた。</li> <li>・その後の豪雨により事業区域の溪流及び河川に土砂堆積がみられる。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <p>梅本川流域において降雨が発生した際に、土石流及び流木の発生する可能性が高い溪流において集中的な対策施設の整備を行い、集落等への直接的な被害・防止を軽減するとともに、下流河川に流出する土砂量を低減し、県道野上清水線等への被害を軽減する。</p> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	世帯数: 18世帯 重要公共施設: 上水道施設 主要交通機関: 県道野上清水線、町道																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成29年度																				
	B:総便益 (億円)	31	C:総費用(億円)	10	B/C	3.0	B-C	21	EIRR (%)	15.69												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.7</td> <td>~ 3.3</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>3.0</td> <td>~ 3.0</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.9</td> <td>~ 3.1</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.7	~ 3.3	残工期(+10%~-10%)	3.0	~ 3.0	資産(-10%~+10%)	2.9	~ 3.1
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	2.7	~ 3.3																				
残工期(+10%~-10%)	3.0	~ 3.0																				
資産(-10%~+10%)	2.9	~ 3.1																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が18戸から0戸に軽減する。</li> <li>② 事業実施により土砂・洪水氾濫区域内にある避難所(梅本集会所)が保全され、送水機能停止による影響人口が580人から0人へ軽減される。</li> <li>③ 事業実施により県道野上清水線の被害を軽減する。</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

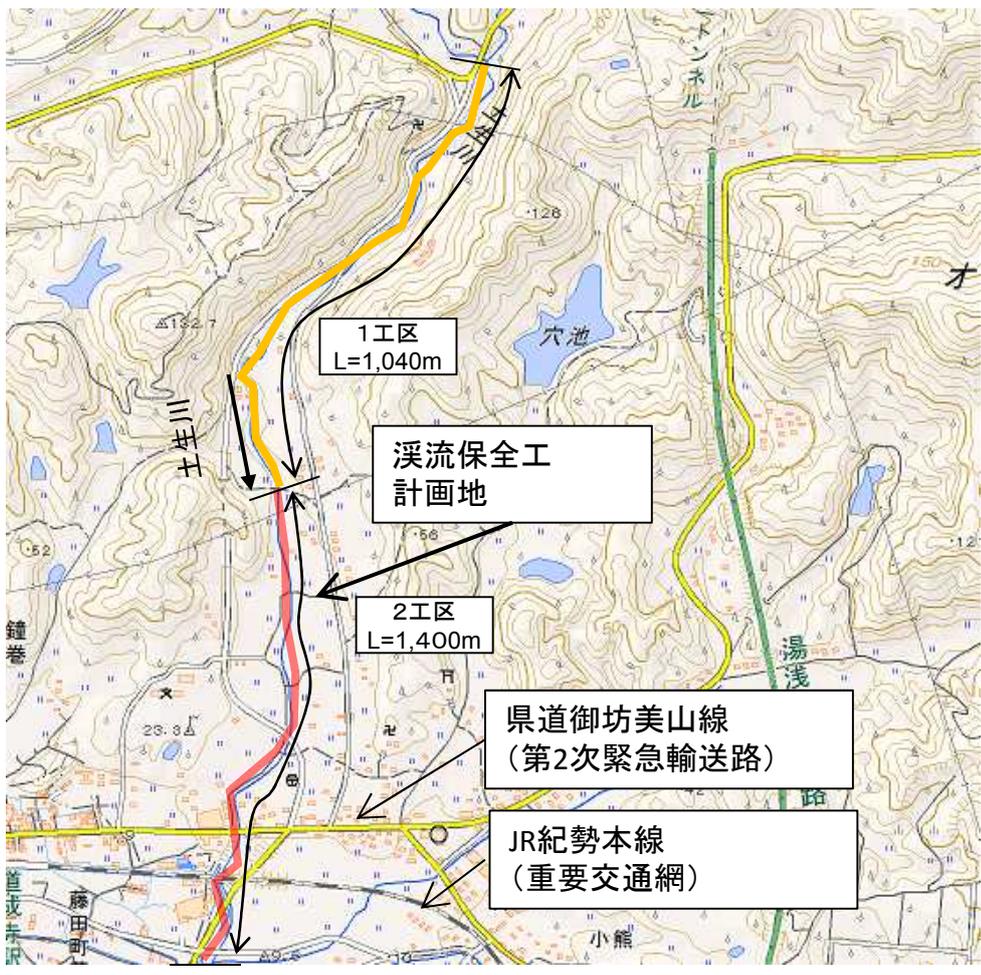
# 梅本川 事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	土生川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	和歌山県																
実施箇所	和歌山県日高郡日高川町																					
主な事業 の諸元	主要施設: 溪流保全工、遊砂工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																		
総事業費 (億円)	5.3																					
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、昭和29年以降、頻繁に土砂災害が発生しており、近年では平成23年(紀伊半島大水害)においても、土砂洪水氾濫により甚大な被害が生じた。</li> <li>・その後の豪雨により事業区域の溪流では、溪岸浸食・土砂堆積がみられる。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <p>土生川流域において降雨が発生した際に、土石流及び流木の発生する可能性が高い溪流において集中的な対策施設の整備を行い、集落等への直接的な被害・防止を軽減するとともに、下流河川に流出する土砂量を低減し、県道御坊美山線の被害を軽減する。</p> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	世帯数: 139世帯 重要公共施設: 日高川町役場、消防署(防災拠点) 主要交通機関: 県道御坊美山線(第2次緊急輸送路)																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成19年度																				
	B:総便益 (億円)	23	C:総費用(億円)	8.1	B/C	2.4	B-C	15	EIRR (%)	14.71												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.6</td> <td>~ 3.2</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.9</td> <td>~ 2.9</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.6</td> <td>~ 3.2</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.6	~ 3.2	残工期(+10%~-10%)	2.9	~ 2.9	資産(-10%~+10%)	2.6	~ 3.2
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	2.6	~ 3.2																				
残工期(+10%~-10%)	2.9	~ 2.9																				
資産(-10%~+10%)	2.6	~ 3.2																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が139戸から0戸に軽減する。</li> <li>② 事業実施により土砂・洪水氾濫区域内にある防災拠点(日高川町役場、消防署)および県道御坊美山線(第2次緊急輸送路)が保全される。</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

# 土生川 事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	老星谷川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	和歌山県																				
実施箇所	和歌山県日高郡日高川町																									
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、溪流保全工																									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																						
総事業費 (億円)	1.1																									
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、平成23年、27年に土砂災害が発生しており、県道御坊中津線、下流の日高川本川等に土石流により甚大な被害が生じた。</li> <li>・その後の豪雨により事業区域の溪流では、溪岸浸食・土砂堆積がみられる。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <p>老星谷川流域において降雨が発生した際に、土石流及び流木の発生する可能性が高い溪流において集中的な対策施設の整備を行い、集落等への直接的な被害・防止を軽減するとともに、下流河川に流出する土砂量を低減し、土砂・洪水氾濫による被害を軽減する。</p> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																									
便益の主 な根拠	世帯数: 3世帯 重要公共施設: 県道御坊中津線(避難路) 主要交通機関: 県道御坊中津線																									
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成26年度																								
	B:総便益 (億円)	4.7	C:総費用(億円)	2.3	B/C	2.0	B-C	2.3	EIRR (%)	28.83																
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>1.8</td> <td>~</td> <td>2.2</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.0</td> <td>~</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>1.8</td> <td>~</td> <td>2.2</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	1.8	~	2.2	残工期(+10%~-10%)	2.0	~	2.0	資産(-10%~+10%)	1.8	~	2.2
		全体事業(B/C)																								
残事業費(+10%~-10%)	1.8	~	2.2																							
残工期(+10%~-10%)	2.0	~	2.0																							
資産(-10%~+10%)	1.8	~	2.2																							
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が3戸から0戸に軽減する。</li> <li>② 事業実施により土砂・洪水氾濫区域内にある避難路(県道御坊中津線)が保全される。</li> </ol>																									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																									

# 老星谷川 事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	石の谷川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	和歌山県																
実施箇所	和歌山県日高郡日高川町																					
主な事業 の諸元	主要施設: 溪流保全工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																		
総事業費 (億円)	1.1																					
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、平成23年、27年に土砂災害が発生しており、県道御坊中津線、下流の日高川本川等に土石流により甚大な被害が生じた</li> <li>・その後の豪雨により事業区域の溪流では、溪岸浸食・土砂堆積がみられる。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <p>石の谷川流域において降雨が発生した際に、土石流及び流木の発生する可能性が高い溪流において集中的な対策施設の整備を行い、集落等への直接的な被害・防止を軽減するとともに、下流河川に流出する土砂量を低減し、県道御坊中津線の被害を軽減する。</p> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	世帯数: 23世帯 重要公共施設: 中津中学校(避難場所)、安楽寺(避難場所) 主要交通機関: 県道御坊中津線(避難路)																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成26年度																				
	B:総便益 (億円)	7.3	C:総費用(億円)	1.5	B/C	5.0	B-C	5.9	EIRR (%)	25.56												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>4.6</td> <td>~ 5.6</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>5.0</td> <td>~ 5.0</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>4.5</td> <td>~ 5.6</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	4.6	~ 5.6	残工期(+10%~-10%)	5.0	~ 5.0	資産(-10%~+10%)	4.5	~ 5.6
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	4.6	~ 5.6																				
残工期(+10%~-10%)	5.0	~ 5.0																				
資産(-10%~+10%)	4.5	~ 5.6																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が23戸から0戸に軽減する。</li> <li>② 事業実施により土砂・洪水氾濫区域内にある避難場所(中津中学校、安楽寺)及び避難路(県道御坊中津線)が保全される。</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

# 石の谷川 事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	庵の谷川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	和歌山県																
実施箇所	和歌山県日高郡日高川町																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、溪流保全工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																		
総事業費 (億円)	1.1																					
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt; 事業区域では、平成23年、27年に土砂災害が発生しており、避難路となっている町道に土石流により甚大な被害が生じた。その後の豪雨により事業区域の溪流では、溪岸浸食・土砂堆積がみられる。</p> <p>&lt;達成すべき目標&gt; 庵の谷川流域において降雨が発生した際に、土石流及び流木の発生する可能性が高い溪流において集中的な対策施設の整備を行い、集落等への直接的な被害・防止を軽減するとともに、下流河川に流出する土砂量を低減し、町道前田伊藤線の被害を軽減する。</p> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt; ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</p>																					
便益の主 な根拠	世帯数: 3世帯 重要公共施設: 避難路(町道前田伊藤線)																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成26年度																			
	B:総便益 (億円)	4.4	C:総費用(億円)	1.4	B/C	3.1	B-C	3.0	EIRR (%)	19.09												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.8</td> <td>~ 3.5</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>3.1</td> <td>~ 3.1</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.8</td> <td>~ 3.4</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.8	~ 3.5	残工期(+10%~-10%)	3.1	~ 3.1	資産(-10%~+10%)	2.8	~ 3.4
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	2.8	~ 3.5																				
残工期(+10%~-10%)	3.1	~ 3.1																				
資産(-10%~+10%)	2.8	~ 3.4																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が3戸から0戸に軽減する。</p> <p>② 事業実施により土砂・洪水氾濫区域内にある避難路(町道前田伊藤線)が保全される。</p>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

# 庵の谷川 事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	谷奥谷川事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	和歌山県					
実施箇所	和歌山県日高郡日高川町									
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、溪流保全工									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度						
総事業費 (億円)	1.8									
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt; 事業区域では、平成23年、27年に土砂災害が発生しており、県道御坊中津線、下流の日高川本川等に土石流により甚大な被害が生じた。その後の豪雨により事業区域の溪流では、溪岸浸食・土砂堆積がみられる。</p> <p>&lt;達成すべき目標&gt; 谷奥谷川流域において降雨が発生した際に、土石流及び流木の発生する可能性が高い溪流において集中的な対策施設の整備を行い、集落等への直接的な被害・防止を軽減するとともに、下流河川に流出する土砂量を低減し、県道御坊中津線等の被害を軽減する。</p> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt; ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</p>									
便益の主 な根拠	世帯数: 14世帯 重要公共施設: 避難場所(川中第1中学校)、 主要交通機関: 県道御坊中津線									
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成27年度								
	B:総便益 (億円)	18	C:総費用(億円)	1.1	B/C	16.6	B-C	17	EIRR (%)	96.08
感度分析	全体事業(B/C)									
	残事業費(+10%~-10%)	15.1	~	18.5						
	残工期(+10%~-10%)	16.6	~	16.6						
	資産(-10%~+10%)	15.0	~	18.3						
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が14戸から0戸に軽減する。</p> <p>② 事業実施により土砂・洪水氾濫区域内にある避難路(県道御坊中津線)が保全される。</p>									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた									

# 谷奥谷川 事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	七兵衛谷川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	和歌山県																
実施箇所	和歌山県日高郡日高川町																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、溪流保全工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度																		
総事業費 (億円)	2.1																					
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、平成23年、27年に土砂災害が発生しており、人家5戸や県道御坊美山線、下流の日高川本川等に土石流により甚大な被害が生じた。</li> <li>・その後の豪雨により事業区域の溪流及び河川に土砂堆積がみられる。</li> <li>・御坊美山線では、道路改良事業が実施されている。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <p>日高川流域において降雨が発生した際に、土石流及び流木の発生する可能性が高い溪流において集中的な対策施設の整備を行い、集落等への直接的な被害・防止を軽減するとともに、下流河川に流出する土砂量を低減し、県道御坊美山線の被害を軽減する。</p> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	世帯数: 5世帯 重要公共施設: 県道御坊美山線(第2次緊急輸送路) 主要交通機関: 県道御坊美山線																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成29年度																				
	B:総便益 (億円)	4.6	C:総費用(億円)	2.1	B/C	2.2	B-C	2.5	EIRR (%)	11.33												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.1</td> <td>~ 2.4</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.2</td> <td>~ 2.2</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.0</td> <td>~ 2.4</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.1	~ 2.4	残工期(+10%~-10%)	2.2	~ 2.2	資産(-10%~+10%)	2.0	~ 2.4
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	2.1	~ 2.4																				
残工期(+10%~-10%)	2.2	~ 2.2																				
資産(-10%~+10%)	2.0	~ 2.4																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が5戸から0戸に軽減する。</li> <li>② 事業実施により土砂・洪水氾濫区域内にある県道御坊美山線(第1次緊急輸送路)が保全される。</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

# 七兵衛谷川 事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	横谷川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	和歌山県				
実施箇所	和歌山県日高郡日高川町									
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、溪流保全工									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度						
総事業費 (億円)	1.8									
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、平成23年、27年に土砂災害が発生しており、人家5戸や県道御坊美山線、下流の日高川本川等に土石流により甚大な被害が生じた。</li> <li>・その後の豪雨により事業区域の溪流及び河川に土砂堆積がみられる。</li> <li>・御坊美山線では、道路改良事業が実施されている。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <p>日高川流域において降雨が発生した際に、土石流及び流木の発生する可能性が高い溪流において集中的な対策施設の整備を行い、集落等への直接的な被害・防止を軽減するとともに、下流河川に流出する土砂量を低減し、県道御坊美山線の被害を軽減する。</p> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>									
便益の主 な根拠	世帯数: 5世帯 主要交通機関: 県道御坊美山線(第2次緊急輸送路)									
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成28年度							
	B:総便益 (億円)	5.3	C:総費用(億円)	4.4	B/C	1.2	B-C	0.88	EIRR (%)	17.3
感度分析	全体事業(B/C)									
	残事業費(+10%~-10%)	1.1	~	1.3						
	残工期(+10%~-10%)	1.2	~	1.2						
	資産(-10%~+10%)	1.1	~	1.3						
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が5戸から0戸に軽減する。</p> <p>② 事業実施により土砂・洪水氾濫区域内にある避難路(県道御坊美山線)が保全される。</p>									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた									



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	萩の谷川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	和歌山県																
実施箇所	和歌山県田辺市																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、溪流保全工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度																		
総事業費 (億円)	2.0																					
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、平成23年に土砂災害が発生(紀伊半島大水害)しており、国道168号、1級河川三越川等、広範囲にわたり土砂洪水氾濫により甚大な被害が生じた。</li> <li>・その後の豪雨により事業区域の溪流及び河川に土砂堆積がみられる。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・萩の谷川流域において降雨が発生した際に、土石流及び流木の発生する可能性が高い溪流において集中的な対策施設の整備を行い、集落等への直接的な被害・防止を軽減するとともに、下流河川に流出する土砂量を低減し、土砂・洪水氾濫による被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	世帯数: 11世帯 重要公共施設: 三里小学校、三里高齢者支援ハウス 主要交通機関: 国道168号																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成28年度																				
	B:総便益 (億円)	32	C:総費用(億円)	2.4	B/C	13.2	B-C	30	EIRR (%)	87.89												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>12.0</td> <td>~ 14.6</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>13.2</td> <td>~ 13.2</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>11.9</td> <td>~ 14.5</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	12.0	~ 14.6	残工期(+10%~-10%)	13.2	~ 13.2	資産(-10%~+10%)	11.9	~ 14.5
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	12.0	~ 14.6																				
残工期(+10%~-10%)	13.2	~ 13.2																				
資産(-10%~+10%)	11.9	~ 14.5																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が11戸から0戸に軽減する。</li> <li>② 事業実施により土砂・洪水氾濫区域内にある避難所(三里小学校)、要配慮者利用施設(三里高齢者支援ハウス)が保全される。</li> <li>③ 事業の実施により国道168号への被害を軽減する。</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

# 萩の谷川 事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	フケ小路谷川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	和歌山県																	
実施箇所	和歌山県伊都郡かつらぎ町																						
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤工、溪流保全工																						
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度																			
総事業費 (億円)	2																						
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、昭和29年に土砂災害が発生しており、人家や国道480号が土石流・河道閉塞等により甚大な被害が生じた。</li> <li>・その後の豪雨により事業区域の溪流及び河川に土砂堆積がみられる。</li> <li>・下流域では国道の改良事業を実施中である。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <p>フケ小路谷川流域において降雨が発生した際に、土石流及び流木の発生する可能性が高い溪流において集中的な対策施設の整備を行い、集落等への直接的な被害・防止を軽減するとともに、下流河川に流出する土砂量を低減し、土砂・洪水氾濫による被害を軽減する。</p> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																						
便益の主な 根拠	世帯数: 50世帯 重要公共施設: 花園駐在所 主要交通機関: 国道480号																						
事業全体の 投資効率性	基準年度	平成30年度																					
	B:総便益 (億円)	36	C:総費用(億円)		1.8	B/C	19.8	B-C	34	EIRR (%)	125.2												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>18.0</td> <td>~ 21.9</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>19.8</td> <td>~ 19.8</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>18.0</td> <td>~ 21.7</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	18.0	~ 21.9	残工期(+10%~-10%)	19.8	~ 19.8	資産(-10%~+10%)	18.0	~ 21.7
	全体事業(B/C)																						
残事業費(+10%~-10%)	18.0	~ 21.9																					
残工期(+10%~-10%)	19.8	~ 19.8																					
資産(-10%~+10%)	18.0	~ 21.7																					
事業の 効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が50戸から0戸に軽減する。</li> <li>② 事業実施により土砂・洪水氾濫区域内にある防災拠点(花園駐在所)、国道480号(第2次緊急輸送路)が保全される。</li> </ol>																						
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																						

# フケ小路谷川 事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	地蔵谷川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	和歌山県																
実施箇所	和歌山県有田郡有田川町																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度																		
総事業費 (億円)	3.1																					
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、昭和29年に土砂災害が発生しており、人家や国道480号、県道美里龍神線が土石流・河道閉塞等により甚大な被害が生じた。</li> <li>・その後の豪雨により事業区域の溪流及び河川に土砂堆積がみられる。</li> <li>・下流域では国道・県道の改良事業を実施中である。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <p>地蔵谷川流域において降雨が発生した際に、土石流及び流木の発生する可能性が高い溪流において集中的な対策施設の整備を行い、集落等への直接的な被害・防止を軽減するとともに、下流河川に流出する土砂量を低減し、国道480号や県道美里龍神線への被害を軽減する。</p> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	世帯数: 23世帯 重要公共施設: 小峠活性化センター(避難場所) 主要交通機関: 国道480号、県道美里龍神線																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成30年度																			
	B:総便益 (億円)	10	C:総費用(億円)	2.7	B/C	3.8	B-C	7.7	EIRR (%)	19.47												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>3.5</td> <td>~ 4.2</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>3.8</td> <td>~ 3.8</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>3.4</td> <td>~ 4.2</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	3.5	~ 4.2	残工期(+10%~-10%)	3.8	~ 3.8	資産(-10%~+10%)	3.4	~ 4.2
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	3.5	~ 4.2																				
残工期(+10%~-10%)	3.8	~ 3.8																				
資産(-10%~+10%)	3.4	~ 4.2																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が23戸から0戸に軽減する。</li> <li>② 事業実施により土砂・洪水氾濫区域内にある避難所(小峠活性化センター)が保全される。</li> <li>③ 国道・県道改良事業と合わせ、地域の安全が確保される。</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

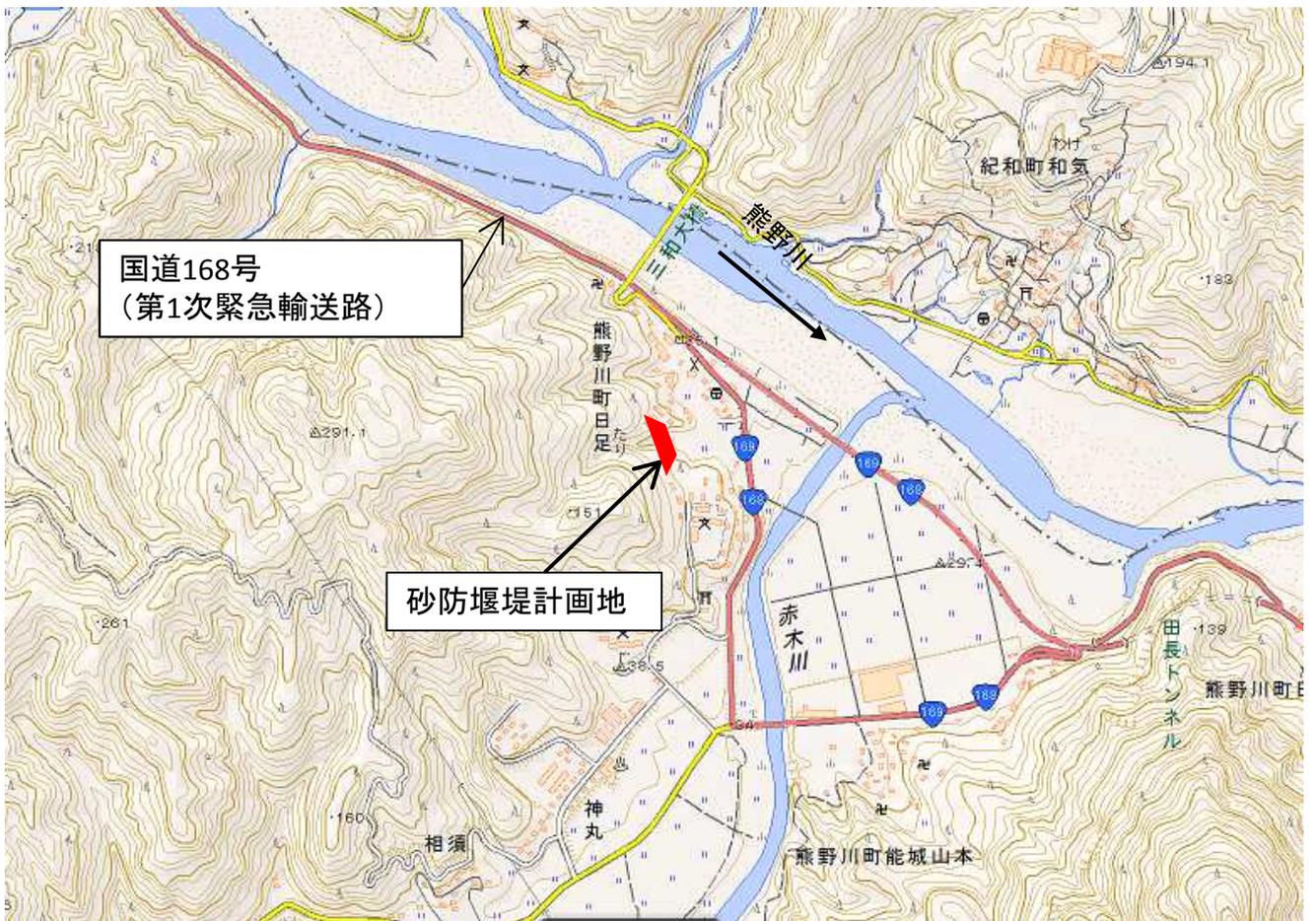
# 地蔵谷川 事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	寺風呂谷川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	和歌山県																	
実施箇所	和歌山県新宮市																						
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤工																						
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度																			
総事業費 (億円)	2																						
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年9月の台風12号に伴う豪雨により、多数の斜面崩壊や土石流が発生し、国道168号(第1次緊急輸送路)が寸断された。</li> <li>当該溪流では、土石流が発生しなかったが、荒廃が進んでおり、今後の降雨により、土石流発生のおそれがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>砂防堰堤の整備し、土石流・流木を捕捉することにより、人家、行政施設を保全し、国道168号(第1次緊急輸送路)への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																						
便益の主な 根拠	世帯数: 4世帯 重要公共施設: 新宮市役所熊野川行政局、日足駐在所 主要交通機関: 国道168号(第1次緊急輸送路)																						
事業全体の 投資効率性	基準年度	平成30年度																					
	B:総便益 (億円)	26	C:総費用(億円)		1.8	B/C	14.2	B-C	24	EIRR (%)	81.7												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>12.9</td> <td>~ 15.7</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>14.2</td> <td>~ 14.2</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>12.8</td> <td>~ 15.6</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	12.9	~ 15.7	残工期(+10%~-10%)	14.2	~ 14.2	資産(-10%~+10%)	12.8	~ 15.6
	全体事業(B/C)																						
残事業費(+10%~-10%)	12.9	~ 15.7																					
残工期(+10%~-10%)	14.2	~ 14.2																					
資産(-10%~+10%)	12.8	~ 15.6																					
事業の 効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が4戸から0戸に軽減する。</li> <li>事業実施により土砂・洪水氾濫区域内にある防災拠点(新宮市役所熊野川行政局、日足駐在所)が保全される。</li> <li>事業実施により国道168号への被害を軽減する。</li> </ol>																						
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																						

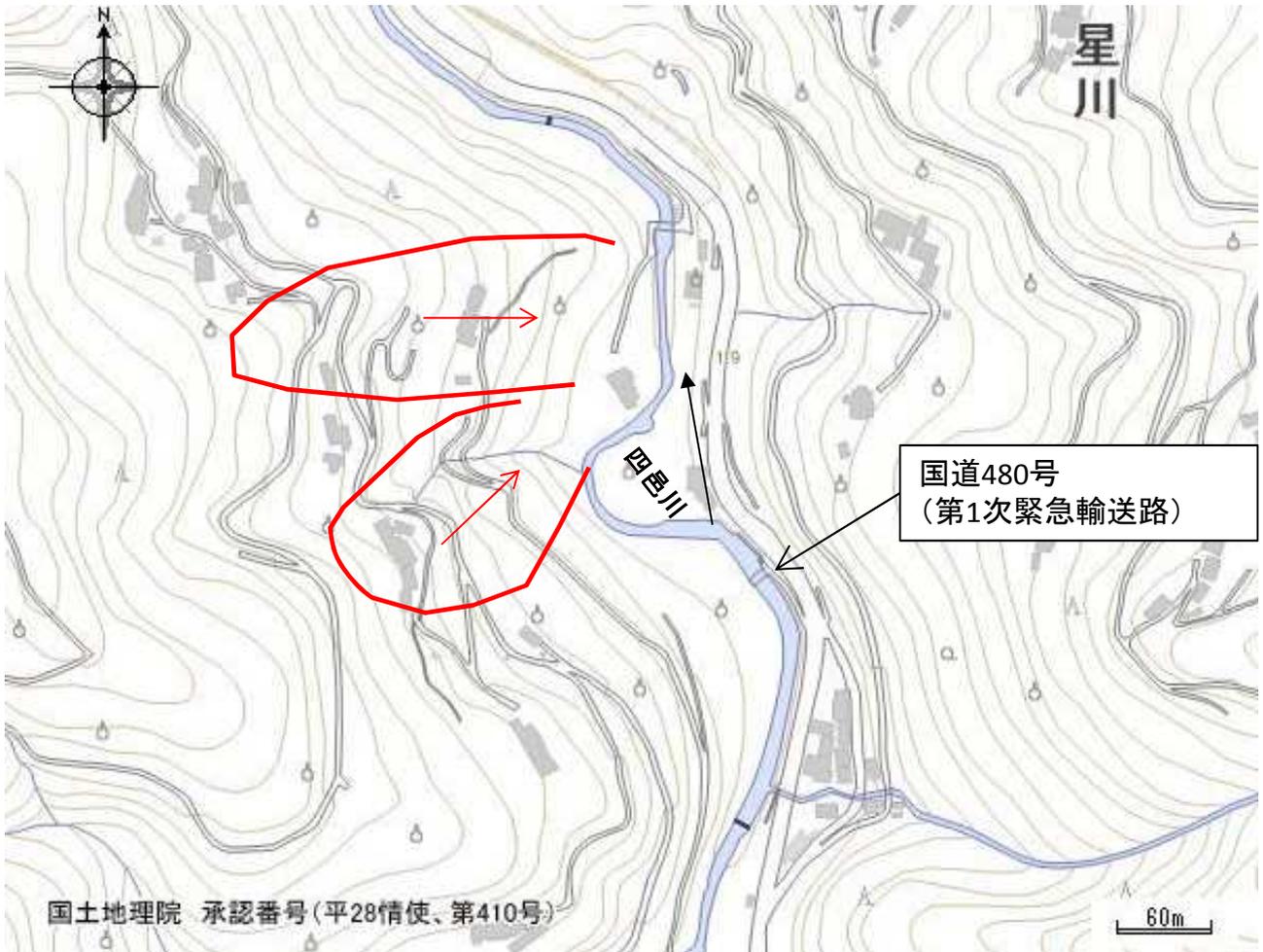
# 寺風呂谷川 事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	星川地区事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	和歌山県					
実施箇所	和歌山県伊都郡かつらぎ町									
主な事業 の諸元	主要施設: 地下水排除工									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度						
総事業費 (億円)	1.0									
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、平成29年に土砂災害が発生した。</li> <li>・星川地区の地すべりは現在滑動しており、近年は降雨量の増大により移動量の活発化も懸念されている。</li> <li>・地すべりによる河道閉塞の形成・決壊により、星川地区の家屋や国道480号等への被害が懸念される。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地すべり対策事業を実施し、地すべりの安定化を図ることにより、星川地区及び国道480号等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>									
便益の主 な根拠	世帯数: 4世帯 重要公共施設: 1級河川四邑川 主要交通機関: 国道480号(第1次緊急輸送路)									
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成29年度								
	B:総便益 (億円)	4.6	C:総費用(億円)	1.1	B/C	4.1	B-C	3.4	EIRR (%)	20.12
感度分析	全体事業(B/C)									
	残事業費(+10%~-10%)	3.8	~	4.2						
	残工期(+10%~-10%)	4.1	~	4.1						
	資産(-10%~+10%)	3.5	~	4.3						
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による地すべり被害について、被害が想定される人家が4戸から0戸に軽減する。</p> <p>② 事業実施により地すべり被害想定範囲内にある国道480号への被害を軽減する。</p>									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた									

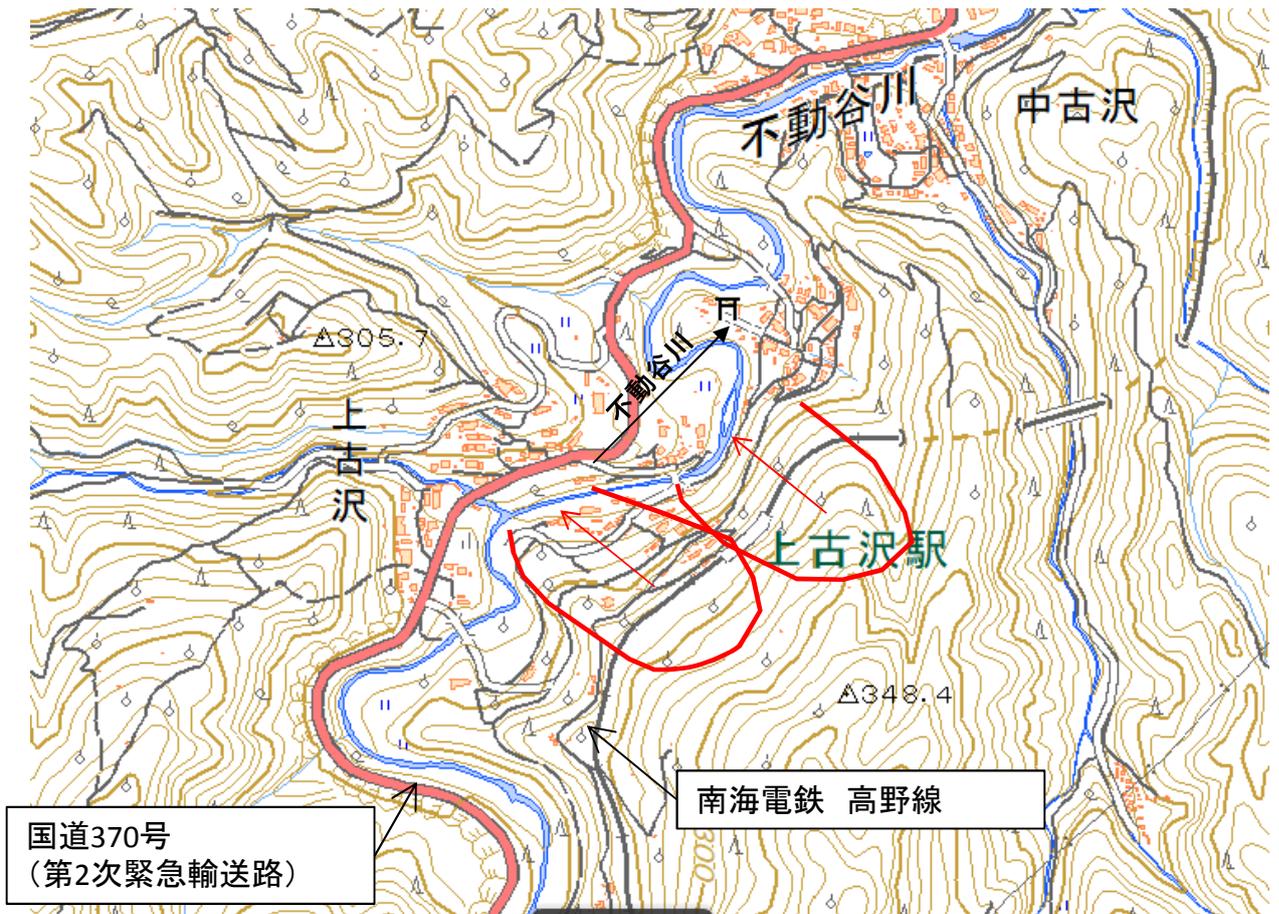
# 星川地区 事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	上古沢地区事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	和歌山県					
実施箇所	和歌山県伊都郡九度山町									
主な事業 の諸元	主要施設: アンカー工、集水井									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度						
総事業費 (億円)	2.5									
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年10月の台風21号に伴う豪雨により、幅100m、高さ100mの地すべりが発生し、南海高野線が運行休止となるとともに、一級河川不動谷川の埋塞が懸念される状況となった。</li> <li>・その後の豪雨でも隣接する斜面においても地すべりと思われる斜面変状が発見されている。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地すべり対策事業を実施し、地すべりの安定化を図ることにより、人家や南海電鉄高野線等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>									
便益の主 な根拠	世帯数: 10世帯 重要公共施設: 南海電鉄高野線、上古沢集会所(避難場所)9 主要交通機関: 南海電鉄高野線									
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成29年度								
	B:総便益 (億円)	10	C:総費用(億円)	2.9	B/C	3.5	B-C	7.1	EIRR (%)	16.22
感度分析	全体事業(B/C)									
	残事業費(+10%~-10%)	3.2	~	3.8						
	残工期(+10%~-10%)	3.5	~	3.5						
	資産(-10%~+10%)	3.1	~	3.8						
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 計画規模の豪雨による地すべり被害について、被害が想定される人家が10戸から0戸に軽減する。</li> <li>② 事業実施により、河道閉塞が発生した場合の被害想定区域内にある避難所(上古沢集会所)の被害を軽減する。</li> <li>③ 事業実施により、地すべりブロック内にある交通機関(南海電鉄高野線)の被害を軽減する。</li> </ol>									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた									

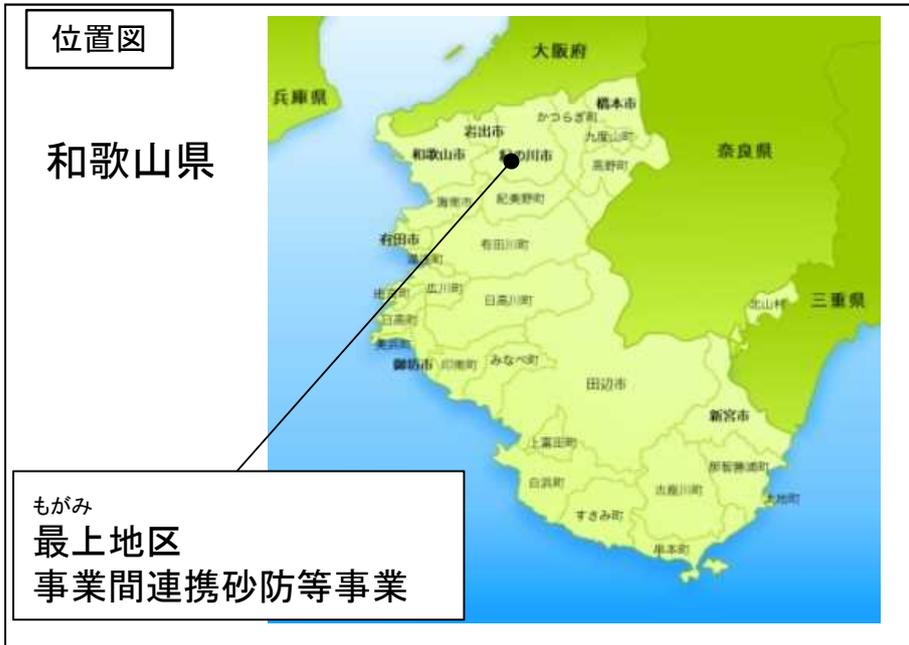
# 上古沢地区 事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	最上地区事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	和歌山県												
実施箇所	和歌山県紀の川市																
主な事業 の諸元	主要施設:集水井工、杭工、排水路工																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度													
総事業費 (億円)	1.2																
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域は、地質的に脆弱で、平成10年に地すべりが発生しており、国道424号が地すべりにより被災している。</li> <li>・その後の豪雨でも変状が見られる。</li> <li>・地すべりによる河道閉塞の形成・決壊により、最上地区の家屋や公共施設等への被害が懸念される。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地すべり対策事業を実施し、地すべりの安定化を図ることにより、最上地区及び国道424号等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																
便益の主 な根拠	世帯数:186世帯 主要交通機関:国道424号																
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成27年度															
	B:総便益 (億円)	22	C:総費用(億円)	10	B/C 2.1 B-C 11 EIRR (%) 22.75												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.1</td> <td>~ 2.1</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.1</td> <td>~ 2.1</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>1.9</td> <td>~ 2.3</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.1	~ 2.1	残工期(+10%~-10%)	2.1	~ 2.1	資産(-10%~+10%)	1.9	~ 2.3
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	2.1	~ 2.1															
残工期(+10%~-10%)	2.1	~ 2.1															
資産(-10%~+10%)	1.9	~ 2.3															
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による地すべり被害について、被害が想定される人家が186戸から0戸に軽減する。</p> <p>② 地すべりブロック内にある第2次緊急輸送路(国道424号)が保全される。</p>																
その他	<p>&lt;第三者委員会の意見・反映内容&gt;</p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																

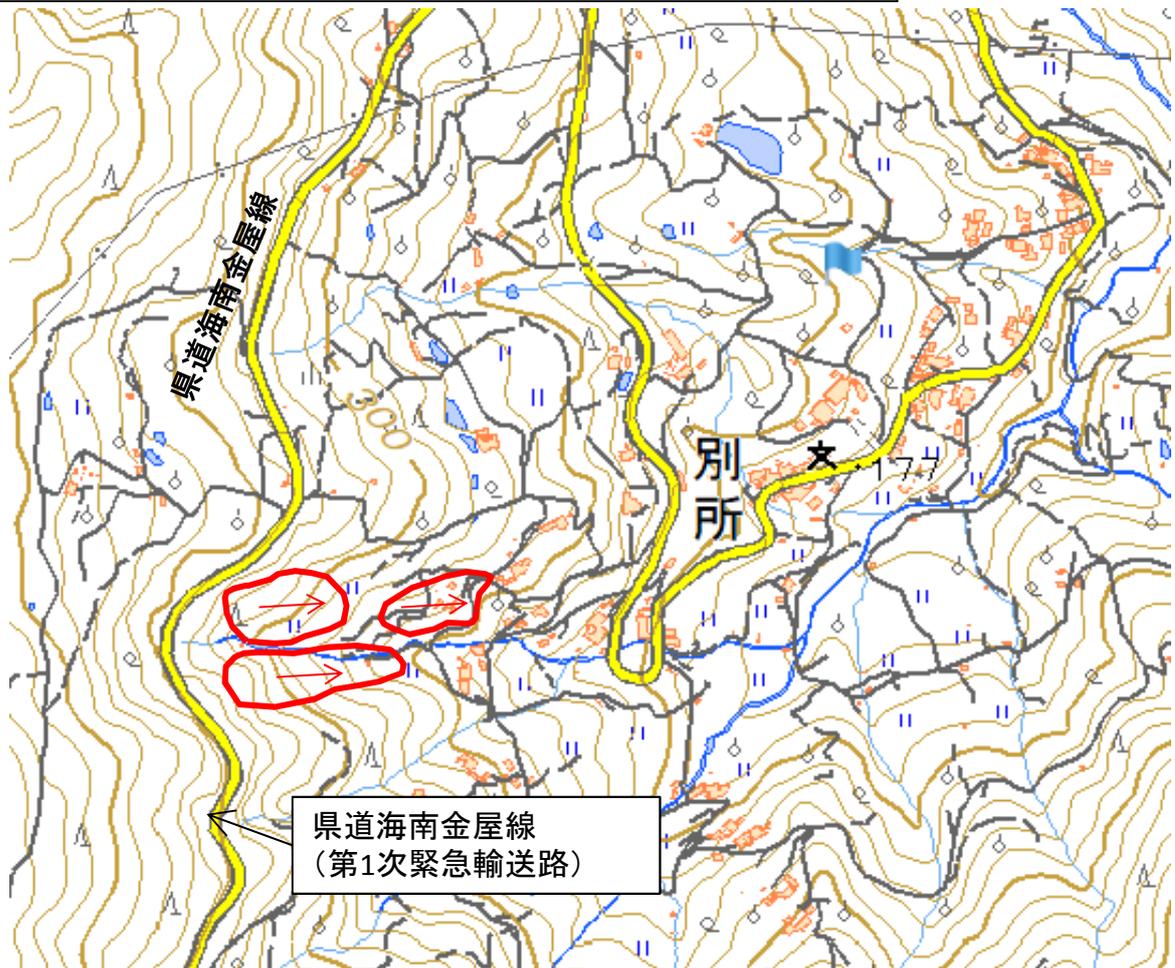
# 最上地区 事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	別所地区事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	和歌山県												
実施箇所	和歌山県海南市																
主な事業 の諸元	主要施設: 地下水排除工、アンカー工																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度													
総事業費 (億円)	1.0																
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、平成29年に土砂災害が発生しており、県道海南金屋線(第1次緊急輸送路)及び市道が被災して通行止めになるなど甚大な被害が生じた。</li> <li>・その後の豪雨でも変状が見られる。</li> <li>・地すべりによる道路の被災により、別所地区の家屋や緊急輸送路への被害が懸念される。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地すべり対策事業を実施し、地すべりの安定化を図ることにより、緊急輸送路及び別所地区の人命、資産等を保全する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																
便益の主 な根拠	世帯数: 10世帯 主要交通機関: 県道海南金屋線、市道																
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成29年度															
	B:総便益 (億円)	10	C:総費用(億円)	1.7	B/C 5.8 B-C 8.3 EIRR (%) 28.04												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>5.3</td> <td>~ 6.5</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>5.8</td> <td>~ 5.8</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>5.2</td> <td>~ 6.4</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	5.3	~ 6.5	残工期(+10%~-10%)	5.8	~ 5.8	資産(-10%~+10%)	5.2	~ 6.4
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	5.3	~ 6.5															
残工期(+10%~-10%)	5.8	~ 5.8															
資産(-10%~+10%)	5.2	~ 6.4															
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 計画規模の豪雨による地すべり被害について、被害が想定される人家が10戸から0戸に軽減する。</li> <li>② 地すべりブロック内にある第1次緊急輸送路(県道海南金屋線)が保全される。</li> </ol>																
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																

# 別所地区 事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	梅本地区事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	和歌山県												
実施箇所	和歌山県海草郡紀美野町																
主な事業 の諸元	主要施設: 地下水排除工																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度													
総事業費 (億円)	1.2																
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、平成29年に土砂災害が発生しており、県道野上清水線が地すべりにより通行不可能となり、甚大な被害が生じた。</li> <li>・その後の豪雨でも変状が見られる。</li> <li>・地すべりによる河道閉塞の形成・決壊により、梅本地区の家屋や公共施設等への被害が懸念される。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地すべり対策事業を実施し、地すべりの安定化を図ることにより、梅本地区の人命、資産等を保全する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																
便益の主な 根拠	重要公共施設: 県道野上清水線、県道生石公園線 主要交通機関: 県道野上清水線、県道生石公園線																
事業全体の 投資効率性	基準年度	平成30年度															
	B:総便益 (億円)	2.2	C:総費用(億円)	1.2	B/C 1.9 B-C 1.0 EIRR (%) 8.8												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>1.7</td> <td>~ 2.1</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>1.9</td> <td>~ 1.9</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>1.7</td> <td>~ 2.1</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	1.7	~ 2.1	残工期(+10%~-10%)	1.9	~ 1.9	資産(-10%~+10%)	1.7	~ 2.1
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	1.7	~ 2.1															
残工期(+10%~-10%)	1.9	~ 1.9															
資産(-10%~+10%)	1.7	~ 2.1															
事業の 効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による地すべり被害について、観光被害想定が1.4億円が0億円に軽減される。</p> <p>② 地すべりブロック内にある県道野上清水線、生石公園線および1級河川梅本川が保全される。</p>																
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																

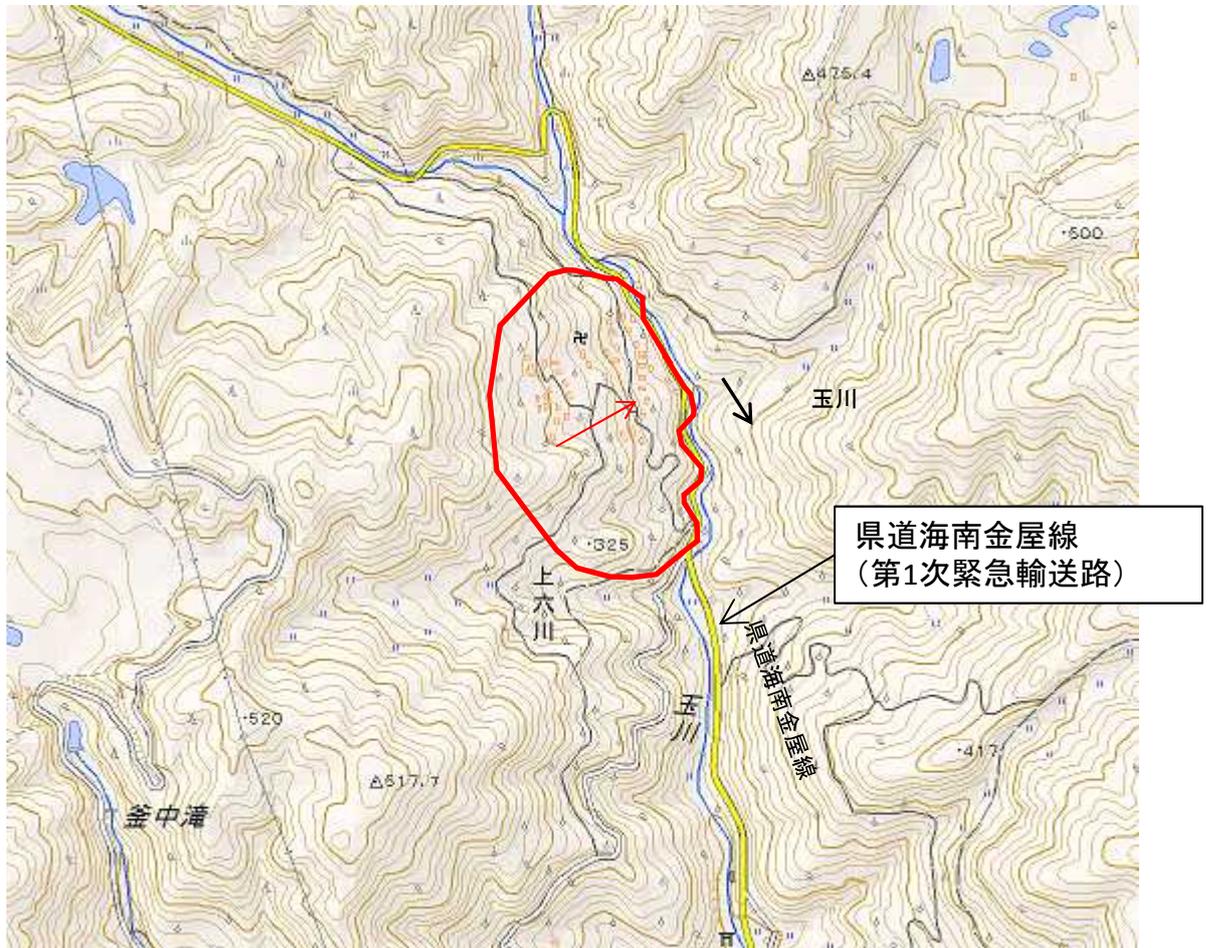
# 梅本地区 事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	上六川地区事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	和歌山県																
実施箇所	和歌山県有田郡有田川町																					
主な事業 の諸元	主要施設: 地下水排除工、杭工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																		
総事業費 (億円)	0.6																					
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、平成26年に土砂災害が発生しており、県道海南金屋線(第1次緊急輸送路)及び町道が被災して通行止めになるなど甚大な被害が生じた。</li> <li>・その後の豪雨でも変状が見られる。</li> <li>・地すべりによる道路の被災により、上六川地区の家屋や緊急輸送路への被害が懸念される。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地すべり対策事業を実施し、地すべりの安定化を図ることにより、緊急輸送路及び上六川地区の人命、資産等を保全する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	世帯数: 42世帯 主要交通機関: 県道海南金屋線、町道																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成26年度																				
	B:総便益 (億円)	31	C:総費用(億円)	2.6	B/C	11.9	B-C	28	EIRR (%)	54.6												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>10.8</td> <td>~ 13.3</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>11.9</td> <td>~ 11.9</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>10.7</td> <td>~ 13.1</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	10.8	~ 13.3	残工期(+10%~-10%)	11.9	~ 11.9	資産(-10%~+10%)	10.7	~ 13.1
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	10.8	~ 13.3																				
残工期(+10%~-10%)	11.9	~ 11.9																				
資産(-10%~+10%)	10.7	~ 13.1																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 計画規模の豪雨による地すべり被害について、被害が想定される人家が42戸から0戸に軽減する。</li> <li>② 地すべりブロック内にある第1次緊急輸送路(県道海南金屋線)等が保全される。</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

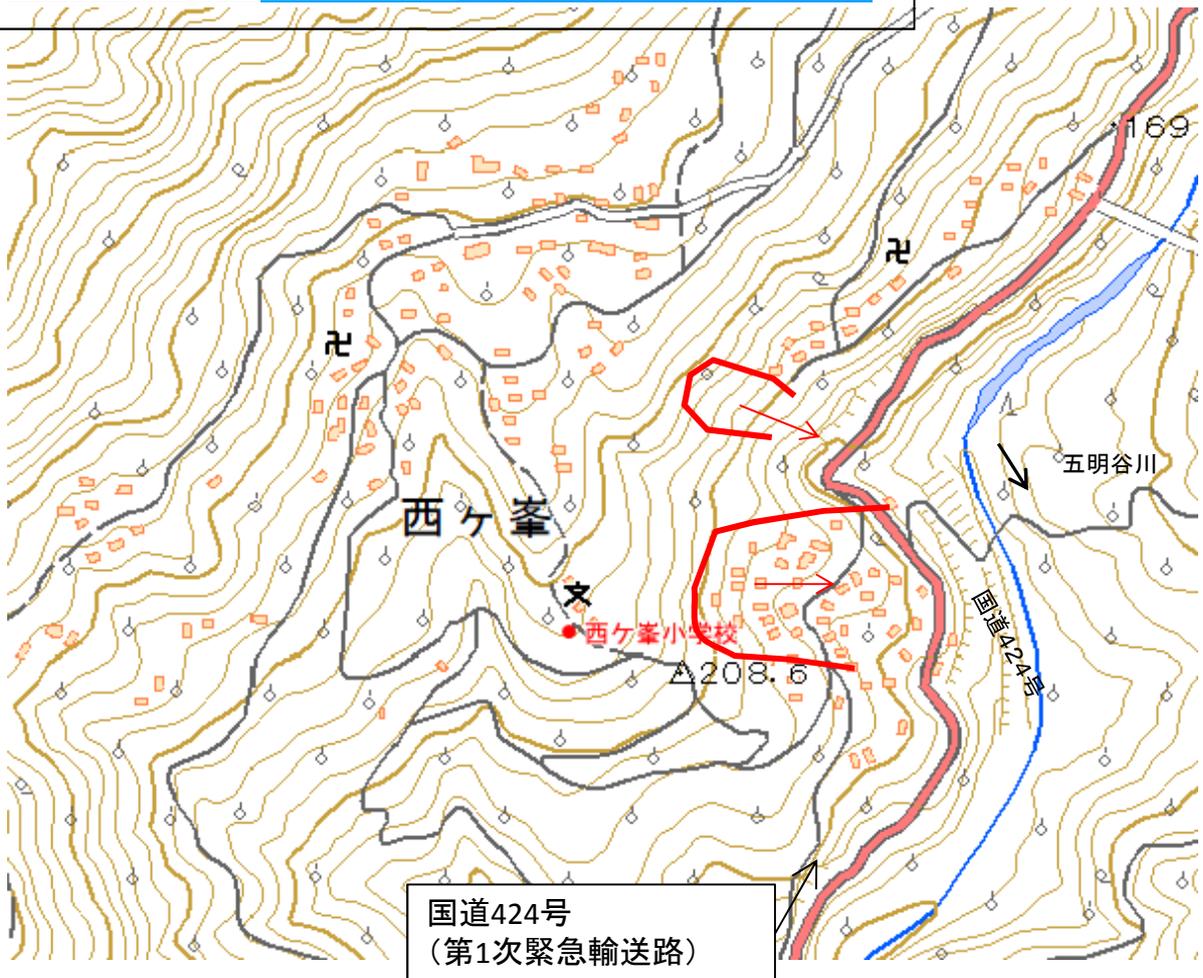
# 上六川地区地すべり対策事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	西ヶ峰地区事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	和歌山県																
実施箇所	和歌山県有田郡有田川町																					
主な事業 の諸元	主要施設: 地下水排除工、抑止工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度																		
総事業費 (億円)	1.1																					
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、昭和58年から平成15年まで地すべり対策事業を行っていたが、平成30年に地すべりブロック内で変状が発生した。</li> <li>・その後の豪雨でも変状が見られる。</li> <li>・地すべりによる河道閉塞の形成・決壊により、西ヶ峰地区の家屋や国道424号等への被害が懸念される。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地すべり対策事業を実施し、地すべりの安定化を図ることにより、西ヶ峰地区の人命、資産等を保全する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	世帯数: 39世帯 主要交通機関: 国道424号、町道																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	59	C:総費用(億円)	21	B/C	2.8	B-C	37	EIRR (%)	12.18												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.7</td> <td>~ 2.8</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.8</td> <td>~ 2.8</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.5</td> <td>~ 3.0</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.7	~ 2.8	残工期(+10%~-10%)	2.8	~ 2.8	資産(-10%~+10%)	2.5	~ 3.0
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	2.7	~ 2.8																				
残工期(+10%~-10%)	2.8	~ 2.8																				
資産(-10%~+10%)	2.5	~ 3.0																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 計画規模の豪雨による地すべり被害について、被害が想定される人家が39戸から0戸に軽減する。</li> <li>② 地すべりブロック内にある国道424号、町道が保全される。</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

# 西ヶ峰地区 事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

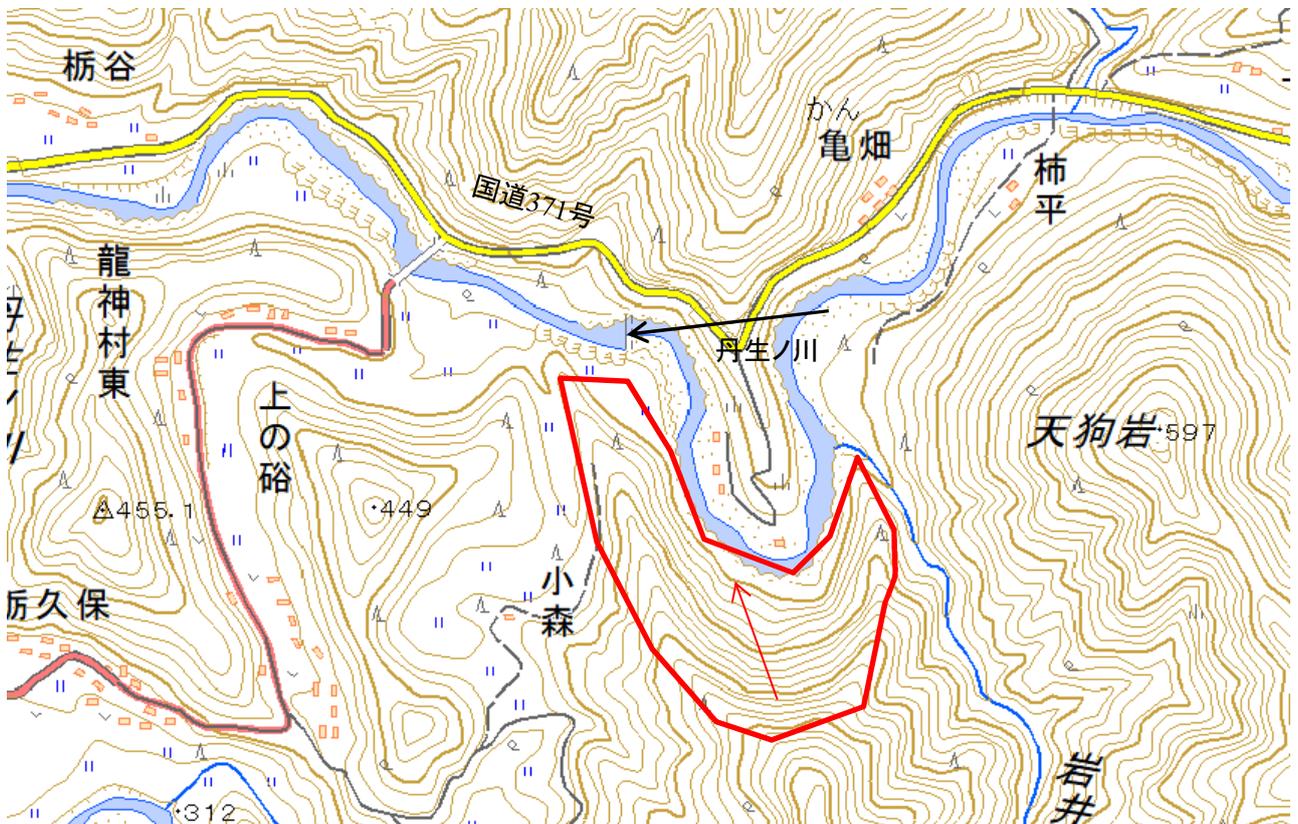
事業名 (箇所名)	長野地区事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	和歌山県												
実施箇所	和歌山県田辺市																
主な事業 の諸元	主要施設: 地下水排除工																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成36年度													
総事業費 (億円)	1.3																
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、平成29年に地すべりが発生しており県道長野上秋津線が地すべりにより被災した。</li> <li>・その後の豪雨でも変状が見られる。</li> <li>・地すべりによる河道閉塞の形成・決壊により、長野地区の家屋や県道長野上秋津線等への被害が懸念される。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地すべり対策事業を実施し、地すべりの安定化を図ることにより、長野地区の人命、資産等を保全する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																
便益の主 な根拠	世帯数: 28世帯 主要交通機関: 県道長野上秋津線、市道																
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成28年度															
	B:総便益 (億円)	22	C:総費用(億円)	2.8	B/C 8.0 B-C 19 EIRR (%) 37.93												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>7.3</td> <td>~ 8.9</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>8.0</td> <td>~ 8.0</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>7.2</td> <td>~ 8.8</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	7.3	~ 8.9	残工期(+10%~-10%)	8.0	~ 8.0	資産(-10%~+10%)	7.2	~ 8.8
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	7.3	~ 8.9															
残工期(+10%~-10%)	8.0	~ 8.0															
資産(-10%~+10%)	7.2	~ 8.8															
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 計画規模の豪雨による地すべり被害について、被害が想定される人家が28戸から0戸に軽減する。</p> <p>② 地すべりブロック内にある県道長野上秋津線が保全される。</p>																
その他	<p>&lt;第三者委員会の意見・反映内容&gt;</p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	東地区事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	和歌山県																
実施箇所	和歌山県田辺市																					
主な事業 の諸元	主要施設: 抑止工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度																		
総事業費 (億円)	1.8																					
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、平成26年に土砂災害が発生しており、2級河川日高川が地すべりにより埋塞し、甚大な被害が生じた。</li> <li>・その後の豪雨でも変状が見られる。</li> <li>・地すべりによる河道閉塞の形成・決壊により、東地区の家屋や国道371号への被害が懸念される。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地すべり対策事業を実施し、地すべりの安定化を図ることにより、東地区の人命、国道371号等を保全する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主な 根拠	世帯数: 12世帯 主要交通機関: 国道371号																					
事業全体の 投資効率性	基準年度	平成29年度																				
	B:総便益 (億円)	11	C:総費用(億円)	1.9	B/C	6.0	B-C	9.3	EIRR (%)	29.14												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>5.5</td> <td>~ 6.7</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>6.0</td> <td>~ 6.0</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>5.4</td> <td>~ 6.4</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	5.5	~ 6.7	残工期(+10%~-10%)	6.0	~ 6.0	資産(-10%~+10%)	5.4	~ 6.4
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	5.5	~ 6.7																				
残工期(+10%~-10%)	6.0	~ 6.0																				
資産(-10%~+10%)	5.4	~ 6.4																				
事業の 効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 計画規模の豪雨による地すべり被害について、被害が想定される人家が12戸から0戸に軽減する。</li> <li>② 地すべりブロック対岸にある国道371号が保全される。</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

# 東地区事業間連携砂防等事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	伏拝地区事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	和歌山県												
実施箇所	和歌山県田辺市																
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、溪流保全工、遊砂工																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度													
総事業費 (億円)	3.0																
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、平成29年に地すべり変状が発生した。</li> <li>・その後の豪雨でも変状が見られる。</li> <li>・地すべりによる河道閉塞の形成・決壊により、伏拝地区の家屋や公共施設等への被害が懸念される。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地すべり対策事業を実施し、地すべりの安定化を図ることにより、伏拝地区の人命、資産等を保全する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																
便益の主 な根拠	世帯数: 235世帯 主要交通機関: 避難路(迂回路のない市道)																
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成29年度															
	B:総便益 (億円)	45	C:総費用(億円)	3.2	B/C 13.9 B-C 42 EIRR (%) 66.85												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>12.7</td> <td>~ 15.4</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>13.9</td> <td>~ 13.9</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>12.5</td> <td>~ 15.3</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	12.7	~ 15.4	残工期(+10%~-10%)	13.9	~ 13.9	資産(-10%~+10%)	12.5	~ 15.3
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	12.7	~ 15.4															
残工期(+10%~-10%)	13.9	~ 13.9															
資産(-10%~+10%)	12.5	~ 15.3															
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 計画規模の豪雨による土石流被害について、被害が想定される人家が235戸から0戸に軽減する。</li> <li>② 事業実施により土砂・洪水氾濫区域内にある避難路(市道)が保全される。</li> </ol>																
その他	<p>&lt;第三者委員会の意見・反映内容&gt;</p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																

# 伏拝地区事業間連携砂防等事業位置図

